

事務室・各センター窓口

校舎案内

■ 1号館
看護学科・理学療法学科・
作業療法学科・言語聴覚学科・
図書館棟



■ 2号館 検査技術学科棟



■ 3号館 体育棟



■ 4号館

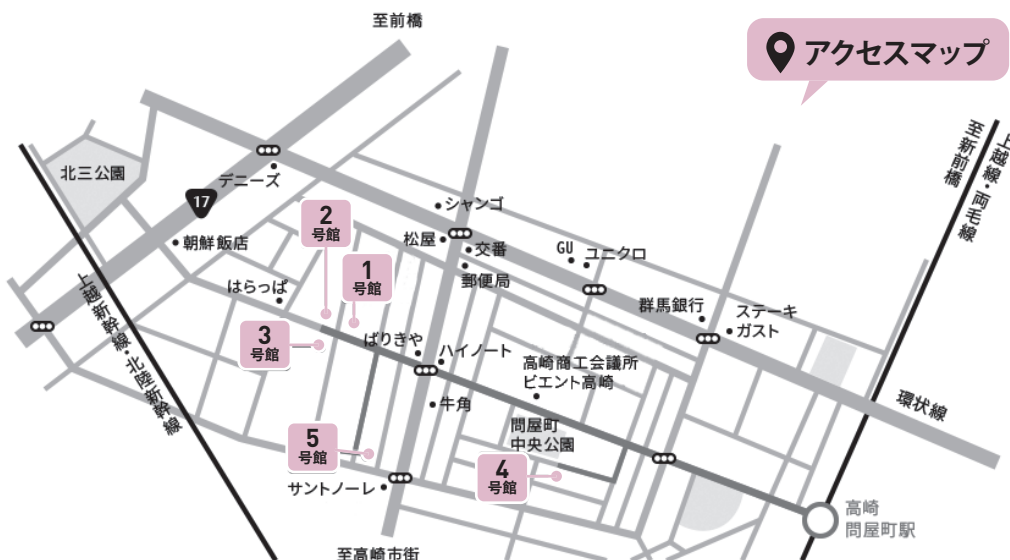


放射線学科・
臨床工学科棟

■ 5号館



学生支援センター・
健康管理センター・
国際交流センター・
地域連携センター・
看護実践教育センター・
学生専用マンション



アクセスマップ

事務室

事務室及び各センターは下表のとおり配置しています。事務室は1号館と4号館にあります。1・2号館の学生は1号館の事務室を、4号館の学生は4号館の事務室を主に利用してください。

5号館の学生支援センターでは学生生活全般のサービスを行っています。目的に応じて窓口を利用してください。

【事務室・各センター窓口取扱業務】

| 棟 | 担当部署 | 業務内容 |
|--------------------|----------|--|
| 1号館（2階） 4号館（2階） | 事務室 | <ul style="list-style-type: none"> 履修登録、授業、欠席、試験、成績その他履修に関すること 証明書や学生証等の発行に関すること 学内ロッカー、学内プリンター、駐輪場等の施設設備に関すること |
| 5号館（1階） | 学生支援センター | <ul style="list-style-type: none"> 奨学金、学生保険に関すること 課外活動（学友会活動の補助、ボランティア活動含む）に関すること 就職に関すること（キャリア支援室） 学生相談に関すること（学生相談室） 障害学生の支援に関すること 学生専用マンションに関すること 推奨PCの修理、学内無線LANに関すること |
| | 健康管理センター | <ul style="list-style-type: none"> 健康診断、予防接種、抗体検査等、健康管理に関すること |
| | 国際交流センター | <ul style="list-style-type: none"> 国際交流に関すること |

窓口取扱時間 月曜日～金曜日 8:30～13:00 14:00～18:00 ※ただし大学で授業がある日のみ（それ以外は別途掲示します）

窓口休業日 原則、学則上の休業日（第11条）とします。

目次

この『学生便覧』は、みなさんが学生生活を送る上で、指針となる事柄をまとめたものです。内容は、「群馬パース大学の概要」、「学生生活の手引き」、「履修の手引き」で構成されています。

学生生活を送るなかで不明な点が生じた場合は、まず『学生便覧』で確認するよう心がけてください。

| | |
|-------------------------------|------------|
| I 大学の概要 | 1 |
| 1. 建学の精神 | 2 |
| 2. 大学の目的 | 2 |
| 3. 人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的 | 2 |
| 4. 教育目標 | 4 |
| 5. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 5 |
| 6. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針） | 7 |
| 7. 沿革 | 10 |
| II 学生生活の手引き | 12 |
| 1. 学籍 | 13 |
| 2. 学籍異動 | 14 |
| 3. 学納金 | 15 |
| 4. 学生生活の心得 | 16 |
| 5. 各棟の開館時間 | 17 |
| 6. 各種手続き | 18 |
| 7. 健康管理 | 21 |
| 8. 奨学金 | 21 |
| 9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度 | 23 |
| 10. 各施設の利用 | 24 |
| 11. 通学 | 30 |
| 12. ノートPCの利用・インターネットの利用 | 32 |
| 13. 学内プリンターの利用 | 33 |
| 14. 課外活動 | 34 |
| 15. 防災・災害対策 | 36 |
| 16. ハラスメントの防止 | 37 |
| 17. 注意事項等 | 37 |
| III 履修の手引き | 41 |
| 1. 履修 | 42 |
| 2. 開設授業科目 | 42 |
| 3. 履修登録 | 72 |
| 4. 授業 | 75 |
| 5. 試験 | 76 |
| 6. 単位認定 | 78 |
| 7. 成績通知 | 80 |
| 8. 進級 | 80 |
| 9. 卒業 | 80 |
| 10. 学位 | 81 |
| 11. 資格 | 81 |
| 12. 臨地・臨床実習科目 | 84 |
| 13. 留年者の履修 | 87 |
| IV 学則 | 89 |
| V 校舎案内 | 113 |

群馬パース大学における個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報保護に関する法律、その他関係法令・ガイドラインを遵守し、「学校法人群馬パース大学 個人情報保護に関する規程」に基づき、学生、保証人、卒業生、入学予定者（以下、「学生等」という。）から取得した個人情報を適正に取り扱います。

<利用目的>

学生等の個人情報は、以下の目的の範囲内で、業務遂行上必要な限りにおいて利用します。

- 入学志願者に対する選抜試験運営、入学手続き、学生募集・広報活動（ホームページ、SNS、パンフレット等の本学公式広報媒体への写真や著作物の掲載を含む）
- 学籍管理、学籍異動（休学、復学、退学、除籍等）管理、履修・成績管理、単位認定、進級・卒業判定、学位授与
- 臨地・臨床実習に係る健康診断結果、感染症に関する検査結果、ワクチン接種記録の取得・利用
- 学生証発行、各種証明書発行、ネットワーク利用アカウント発行
- 奨学金事務、学納金管理
- 進学・就職支援業務
- 施設・備品等利用管理
- 学生生活相談、健康管理、保健指導、課外活動支援
- 成績通知、学籍異動通知、学修相談、学納金等納入通知、大学行事案内等の保証人への送付
- 同窓会、学生支援後援会との連携
- 大学評価に必要な情報
- 教育・研究・FD・SD・IRのための各種統計業務
- その他、本学の管理・運営業務上必要とするもの

<個人情報の管理>

本学は、個人情報の不正利用、漏えい、破損、紛失、改ざん等がないよう厳重に管理します。

<外部委託>

本学は、個人情報の取り扱いを含む業務の一部を外部の事業者へ委託することがあります。その際、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結することを義務付けています。

保証人の役割について

- 保証人は、学納金等の納入について、学生と連帯してその債務※の責任を負います。
- 保証人は、学生が学籍異動（休学、復学、退学等）を願い出る際に、同意の上、本学所定用紙に連署します。
- 保証人は、学生が故意又は重大な過失により、大学に損害を与えたときは、学生と連携してその損害を賠償する責任を負います。
- 保証人は、緊急時や、病気等やむを得ない事情等により学生本人と連絡がつかない場合、大学からの連絡に対応します。
- 保証人は、保証人の住所、氏名等に変更が生じた際、速やかに本学所定用紙により届出ます。

※債務の極度額（年度あたりの上限額）は、入学する学部ので定める各年次の学納金及び諸費用の合計金額とします。

大学の概要

I

1. 建学の精神
2. 大学の目的
3. 人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的
4. 教育目標
5. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）
6. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
7. 沿革



I 大学の概要

1. 建学の精神

Paz は平和を意味するポルトガル語、パース (*Paz*) に由来します。

同時に *Paz* にはこの3文字を頭文字とする *Pessoa* (個性)、*Assistencia* (互助)、*Zelo* (熱意) の意味が与えられています。

Paz (平和) 平和で公正な社会の発展

| | |
|-------------------------|--------------|
| <i>Pessoa</i> (個性) | 個人の尊厳と自己実現、 |
| <i>Assistencia</i> (互助) | 多様な人々の共存と協調、 |
| <i>Zelo</i> (熱意) | 知の創造、 |
| | への貢献 |



2. 大学の目的

豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的とします。

3. 人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的

看護学部

建学の精神である「平和で公正な社会の発展」を目指し、豊かな教養と人間愛、看護職としての知識と技術、柔軟な適応力を備え、保健・医療・福祉サービスの中で看護の役割を果たし、広く社会に貢献していける人材を養成することを目指します。そのため、看護の対象を全人的に捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践する能力、社会の変化や環境に柔軟に適応し、医療チームの中で協調して看護の役割を果たす能力を習得させ、あわせて看護職としての感性や倫理観、社会の平和と発展に貢献していこうとする姿勢を育てることを教育研究上の目的としています。

看護学科

人の尊厳を尊重できる豊かな人間性と高い見識をもち、看護の対象を全人的に捉え、様々な人々と調和し連携しながら、科学的根拠に基づく判断と適切な技術を用いて看護を実践でき、さらには、地域社会や国際社会にも関心を向け、看護学をとおして社会の平和と発展に貢献していくことを目指し、生涯にわたって自己研鑽し続けることができる人材を養成することを目指します。そのため、看護の対象とその健康課題を適切に捉え、科学的根拠に基づいた看護を実践できる能力、チーム医療の中で多職種と連携し、リーダーシップを発揮できる能力、社会の変化や地域の特性を踏まえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる能力を習得させること、また、看護職に相応しい感性、倫理観、教養、及び看護職として対象に寄り添い、役割を果たし、社会に貢献していこうとする姿勢を育てることを教育研究上の目的としています。

リハビリテーション学部

建学の精神である「平和で公正な社会の発展」を目指し、豊かな教養と人間愛、そして情熱に基づいた人間性の涵養と深い学びに裏打ちされた実学の重視を掲げています。そのため、すべての人々の自分らしく生きようとする主体性を尊重し、生活の質の向上と社会参加が可能となる地域社会の構築に広く貢献できる人材の養成を目指します。

理学療法学科

豊かな教養・人間愛・情熱を基盤とした「人間性の涵養」と、さまざまな対象者・病期に応じたりハビリテーション医療を提供する「理学療法の実践能力」の習得を教育目的としています。さらに、心身の障害を単に治療対象と位置づけるだけでなく、対象者の主体性を尊重し、自分らしく生きようとする姿勢を支援するとともに、時代の変化や地域社会からの要請に応じて、新しい価値創造に貢献できる人材の養成を目指します。

作業療法学科

複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する力、作業療法の発展と社会に貢献する活動や研究に参加しようとする能力を培うことを教育目的としています。それにより、年齢や障害の有無に関わらず、自分らしく人生を送るよう支援する作業療法を学び、環境と人間を多側面から理解し、作業療法の専門性を生かして柔軟に活躍できる人材の養成を目指します。

言語聴覚学科

言語聴覚士の役割の理解に基づき、人が地域で生活する視点に立ち、誰もが安心、安全に暮らせる「共生の街づくり」に参画できる能力を培うことを教育目的としています。そのため、聴覚障害、言語障害、摂食嚥下障害のある対象者の能力評価はもとより、活動・地域・社会参加の生活機能を多面的に評価、支援でき、またその方法の開発に貢献できる人材の養成を目指します。

医療技術学部

医療技術に裏付けられた医学的知識と専門技術にかかわる知識、技術力を養い、高度な医療人として、個人の尊厳と倫理を尊重する人間性の醸成を基盤とし、社会が求める医療技術を国際社会、地域社会と協働して実践できる、熱意を持ち自ら学ぶ人材を養成することを目的としています。

検査技術学科

生命の尊厳を理解し、思いやりの心を持つとともに高い倫理観を備え、臨床検査分野において健康や医療に関する専門知識と最新技術を学び、科学的根拠に基づく適切な判断ができ、臓器移植、遺伝子治療及び不妊治療分野などの生命科学や検査技術学分野に貢献できる人材で、実践的な診療支援ができる質の高い臨床検査技師 (Clinical Laboratory Scientist) の人材養成を目指します。

医療の現場では様々な要素が要因・背景となって生じる課題や問題は千差万別であり、それらの状況に的確・柔軟に対応するため、実践的な高度な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断能力と問題解決能力を培うことを教育目的としています。

放射線学科

様々な疾病で苦しむ人々に対して、尊厳と人間愛をもって、診療画像検査、放射線治療の過程をとおして、病気の発見・治療を目指す高度医療技術をもった人材養成を目指します。

また、放射線による障害や防護、安全管理をとおして、画像生成と解析に関する知識、放射線と物理、生物、化学との相互作用による医療技術に関する知識を深め、問題解決能力を有し、高度なデータ・サイエンスと連携した臨床応用技術を自ら実践できる臨床力を養うことを目的としています。

臨床工学科

生命の尊厳を自覚し、畏敬の念を持つとともに豊かな人間性と高い倫理観を備え、医学・工学に関する専門知識と技術を学び、論理的思考・高い洞察力と的確な判断力をもって医療機器の操作及び保守管理を行うことができ、チーム医療の一員として医療に貢献できる質の高い臨床工学技士の人材養成を目指します。

高度化・複雑化する医療技術に対応するため、医工学に関する基本的知識・技術を修得し、医療分野におけるさまざまな課題に対して、国際的視野を兼ね備えた広い視野で物事を捉え、問題意識と探求心、問題解決能力を培うことを教育目的としています。

4. 教育目標

看護学部看護学科 教育目標

看護学部看護学科の目的・養成する人材像を実現するため、看護学部看護学科教育目標を次のとおり定めます。

- ・対象の尊厳を認識し、個人を尊重できる豊かな人間性と高い見識をもつ人材の育成
- ・看護の対象を全人的に捉え、看護学の知識・技術に基づき、看護を実践できる人材の育成
- ・看護の対象を取り巻くあらゆる人々と連携・協働できる人材の育成
- ・看護学の向上を目指し、生涯にわたって自己研鑽し続ける人材の育成
- ・地域社会に主体的かつ創造的に貢献できる人材の育成
- ・国際的視野をもつ人材の育成

リハビリテーション学部 教育目標

リハビリテーション学部は、学生が本来持っている潜在能力とエネルギーを引き出すために最大限の支援を行い、持続可能な社会の構築に貢献できる実践知の基盤を育成することを目指します。そのため、教育目標を次のとおり定めます。

- ・人間の尊厳と基本的人権の尊重に基づき行動できる豊かな人間性と高い倫理観を身につけること
- ・人間や社会に関する幅広い知識を有し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を発見・探究・解決する能力を育むこと
- ・リハビリテーションにおける専門的知識と技術を身につけること
- ・地域社会を含めた生活環境づくりを広い健康の視点で理解し、多様な人々と協働して活動できる能力を持つこと

理学療法学科 教育目標

理学療法学科は、直接的な対人援助を通して社会への貢献を志す学生の意欲を尊重し、公知の価値体系だけでなく、時代の変化に対応した持続可能な社会の構築に貢献できる実践知の育成を目指します。そのため、教育目標を次のとおり定めます。

- ・人の尊厳と人権の尊重に基づく行動ができる人間性と倫理観を身につける
- ・人や社会に関する知識や未来の動向を探索する技法を通して、理学療法を取り巻く諸問題を発見・探究・解決する力を身につける
- ・保健医療分野に携わる理学療法の専門的知識と技術を身につける
- ・多様な人々と協働して対象者の地域社会での活動や社会的関係性の促進に貢献できる能力を身につける

作業療法学科 教育目標

年齢や障害の有無に関わらず、対象者が自分らしく人生を送るよう支援する作業療法を学ぶために、作業療法学科の教育目標を次のとおり定めます。

- ・適切な対人関係を作るコミュニケーション能力、協調性を基盤とした多職種連携を図ることのできる能力を身につける
- ・対象者を取り巻く多様な問題の解決に向けて問いを立て続ける意識を身につける
- ・複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する力を身につける
- ・作業療法の発展と社会に貢献する活動や研究に参加しようとする能力を身につける

言語聴覚学科 教育目標

高いコミュニケーション能力を有し、他者や地域に貢献する意識、新たな課題や未知の課題を創造的に解決しようとする意欲、さらに専門知識・技術を生涯にわたって学習し続ける倫理観を有する人材養成を目標とします。

- ・人間の歴史、社会、経済の仕組みを理解し、障害者と健常者が平等で安全に生きる共生の社会創りができる能力を身につける
- ・専門知識と技術を学修し、障害者への直接支援のみならず、共生の社会のあるべき姿を想像し、実現への道を歩める力を身につける

医療技術学部 教育目標

医療技術学部の目的・養成する人材像を実現するため教育目標を次のとおり定めます。

- ・個人の尊厳と基本的人権の尊重に基づき行動できる豊かな人間性と高い倫理観を身につけること
- ・医療技術に裏付けられた医学的知識と専門技術にかかわる知識、技術力を養うこと
- ・熱意を持ち自ら学ぶ力を養い、専門職にかかわるさまざまな課題に取り組むことができる探究心を身につけること
- ・社会が求める医療技術を国際社会、地域社会と協働して実践できる能力を養うこと

検査技術学科 教育目標

検査技術学科では、「見えないものを見える化する」という検査技術の使命のもと、患者一人ひとりの命と真摯に向き合う姿勢を大切にします。また、生命の尊厳を深く理解し、高い倫理観と人間性を備えた医療人の育成を目指します。そのため、教育目標を次のとおり定めます。

- ・多様化・高度化する医療現場において、科学的根拠に基づいた検査技術を適切に選択・実施できる専門的知識と技能を養うとともに、患者や医療チームとの良好なコミュニケーションを通じて、チーム医療に貢献できる力を培う
- ・臨床検査に対する関心と主体的に学ぶ意欲を重視し、基礎から応用、研究までを段階的に学ぶ体系的なカリキュラムにより、論理的思考力、課題解決能力、表現力を育成する
- ・最新の分析機器と技術を取り入れた、発展的かつ専門性の高い学びを提供し、地域医療や急性期医療などの臨床現場から、遺伝子検査・生殖医療・医学研究といった先端的な分野に至るまで、幅広い領域で活躍できる柔軟な発想力と実践力を身につけ、医療のさまざまな場面で社会の多様なニーズに応える人材を育成する
- ・「正確な検査で人の命を支える」という使命を追求し、未来の医療を創造する実践的な人材を育成する

放射線学科 教育目標

放射線学科では、放射線技術の活用を通じて、医学・医療ひいては社会の健全な発展に寄与できる人材を育成することと、医療人としての倫理とコミュニケーション能力の高い人材育成を目標としています。そのため、教育目標を次のとおり定めます。

- ・放射線技術の知識修得と活用力を身につける
- ・医療人として、患者の尊厳を守るとともに倫理観を身につける
- ・患者ならびにチーム医療におけるコミュニケーション能力を身につける
- ・社会の健全な発展に寄与でき、様々な分野に貢献できる社会適応能力を身につける

臨床工学科 教育目標

臨床工学技士の業務拡大に伴い、近年、高度な知識・経験・技術を有する臨床工学技士が求められている背景を鑑み、時代の変化に対応し、社会貢献のできる臨床工学技士の育成を目指します。そのため、教育目標を次のとおり定めます。

- ・基礎から臨床に至る専門科目を体系的に学習し、高度な専門知識を身につける
- ・各種医療機器及びシミュレーターを用いた実習教育により実践的技術を身につける
- ・チーム医療に必要な適切な対人関係を醸成するためのコミュニケーション能力、協調性を基盤とした多職種連携を図ることのできる能力を身につける
- ・生体医工学領域の専門家として、さまざまな医学的課題に対する探求心や問題解決能力を身につける

5. ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

看護学部看護学科 ディプロマ・ポリシー

大学の目的のもとに定められた教育課程にそって研鑽に努め、卒業に必要な単位を修得し、以下の要件を満たすと認められた者に学位を授与します。

- ・社会人の基盤となる豊かな感性、倫理観、幅広い教養を備え、看護職としての態度を身につけている。
- ・看護の対象を身体的・心理的・社会的側面からとらえることができる。
- ・対象の健康課題を適切にとらえ、科学的根拠(知識・技術)に基づいた看護が実践できる。
- ・チーム医療の中で多職種と協調し、調整することができ、リーダーシップを発揮できる。
- ・生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢を身につけている。
- ・社会の変化や地域の特性をふまえ、多様な人や環境に積極的かつ柔軟に対応できる。
- ・世界で生じている保健医療の問題に関心を持ち、看護職の役割を考えることができる。

リハビリテーション学部 ディプロマ・ポリシー

リハビリテーション学部の教育目標に基づき、定められた教育課程にそって研鑽に努め、次の要件を満たすと認められた者に学位を授与します。

- ・障害の有無にかかわらず、人間の尊厳と基本的人権を尊重する姿勢
- ・人間や社会に関する健康の知識を有し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を発見・探究・解決する能力
- ・リハビリテーションにおける専門的知識と基本的技術
- ・地域社会を含めた生活環境づくりを広い視点で理解し、多様な人々と協働して活動できる能力

理学療法学科 ディプロマ・ポリシー

理学療法学科では、人間の尊厳と基本的人権を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時まで身に付けている知識や能力を次のように定めています。定められた教育課程にそって要件を満たすと認められた者に、学士(理学療法学)の学位を授与します。

- ・理学療法とリハビリテーションに関連する未知の課題に、自ら問いを立てて、解決方法を模索できる能力
- ・臨床での理学療法実践に不可欠な医学や理学療法学の専門知識と基礎的技術
- ・多様な関係者と協働して対象者の地域社会での活動の促進に貢献できる実行力とコミュニケーション能力

作業療法学科 ディプロマ・ポリシー

作業療法学科では、定められた教育課程にそって次の要件を満たすと認められた者に、学士(作業療法学)の学位を授与します。

- ・心身の障害の有無によらず、家族、多職種との適切な対人関係を作るコミュニケーション能力と協調性
- ・複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する能力
- ・対象者を取り巻く多様な問題の解決に向けて、問いを立て続ける能力
- ・作業療法学の発展と社会に貢献する活動や研究に主体的に従事しようとする姿勢

言語聴覚学科 ディプロマ・ポリシー

言語聴覚学科では、学部のディプロマ・ポリシーに基づき、言語聴覚士として身に付けているべき知識や能力を次のように定めています。定められた教育課程にそって要件を満たすと認められた者に、学士(言語聴覚学)の学位を授与します。

- ・QOLの確保・向上を支援するため必要な基本的知識・技術
- ・リハビリテーションに関わる多職種、家族、地域住民、共生の街づくりにつながる一般市民とのコミュニケーション能力と協調性
- ・新たな課題、未知の課題に取り組み解決しようとする姿勢
- ・人間の個性と尊厳を尊重し、言語聴覚療法に必要な知識と技術を生涯にわたり学習しようとする倫理観

医療技術学部 ディプロマ・ポリシー

医療技術学部の教育目的に基づき、学生が卒業時に身につけるべき知識や能力を次のように定めています。これらを身につけたことを卒業要件とし、学位を授与します。

- ・人権を尊重し、高い倫理観をもって社会に貢献する姿勢
- ・チーム医療を実践するための、コミュニケーション能力と協調性
- ・医療技術専門職としての基礎的知識と技術、及び社会人としての教養
- ・医療技術分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力
- ・生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献する意欲と姿勢

検査技術学科 ディプロマ・ポリシー

検査技術学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身に付けている知識や能力を次のように定めています。

- ・臨床検査で求められる基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる能力
- ・コミュニケーション能力を生かしチーム医療へ貢献する能力
- ・検査技術学に関する課題等の発見とその解決に向け、科学的根拠に基づいた思考や適切な判断をする能力

- ・幅広い教養と医療専門知識を身につけ、多様な価値観の認識と異文化を理解し、グローバル社会に適応できる能力

放射線学科 ディプロマ・ポリシー

放射線学科では、科学的応用技術をとおして、対象である尊厳と人間愛を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・先進・高度化する専門分野の基本的技術を実践できる問題解決型臨床医療技術力
- ・医療技術専門職としての基礎的知識と医療人としての教養と協調性をもつ医療コミュニケーション力
- ・多様な情報を適切に分析し、放射線の管理、防護、制御技術をとおして、医療安全に寄与する実践力や研究能力
- ・人と社会に関心を持ち、自らの医療技術力を応用し、様々な分野で貢献する活動力

臨床工学科 ディプロマ・ポリシー

臨床工学科では、倫理観をもって人間の個性と尊厳を尊重する姿勢に加え、学生が卒業時に身につけている知識や能力を次のように定めています。

- ・医工学分野の基本的知識及び展開される医療分野に対応できるスキルを身につけ、実践に活かす能力
- ・チーム医療の一員として多職種と連携し、全人的医療の実践及び医療安全の確保に貢献できる能力
- ・思考力・洞察力・判断力を身につけ、医療分野における諸課題について国際的知識水準を背景に解決する能力
- ・異なる文化を理解・尊重し、国際的視野を持って考察できる能力

6. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学部看護学科 カリキュラム・ポリシー

看護学部看護学科は、ディプロマ・ポリシーを実現するために、教育課程を以下のように編成します。

- ・大学初年次教育を充実させ、在学中の成長を学生・教員が共に確認しあうために、修学ポートフォリオを活用します。
- ・豊かな感性と倫理観、幅広い教養を身に付けるために、思想・表現・環境・情報に関連する科目を教養科目群に配置します。
- ・看護の対象となる人間を理解するために、発達や生活及び社会に関連する科目を教養科目群に配置します。
- ・看護学を理解する上で基盤となる知識を獲得するために、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度などに関連する科目を専門基礎科目群に配置します。
- ・専門科目群は看護学の概要を理解し、具体的な看護の方法を段階的に学べるよう科目を配置します。授業は講義・演習・実習を有機的に連動させて展開します。
- ・授業では、能動的学習を充実させ、自ら考え、解決する力を養うために、多様なアクティブ・ラーニングの方法を積極的に取り入れます。
- ・実習は、看護実践能力を身に付けるために、多様な場を活用して、入学後早期から段階的に実施します。
- ・チーム医療に対する理解を深めるために、多職種の連携・協働を学ぶ科目を配置します。
- ・看護に対する関心や意欲を高め、更に探究できるための科目を適切な時期に配置します。
- ・助産師または保健師の国家資格取得希望者には、各国家試験受験に必要な科目を選択できるように配置します。
- ・人の多様性を理解し、国際的視野を広げるために、コミュニケーション、外国語、国際看護および看護の各専門領域における国際的な課題について学ぶ科目を初年次より段階的に配置します。

リハビリテーション学部 カリキュラム・ポリシー

リハビリテーション学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、カリキュラムを編成しています。特に、多様な人々と協働する多職種連携の基礎となる科目と、健康の視点を大切にするために国際生活機能分類（ICF）の概念に基づくリハビリテーションに対応できるよう授業科目を工夫しています。これらの修学状況を学生と教員が共に確認するために、修学ポートフォリオを活用します。

- ・豊かな教養、コミュニケーション能力の育成、科学の進歩にあわせた人工知能や情報社会に対応する能力、人間と社会を多側面から理解するために、『人と社会及び自然の理解』と『情報と言語の理解』に区分した教養科目を配置しています。また、『大学の学びの基盤』として、学び方入門、専門への導入、多職種理解と連携の科目を配置しています。
- ・初年次教育を充実させるため、リハビリテーション学部共通科目、並びに各領域の専門知識の基礎となる、人間の運動や行動を解剖学、

生理学、運動学、心理学、発達学的観点から分析・考察を学修する科目を配置しています。

- ・多様な領域で活用できる学びの展開のために、各専門領域における専門的知識、技術を学修します。また、学内で学んだ知識と実践との経験を統合する機会となるよう、人間関係の構築、施設内外における多職種連携を経験し、将来の人間像を形成する場として、『臨床実習』や『卒業研究』を配置しています。
- ・保健医療チームとして、健康と生活の視点にたつ ICF を基盤として連携・協働を図りながら、社会参加、健康増進、障害予防を考えることができるように、「リハビリテーション概論」、「チーム医療とリハビリテーション」、「地域リハビリテーション学」を配置しています。また、災害に立ち向かう力を身につけるために「災害保健学」「国際保健学」などの科目を学びます。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニング、体験学習などを適宜組み合わせています。

理学療法学科 カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・専門教育への円滑な導入を目的に、学び方入門や多職種連携の科目を1～2年次に配置しています。
- ・人や社会の理解、自然科学、先端科学、コミュニケーション技法といった教養科目を1～2年次に学びます。
- ・人体の構造と機能、疾病・障害を理解するための基礎医学、臨床医学、リハビリテーションの基礎科目群を初年次から学びます。
- ・理学療法の専門科目は1年次から「基礎」と「評価学」を、2年次より「治療学」を、3年次より「管理学」「地域」を配置し、入学後から系統的・段階的に学びます。
- ・学修した専門知識や技術、多職種連携を現場で確認するための臨床実習を2年次末から段階的に配置しています。
- ・地域を基盤とした保健医療チームとして社会参加、健康増進、障害予防、災害保健を展開するための地域リハビリテーションなどの科目群を初年次より学びます。
- ・自ら問いを立てて、解決を模索できる能力を得るために「理学療法研究論」、「事例研究法」、「卒業研究」の科目群を3～4年次に配置しています。

作業療法学科 カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、ディプロマ・ポリシーにそって、次のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い教養を修得するため、教養科目群、共通基盤科目群を中心に学びつつ、医療専門職としての意識を高めるための専門基礎科目群に加え初年次から、「作業療法学概論」、「基礎作業学」といった専門科目を配置しています。
- ・基礎医学系及び臨床医学系の専門基礎科目を学び、作業療法の専門科目として『作業療法評価学』、『作業療法治療学』区分の科目を学ぶことで具体的な作業療法の知識の輪郭が理解できるよう段階的に配置しています。なお、後期の「見学実習」によって実践的な知識への導入を図ります。
- ・作業療法の専門科目の学びから、より実践的に考えられるよう「作業療法理論」、「作業療法リーディング」、「日常生活活動学」を深く学べるよう配置しています。
- ・「作業療法基礎実習Ⅰ」、「作業療法基礎実習Ⅱ」、「総合臨床実習Ⅰ」「総合臨床実習Ⅱ」でこれまでの学習効果が確認でき、将来の作業療法士像が形成できるよう配置しています。
- ・論理的な思考、問題解決能力を高めるために、「作業療法学研究法演習」、「事例研究法」、「卒業研究」を3・4年次で学ぶことができるよう配置しています。

言語聴覚学科 カリキュラム・ポリシー

言語聴覚学科では、ディプロマ・ポリシーにそって、次のようにカリキュラムを編成しています。

- ・大学で学ぶことの意味と学習の姿勢、地域への貢献、研究の姿勢、並びにコミュニケーション・スキルの向上、言語聴覚士の役割について、教養科目、専門基礎科目、1年次の専門科目で学びます。
- ・人間の尊厳並びに権利と障害、障害者の権利（条約）、ICFの理解、個性の基盤である生活と地域・社会参加、それが展開される地域そのものについて、1年次から2年次にかけて専門基礎科目、専門科目により理解を深めます。
- ・言語聴覚機能の評価、機能回復訓練、機能回復の限界と障害を持ちながら地域・社会に参加するための支援並びに街づくりの実践について、2・3年次の専門基礎科目に地域参加系科目を配置して学習します。
- ・臨床実習は、学んだ知識を確認し、問題解決能力、創造力、実践力、応用力が育つよう1年次から4年次に配置します。

医療技術学部 カリキュラム・ポリシー

医療技術学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、検査技術学科、放射線学科、臨床工学科のそれぞれの専門性に応じてカリキュラムを編成しています。その教育課程は、教養科目群・共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群から構成されています。

- ・教養科目群は社会人としての教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけるため、「人と社会及び自然の理解」の科目群と「情報と言語の理解」の科目群に大別された広範な科目を3学科共通科目として配置しています。
- ・共通基盤科目群は、「大学の学びの基盤」として、スタディ・スキルズ、アカデミック・スキルズ、多職種理解と医療コミュニケーションの科目を3学科共通必須科目として配置しています。
- ・専門基礎科目群は、医療技術専門職を養成する3学科それぞれに展開される専門領域の理論、技能の習得のための学術的基盤となる科目を配置しています。
- ・専門科目群は各学科の専門領域とそれに関連する理論、技能を学ぶ科目を配置し、さらに高い実践力を獲得するための臨地実習科目及び付加資格の取得や大学院進学を目指すための探究科目を配置しています。また、医療技術学演習を3学科共通科目として配置しています。

検査技術学科 カリキュラム・ポリシー

検査技術学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い教養を修得するため、教養科目群、専門基盤科目群を中心に学びつつ、医療技術専門職としての意識を高めるための専門基礎科目群に加え、検査技術の概要を学ぶ専門科目を必修科目として1年次から配置しています。
- ・多様な疾病、病態に沿った臨床検査を理解する上で必要となる知識と技術を修得するため、専門科目群の講義及び学内実習科目を2年次から多く配置しています。
- ・専門的知識、実践的検査技術を2年次専門科目から系統的に修得できるよう体系づけた専門科目群の講義及び学内実習科目を3年次前期に多く配置しています。また実践的な高度な知識と技術を修得するための「臨地実習」を3年次後期に配置しています。
- ・将来の医学・医療の発展に貢献できる評価能力及び研究能力を養うための「卒業研究」を4年次に配置しています。また、専門選択科目として、付加資格の取得や大学院進学を目指すための探究科目を3年次から4年次に配置しています。

放射線学科 カリキュラム・ポリシー

放射線学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・自然科学の基礎、医学系科目や医療技術専門職としての医療コミュニケーションスキルを学ぶための専門基礎科目、大学の学び方を1年次で配置しています。また、医療コミュニケーションの基礎としてグループディスカッションを組み入れた科目を、1年次を中心に配置しています。
- ・放射線学の基礎に関連する物理学、計測学、解剖学、診療放射線技師として必要な知識・技術・態度の基盤を形成する科学力を習得する科目を2年次に配置しています。また、問題解決型臨床医療技術力の基礎を修得するための学内実習科目を2-3年次に配置しています。
- ・診療放射線技師の臨床実践での高度な思考と基本的技術を学ぶ科目は、3年次を中心にして、講義、演習、学内実習として配置しています。問題解決型臨床医療技術力のレベルアップを図るための臨床実習科目を3-4年次に配置しています。
- ・専門分野の発展に寄与する科学的思考や倫理観を獲得するための診療放射線学研究は3-4年次を中心に、診療放射線技師としての知識、技術、態度を統合して臨床実践を学ぶ臨床実習は4年次に配置しています。また、研究能力ならびに医療技術を応用する力を育む科目を3-4年次に配置しています。

臨床工学科 カリキュラム・ポリシー

臨床工学科では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

- ・幅広い知識と教養を修得し、豊かな人間性を身につけるための教養科目群と共通基盤科目群に加え、医療技術専門職として必要な医学・工学の基礎知識を修得するための専門基礎科目群、臨床工学の概要を学ぶ専門科目を必修科目として1年次に配置しています。
- ・臨床工学に必要な臨床医学と理工学の基礎知識を修得する専門基礎科目群と、医療機器に応用するための知識・技術を修得するための専門科目群を2年次に配置しています。
- ・生体医工学の理論・知識・技術を統合させ、医療技術の提供に必要な実践的な知識と技術を修得するための専門科目と、医療従事者としての自覚を身につけるための専門基礎科目「チーム医療概論」を3年次に配置しています。
- ・修得した知識と技術を整理し連携させることにより総合的な理解を深めるための「臨床実習」と生体医工学分野における問題発見と創造的研究を行う能力及び問題解決能力を養う「卒業研究」を4年次に配置しています。

7. 沿革

| | | |
|-------|-----------|---|
| 1994年 | 8月 1日 | 群馬パース看護短期大学の設立準備室発足 |
| | 12月 13日 | 高山村村議会上に群馬パース看護短期大学の事業計画の説明 |
| 1995年 | 4月 11日 | 大蔵省、文部省に準備財団群馬パース看護短期大学の指定寄附申請 |
| 1996年 | 6月 13日 | 文部省より財団法人群馬パース看護短期大学設立準備財団の認可を受ける |
| | 7月 22日 | 大蔵省より指定寄附の認可を受ける |
| | 9月 27日 | 文部省へ群馬パース看護短期大学設置認可申請 |
| | 9月 30日 | 文部省へ学校法人群馬パース学園寄附行為認可申請 |
| 1997年 | 12月 19日 | 文部省から大学設置認可、寄附行為認可を受ける |
| 1998年 | 4月 7日 | 看護学科第1回入学式 |
| 2000年 | 9月 28日 | 文部省へ地域看護学専攻科の保健師養成学校指定申請 |
| | 12月 21日 | 文部省から地域看護学専攻科の認可を受ける |
| 2001年 | 3月 4日 | 看護学科第1回卒業証書授与式 群馬パース看護短期大学の3周年記念式典 |
| | 4月 8日 | 地域看護学専攻科第1回入学式 |
| | 4月 26日 | 文部科学省へ理学療法学科設置認可申請・寄附行為変更認可申請 |
| | 12月 20日 | 文部科学省から理学療法学科の設置認可を受ける |
| 2002年 | 3月 2日 | 地域看護学専攻科第1回修了証書授与式 |
| | 4月 1日 | 大学名を「群馬パース学園短期大学」に変更 |
| | 4月 6日 | 理学療法学科第1回入学式 |
| 2003年 | 9月 13日 | 高崎キャンパス竣工 |
| 2004年 | 4月 1日 | 高崎キャンパス・高山キャンパス間の遠隔講義開始 |
| | 4月 28日 | 文部科学省へ群馬パース大学設置認可申請・寄附行為変更認可申請 |
| | 11月 30日 | 文部科学省から群馬パース大学保健科学部の設置認可を受ける |
| | 12月 22日 | 群馬パース大学設立記念式典 |
| 2005年 | 3月 17日 | 理学療法学科第1回卒業証書授与式 |
| | 4月 6日 | 群馬パース大学第1回入学式 |
| 2006年 | 4月 1日 | 文部科学省から学校法人ほたか会(ほたか保健福祉専門学校)の吸収合併認可を受ける |
| 2008年 | 5月 28日 | 文部科学省へ群馬パース大学大学院設置認可申請 |
| | 5月 30日 | 文部科学省へ群馬パース大学大学院寄附行為変更認可申請 |
| | 10月 31日 | 文部科学省から群馬パース大学大学院設置認可を受ける |
| | 11月 29日 | 群馬パース大学大学院開学記念式典 |
| 2009年 | 3月 11日 | 群馬パース大学第1回学位記授与式 |
| | 4月 8日 | 群馬パース大学大学院第1回入学式 |
| 2010年 | 2月 1日 | 1号館【看護学科・理学療法学科・図書館棟】竣工 |
| 2011年 | 3月 9日 | 群馬パース大学大学院第1回学位記授与式 |
| | 10月 5日～7日 | 大学機関別認証評価実地調査 |
| 2012年 | 3月 26日 | 大学機関別認証評価、認定 (財)日本高等教育評価機構 |
| | 3月 30日 | 文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請 |
| | 4月 26日 | 文部科学省へ検査技術学科設置届出 |
| | 5月 25日 | 文部科学省へ助産師学校指定申請 |
| | 6月 21日 | 文部科学省から群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可を受ける |
| | 6月 25日 | 文部科学省に検査技術学科設置届出が受理される |
| | 8月 31日 | 文部科学省から助産師学校の指定を受ける |

| | | |
|-------|------------|---|
| 2013年 | 2月28日 | 2号館【検査技術学科棟】竣工 |
| | 4月10日 | 検査技術学科第1回入学式 |
| | 10月2日 | 3号館【体育棟】竣工 |
| 2016年 | 3月31日 | 文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請 |
| | 4月27日 | 文部科学省へ放射線学科設置届出 |
| | 4月27日 | 文部科学省へ臨床工学科設置届出 |
| | 5月25日 | 文部科学省へ診療放射線技師学校指定申請 |
| | 6月30日 | 文部科学省から群馬パース大学収容定員増加に係る学則変更認可を受ける 文部科学省に放射線学科設置届出が受理される 文部科学省に臨床工学科設置届出が受理される |
| | 8月31日 | 文部科学省から診療放射線技師学校の指定を受ける |
| 2017年 | 3月3日 | 4号館【放射線学科・臨床工学科棟】竣工 |
| | 3月8日 | 検査技術学科第1回学位記授与式 |
| | 3月31日 | 文部科学省へ群馬パース大学大学院保健科学研究科保健科学専攻課程変更認可申請 |
| | 4月7日 | 放射線学科・臨床工学科第1回入学式 |
| | 8月29日 | 文部科学省から群馬パース大学大学院保健科学研究科保健科学専攻課程変更認可を受ける |
| | 12月20日 | 文部科学省へ群馬パース大学大学院収容定員の増加に係る学則変更届出 |
| 2018年 | 2月24日 | 群馬パース大学大学院博士後期課程開設記念式典 |
| | 4月4日 | 群馬パース大学大学院博士後期課程第1回入学式 |
| | 10月3日～7日 | 大学機関別認証評価実地調査 |
| | 10月29日 | 日本看護協会から認定看護師教育機関(摂食・嚥下障害看護)の認定を受ける |
| 2019年 | 3月5日 | 大学機関別認証評価、認定(公財)日本高等教育評価機構 |
| | 7月6日 | 認定看護師教育課程(摂食・嚥下障害看護)第1回開講式 |
| 2020年 | 1月25日 | 認定看護師教育課程(摂食・嚥下障害看護)第1回修了式 |
| | 3月25日 | 文部科学省へ群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可申請 |
| | 4月27日 | 文部科学省へリハビリテーション学部設置届出 |
| | 7月21日 | 文部科学省へ理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校指定申請 |
| | 9月1日 | 5号館【学生支援センター・学生専用マンション】竣工 |
| | 10月2日 | 文部科学省から群馬パース大学収容定員の増加に係る学則変更認可を受ける 文部科学省にリハビリテーション学部設置届出が受理される |
| | 10月30日 | 文部科学省からリハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科が 理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校の指定を受ける |
| 2021年 | 1月30日 | 1号館 ANNEX(別館)竣工 |
| | 3月12日 | 放射線学科・臨床工学科第1回卒業証書・学位記授与式 群馬パース大学大学院博士後期課程第1回学位記授与式 |
| | 4月1日 | 学校法人群馬パース学園から学校法人群馬パース大学へ法人名変更 |
| | 4月7日 | リハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科第1回入学式 |
| | 4月26日 | 文部科学省へ看護学部設置届出 |
| | 5月31日 | 文部科学省へ看護師学校、保健師学校、助産師学校指定申請 |
| | 6月28日 | 文部科学省に看護学部設置届出が受理される |
| | 9月17日 | 文部科学省から看護学部看護学科が看護師学校、保健師学校、助産師学校の指定を受ける |
| 2022年 | 4月1日 | 保健科学部(検査技術学科・放射線学科・臨床工学科)が医療技術学部へ名称変更 |
| | 4月7日 | 看護学部看護学科第1回入学式 |
| 2024年 | 10月21日～23日 | 大学機関別認証評価実地調査 |
| 2025年 | 3月7日 | 作業療法学科・言語聴覚学科第1回卒業証書・学位記授与式 |
| 2026年 | 3月6日 | 看護学部看護学科第1回卒業証書・学位記授与式 |

学生生活の手引き

II

1. 学籍
2. 学籍異動
3. 学納金
4. 学生生活の心得
5. 各棟の開館時間
6. 各種手続き
7. 健康管理
8. 奨学金
9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度
10. 各施設の利用
11. 通学
12. ノート PC の利用・インターネットの利用
13. 学内プリンターの利用
14. 課外活動
15. 防災・災害対策
16. ハラスメントの防止
17. 注意事項等



II 学生生活の手引き

1. 学籍

学籍

入学と同時に本学学生として学籍が決定します。学生の身分はこの学籍により保障されますので、身辺に関する変更事項等は速やかに事務室に届け出てください。学籍は所定期日までに学納金を納入することにより年度ごとに継続できます。また、休学を除く期間を在学期間といい、最長8年まで在学することができます。定められた期日までに学納金を納入しない場合は学則に基づき除籍となり、学生の身分を失うことになります。

学籍番号

学籍番号とは、学部・学科・学年ごとに付与された個人番号のことです。教科に関すること、学生生活に関すること、その他事務手続きを円滑にするために学籍番号が決定されます。すべての提出物、届出、申請等には、氏名の他に学籍番号の記入が必要となります（卒業後の証明書交付にも必要）。

【学籍番号の構成（学籍番号 260101 の場合）】

26
入学年度

01
学部・学科

01
個人番号

- 01: 看護学部 看護学科
- 11: リハビリテーション学部 理学療法学科
- 12: リハビリテーション学部 作業療法学科
- 13: リハビリテーション学部 言語聴覚学科
- 21: 医療技術学部 検査技術学科
- 22: 医療技術学部 放射線学科
- 23: 医療技術学部 臨床工学科

学生証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。学生証は入学時に交付され、有効期間は在学中とします。卒業、退学、除籍の際には必ず返却してください。特に、次の場合は学生証が必要となります。

- ① 各棟に入館するとき
- ② 図書館等の施設を利用するとき
- ③ 証明書自動発行機を利用するとき
- ④ 学内プリンターを利用するとき
- ⑤ 定期試験、追・再試験を受験するとき
- ⑥ 通学定期券を購入するとき
- ⑦ 本人確認が必要な書類や、各種証明書、遺失物（忘れ物・落とし物）を事務室で受け取るとき

(1) 学生証 (IC 機能付)

○学生証の機能

本学の学生証は非接触型 IC 機能を有しています。各棟の入館（17 ページ参照）、1 号館図書館入口のゲート開閉、証明書自動発行機や学内プリンターを利用する際に使用します。

○IC 機能付学生証の注意点

精巧な電子機器なので強い磁気を発する物（スマートフォン等の電子機器）には近づけないでください。また、強い力をかけたり、折り曲げたりしないでください。ズボンのポケットに入れたまま座ると、変形・破損する恐れがあります。

(2) ネームホルダー（吊下げ）の着用

学内では学生証を入れたネームホルダーを常時着用してください（学内でネームホルダーをつけていない学生は、不審者とみなされます）。この取り組みは防犯対策の一環として、自分たちの身を守るために行っています。各自が防犯意識を持ってネームホルダーを着用してください。

(3) 学生証の再交付

紛失等の理由で学生証の再交付を受ける場合は、「**学生証再交付願**」（証明書自動発行機で発行）を事務室に提出してください。学生証の紛失・盗難の場合は、悪用される可能性がありますので、最寄りの交番または警察署へ届け出てください。なお、再交付手続き後に学生証が見つかった場合でも、再交付の取り消しはできません。また、留年等により学生証の有効期限が切れる場合においても、再交付の手続きが必要となります。

(4) 記載事項の変更

改姓その他の理由で学生証の記載事項を変更する場合は、変更手続き（以下、「**身上に関する変更**」）を参照して学生証の再交付を受けてください。

(5) 仮学生証

教務課が公示した定期試験や追・再試験等において、学生証の提示が義務付けられています。学生証が無いと各試験を受けられません。学生証の盗難・紛失・破損等やむを得ない場合、試験当日に証明書自動発行機にて当日限り有効の仮学生証を交付します。

身上に関する変更

在学中に身上に関する変更が生じたときは、速やかに手続きをとってください。

(1) 本人の住所・電話番号等の変更

Active Academy Advance（74 ページ参照）の「プロフィール変更」にて該当項目を変更してください。誤った内容の入力や、必要な情報の削除をしてしまうと、大学からの大切な連絡等が届かない場合があります。常に最新の情報が正しく登録されているようにしてください。

(2) 本人の氏名の変更 ※通称名の使用も可（別途手続きが必要）

氏名を変更したときは「**改姓改名届**」（様式第 1-3 号）に戸籍抄本（写）を添付して事務室に提出してください。

なお、氏名の変更に伴い、併せて「**学生証再交付願**」「**実習名札再交付願**」の提出も必要となります。

その他、奨学金等の支援を受けている場合は、必要な手続きを行ってください。

(3) 保証人・緊急連絡先に関する変更

保証人・緊急連絡先を変更する場合や、保証人の住所が変更となった場合には、「**保証人等変更届**」（様式第 1-2 号）を事務室に提出してください。なお、住所を変更する場合には、変更後の住所が確認できる書類の添付が必要となります（市町村合併による住所変更の場合を除く）。

2. 学籍異動**休学**

病気その他やむを得ない理由のため、3 ヶ月以上修学することが困難なときは、その理由を証明する書類（病気の場合は医師の診断書）を添えて、「**休学願**」（様式第 3-2 号）を学年担任またはチューターを経て事務室に提出し、学長の許可を得れば休学することができます。休学の期間は半年間または 1 年間とし、休学開始の時期は学年の始めまたは学期の始めとします。なお、特別な理由がある場合は、1 年を限度として休学期

間の延長を認めることがあります。休学手続きの期限は、当該年度後期より休学を希望する場合は9月20日、翌年度前期より休学を希望する場合は3月31日までとします(土日祝の場合はその前の事務室開室日)。なお、休学期間中は、在籍料として50,000円(半期分)徴収します。

復学

休学期間が満了したとき、または休学期間中にその理由が消滅して復学しようとするときは、復学する1ヶ月前までにあらかじめ事務室へ「復学願」(様式第3-3号)*を提出し、学長の許可を得なければなりません。*病気による休学の場合は診断書を添付

退学

病気その他やむを得ない理由のため退学しようとするときは、その理由を証明する書類(病気の場合は医師の診断書)を添えて、「退学願」(様式第3-4号)を学年担任またはチューターを経て事務室に提出し、学長の許可を得なければなりません。退学手続きの期限は、前期末の退学を希望する場合は9月20日、後期末の退学を希望する場合は3月31日までとします(土日祝の場合はその前の事務室開室日)。なお、退学の場合、該当期分の授業料は返還できません。

除籍

授業料または在籍料を納入しない場合や、長期にわたり行方不明の場合など、学則に定める事項に該当する場合は除籍となります。

3. 学納金

学納金 内訳

2026年度入学生

| 看護学部・医療技術学部 | | | | リハビリテーション学部 | | | |
|-------------|----|----------|-----------|-------------|----|----------|-----------|
| | | 初年次 | 2～4年次 | | | 初年次 | 2～4年次 |
| 入学金 | | 250,000円 | — | 入学金 | | 250,000円 | — |
| 授業料等* | 前期 | 750,000円 | 各800,000円 | 授業料等* | 前期 | 750,000円 | 各750,000円 |
| | 後期 | 750,000円 | 各800,000円 | | 後期 | 750,000円 | 各750,000円 |

※「授業料等」に含まれるもの

- 学内実験・実習費
- 施設設備費

※「授業料等」に含まれない費用

- 教科書、実習ユニフォーム、実習器具など授業に係る費用
- 新入生研修費
- 臨地・臨床実習に係る費用(予防接種、宿泊交通費など)
- 看護学科の保健師課程履修料(50,000円)、助産師課程履修料(200,000円)

学納金 納入期限

○ 前期分…4月末日 ○ 後期分…10月末日 (土日祝の場合は繰上げます)

*大学に届出された学納金納入者へ振込依頼書を郵送します(前期:4月1日、後期:10月1日付発送)。なお、納入者の住所が変更になった場合は、速やかに所定の手続きにより届け出てください。

*期日までに入金の確認ができない場合には、再請求の案内を行います(督促手数料5,000円/回)。授業料または在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない場合には、学則に基づき除籍の対象となります。

*高等教育の修学支援新制度における授業料等減免対象者に対しては別途ご案内します。

学納金 納入方法

以下のいずれかの方法により納入してください。

○ 金融機関窓口 ○ ATM ○ ネットバンキング

休学期間中の納入金

在籍料として 50,000 円 (半期分) を徴収します。納入方法は、15 ページ記載のとおりです。

※納入期限 ○前期分…4 月末日 ○後期分…10 月末日 (土日祝の場合は繰上げます)

※大学に届出された学納金納入者へ振込依頼書を郵送します (前期: 4 月 1 日、後期: 10 月 1 日付発送)。なお、納入者の住所が変更になった場合は、速やかに所定の手続きにより届け出てください。

※期日までに入金の確認ができない場合には、再請求の案内を行います (督促手数料 5,000 円/回)。在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない場合には、学則に基づき除籍の対象となります。

4. 学生生活の心得

大学から学生への連絡

大学 (教職員) から学生への告示・通達、各種の連絡事項等は、掲示板への掲示によって行います。掲示板は学生と大学 (教職員) を結ぶ重要な伝達手段です。一旦掲示した事項は学生に周知されたものとみなし、学生がこれを見なかったことによる不利益について、大学は一切の責任を負いかねます。登下校時は必ず掲示を確認するように心がけてください。なお、掲示期間は原則として 1 週間です。また特に緊急を要するもの (天候不良による休講等) や特に重要な事項、学生の緊急呼び出しについては、Active Academy Advance (74 ページ参照) から情報伝達を行います。

《学内掲示板設置場所》

1 号館 2 階事務室前……………看護学科・理学療法学科

2 号館 3 階連絡ブリッジ前……………検査技術学科

1 号館 ANNEX (別館) 2 階 ……言語聴覚学科

4 号館 2 階事務室前……………放射線学科・臨床工学科

1 号館 ANNEX (別館) 3 階 ……作業療法学科

貴重品の管理

学内での紛失や盗難等防止のため、貴重品は「常に持ち歩く」「学生専用個人ロッカーに格納し鍵をかける」等、一人ひとりが防犯意識を持ち、各自の責任のもと管理をしてください。また、所持品には必ず氏名を記入し、講義室等に置き忘れることのないようにしてください。なお、学内で遺失物・拾得物及び盗難があったときは、速やかに事務室へ届け出てください。事務室に届けられた遺失物 (忘れ物・落とし物) は、持ち主が現れない場合、拾得日より 3 ヶ月経過した後に処分します。

喫煙の禁止

本学は「群馬県禁煙施設認定制度」で定められている「禁煙認定施設」であり、敷地内はすべて禁煙です。喫煙の事実が確認され、教職員から度重なる注意を受けても改善しない場合、懲戒処分 (退学・停学等) の対象となる場合があります。なお、キャンパス近隣の施設や路上、民間駐車場での喫煙も禁止とします。保健医療専門職を目指す立場として健康管理を自覚し、かつ堅持してください。

キャンパスの美化

学内で飲食をした後のゴミは、必ずごみ箱へ捨ててください。また、講義室や学生ホール、ロッカー室にゴミや私物を放置することのないよう心がけてください。みなさん一人ひとりの心がけでキャンパスを美しく保つことができます。お互いに気持ちよく過ごせるクリーンキャンパスにしていきましょう。

講義室の座席占有禁止

講義室の座席は共用の設備のため、日を跨いで私物等を座席に放置し占有することはできません。放置された私物等は忘れ物として回収され、事務室で管理します。

省エネ対策

省エネルギー対策の取り組みとして、クールビズ・ウォームビズを実施しており、エアコン設定温度を夏は 26℃、冬は 23℃を目標としています。「寒いときには着る、暑いときには脱ぐ」「過度に冷暖房器具に頼らない」など、各自で工夫をお願いします。なお、夏場のエアコンについては、同じ講義室内でも場所や個人の体感によって暑い、寒いが生じてしまいます。各自羽織るものを一枚用意しておくといいでしょう。

スマートフォン等の使用

授業中のスマートフォン・携帯電話による通話、チャット、メール、ウェブサイトの閲覧、ゲームなどの使用を禁止します。科目担当者が事前に許可した場合を除き、授業の撮影（板書・スクリーン・実技等の撮影を含む）、録音・録画も禁止します。なお、科目担当者の許可を得て授業を録画・撮影等する際に教員や受講者が映り込む場合は必ず全員の承諾を得てください。

講義資料には著作権がありますので、無断で転送したりネット上に公開しないでください。

学生として、利用者としてスマートフォン・携帯電話の使用マナーは必ず守ってください。

飲食

飲食をする際は、講義室（大講義室を除く）、1号館1階学生ホール、体育棟2階ホール（休憩スペース）、4号館1階ブックカフェを利用してください。実験・実習室、演習室、ゼミ室、共有スペース、大講義室は飲食禁止です。

学生生活実態・満足度調査

学生生活実態・満足度調査は、学生の学修・生活などの環境について調査し、改善点や問題点を明確にして、より快適な生活環境の実現を目指すために全学生を対象に毎年1回実施しています。調査結果は基礎資料として活用し、学生支援のあり方について具体的に検討を重ね改革を進めます。この調査はみなさんが思っていることを伝える有効な手段のため、積極的に協力してください。調査方法、調査時期は別途お知らせします。

5. 各棟の開館時間

各棟の開錠・施錠時間は以下のとおりです。自動ドアは定刻になると自動的に施錠しますので、施錠時間までに必ず退出してください。

なお、開錠及び施錠時間に変更がある場合は事前に周知します。

| | フロア | 開館時間 | |
|---|-----------------------------------|------------|--------------------------|
| | | 平日 | 土曜日 |
| 1号館 【看護学科・理学療法学科・ 作業療法学科・言語聴覚学科・図書館棟】 | 1階自動ドア ^{*1} | 8:00～22:00 | Closed |
| | 2階自動ドア | 8:00～22:00 | 8:00～22:00 ^{*4} |
| | ANNEX（別館）自動ドア ^{*1} | 8:00～22:00 | Closed |
| 2号館 【検査技術学科棟】 | 1階自動ドア ^{*1} | 8:00～22:00 | Closed |
| | 3階1・2号館 連絡ブリッジ自動ドア | 8:00～22:00 | 8:00～22:00 |
| 3号館 ^{*2} 【体育棟】 | 1階自動ドア ^{*1} | 8:00～22:00 | 8:00～22:00 |
| 4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】 | 1階自動ドア | 8:00～19:00 | Closed |
| | 1階エレベーター ホール自動ドア ^{*1} | 8:00～22:00 | Closed |
| | 2階自動ドア | 8:00～22:00 | Closed |
| 5号館 【学生支援センター・健康管理 センター・国際交流センター】 | 1階自動ドア（中ドア） ^{*1} | 8:30～18:00 | Closed |
| | 2階自動ドア ^{*3} | 8:00～22:00 | Closed |

日曜、祝日、長期休業期間、年末年始は全館終日閉館です。

※1 入館の際は、学生証を自動ドアのカードリーダーにかざしてください。

※2 申請により閉館時でも利用が可能となる場合があります。

※3 説明会等の行事があるときのみ開放する場合があります。

※4 講義室・実習室は施錠されているため使用することはできません。

6. 各種手続き

(★…証明書自動発行機から即時発行可能な証明書)

| 種類 (様式番号) | こんなとき | 提出書類・期日等 | 発行料 | 手続き場所 | 掲載ページ |
|------------------------|--|---|---------------|---------|-------|
| 【1】身上に関するもの | | | | | |
| 保証人等変更届(1-2) | 保証人の変更、住所変更のとき 学納金納入通知先変更のとき 緊急連絡先変更のとき | 【添付書類】※保証人住所変更の場合のみ 変更後の住所が確認できる書類 例)住民票写し、公共料金支払通知等 | — | 1・4号館 | 14 |
| 改姓改名届(1-3) | 婚姻等により氏名を変更したとき | 【添付書類】戸籍抄本写し等 | — | 1・4号館 | 14 |
| 【2】各種証明に関するもの | | | | | |
| 在学証明書★ | | | | | — |
| 成績証明書★ | | | | | — |
| 卒業見込証明書★ (4年次以降発行可) | 就職等で必要なとき | 証明書自動発行機より直接発行 | 各300円 | 1・4号館 | — |
| 健康診断証明書★ | | | | | 20 |
| 卒業証明書 | 就職等で必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後* | 300円 | 5号館 | — |
| 英文在学証明書 | | | | | — |
| 英文成績証明書 | | | | | — |
| 英文卒業見込証明書 | 外国への進学、留学、就職等で必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から2週間程度 | 各1,000円 | 5号館 | — |
| 英文卒業証明書 | | | | | — |
| 就職・奨学金等に関する 推薦書 | 就職試験で大学の推薦が必要なとき 奨学金等で大学の推薦が必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から2週間程度 | 300円 | 5号館 | — |
| 学力に関する証明書 | 養護教諭二種免許を申請するとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後* | 300円 | 5号館 | 81 |
| 修業・履修証明書 (国家試験受験用) | 卒業後国家試験受験で必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【発行時期】受付から3日後* | 500円 | 1・4号館 | — |
| その他証明書 | 上記以外の証明書が必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 ※発行時期等は証明書によって異なるため事務室に問い合わせること | 300円 | 1・4・5号館 | — |
| 【3】学籍・修学に関するもの | | | | | |
| 再履修願 | 1科目を2度にわたり履修登録したいとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【提出期日】毎学期の所定期日 | 1単位 6,000円 | 1・4号館 | 73 |
| 欠席・遅刻・早退届 (3-1) | 学校保健安全法による出席停止、天災等の理由による公共交通機関の遅延、忌引きにより欠席・遅刻・早退したとき (公欠) | 【添付書類】対象となる病気の場合:医師の診断書等 公共交通機関遅延の場合:関係機関の証明書 忌引きの場合:会葬礼状等証明する書類 【提出期日】当該事由が解消した日から1週間以内 | — | 1・4号館 | 75 |
| 休学願(3-2) | 引き続き3ヶ月以上修学することができないとき | 【添付書類】診断書(休学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】当該年度後期より休学を希望する場合:9月20日 翌年度前期より休学を希望する場合:3月31日 | — | 1・4号館 | 14 |
| 復学願(3-3) | 休学期間の満了または休学理由の消滅により復学したいとき | 【添付書類】診断書(休学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】復学する1ヶ月前 | — | 1・4号館 | 15 |
| 退学願(3-4) | 退学したいとき | 【添付書類】学生証・診断書(退学理由が疾病等による場合のみ) 【提出期日】前期末の退学を希望する場合:9月20日 後期末の退学を希望する場合:3月31日 | — | 1・4号館 | 15 |
| 追・再試験願 | 追試験、再試験を受けたいとき ※特別追試験(公欠に該当する理由により定期試験を欠席した場合)を受けたいとき の手続きは、事務室に問い合わせること | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【添付書類】※追試験のみ 追試験願 定期試験を欠席した事を証明する書類 【提出期日】指定期日 | 1科目 2,000円 | 1・4号館 | 76・77 |
| 単位認定申請書(3-6) | 他大学で取得した単位の認定を受けたいとき | 【添付書類】単位取得を証明する書類等 【提出期日】1年次前期履修登録期間内 | — | 1・4号館 | 73 |
| 単位認定緩和措置願(3-7) | 再履修科目が時間割上重複するとき | 【提出期日】履修登録期間内 | — | 1・4号館 | 73 |
| 追加実習願(3-8) | 追加実習を行うとき | 【添付書類】公欠を証明する書類 【提出期日】指定期日 | — | 1・4号館 | 86 |
| 再実習願 | 再実習を行うとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【提出期日】指定期日 | 1日 1,500円 | 1・4号館 | 86 |
| 成績評価に関する疑義照会願 (3-9) | 科目の成績評価に関して疑義照会をしたとき | 【提出期日】指定期日 | — | 1・4号館 | 78 |

| 種類 (様式番号) | こんなとき | 提出書類・期日等 | 発行料 | 手続き場所 | 掲載ページ |
|------------------------|---|---|-----------------------|-------|-------|
| 【4】課外活動に関するもの | | | | | |
| 学生団体設立許可願(4-1) | 団体を設立・継続したいとき | 【提出期日】指定期日 【添付書類】団体区分に応じて指定 | — | 5号館 | 35・36 |
| 学生団体変更届(4-2) | 学生団体の代表者及び顧問を変更したいとき | その都度提出 | — | 5号館 | — |
| 学外活動許可願(4-3) | 学生団体等が学外で活動を行いたいとき | 【提出期日】活動する3日前* | — | 5号館 | 34 |
| 掲示(配布)願(4-4) | 学内でビラ・ポスター等を掲示または印刷物を配布したいとき | 【添付書類】掲示(配布)する文書等 【提出期日】掲示(配布)する3日前* | — | 5号館 | 34 |
| 施設・備品利用願(4-5) | 大学の施設(敷地のみも含む)・備品を利用したいとき | 【提出期日】利用する3日前* | — | 5号館 | 34 |
| 学外者入構許可願(4-6) | 学生団体が大学構内に学外者を立入れてサークル活動を行いたいとき | 【提出期日】活動する3日前* | — | 5号館 | 34 |
| 活動支援費口座振込依頼書(4-7) | 公認団体が銀行口座を新規開設または代表者の変更に伴う口座名義の変更を行ったとき | その都度提出 【添付書類】通帳の表紙の(口座名義掲載ページ)写し | — | 5号館 | — |
| サークル支援費請求書(4-8) | 公認サークルがサークル支援費を請求したいとき | その都度提出 【提出期日】対象活動日又は物品等購入日から1ヶ月以内 | — | 5号館 | — |
| 活動計画書(4-9) | 公認部が当該年度の活動計画を報告するとき | 【提出期日】指定期日 | — | 5号館 | 35 |
| 活動実績報告書(4-10) | 公認部が当該年度の活動実績を報告するとき | 【提出期日】指定期日 | — | 5号館 | 35 |
| 廃部届(4-11) | 学生団体が設立した団体を廃部するとき | その都度提出 | — | 5号館 | — |
| インターンシップ参加届(4-12) | インターンシップに参加するとき | 【提出期日】活動する3日前* | — | 5号館 | — |
| 海外渡航届(4-13) | 海外渡航をするとき | 【提出期日】活動する1週間前* | — | 5号館 | — |
| 【5】その他 | | | | | |
| 仮学生証★ | 教務課が公示した試験時、学生証不携帯のため身分の証明ができないとき | 証明書自動発行機より直接発行 ※試験当日限り有効 | 500円 | 1・4号館 | 14 |
| 学校学生生徒旅客運賃割引証★ | 学割証が必要なとき | 証明書自動発行機より直接発行 ※1日3枚まで発行可能 | — | 1・4号館 | 20 |
| 実習用通学証明書交付願 | 臨地・臨床実習用の通学定期券を購入したいとき | 【提出期日】定期券使用開始日の1ヶ月前 | — | 5号館 | 21 |
| 学生証再交付願 | 紛失・破損したとき 有効期限が切れるとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【交付時期】受付から7日後* | 2,000円 | 1・4号館 | 14 |
| 学生証ネームホルダー | 紛失・破損により新たに購入したいとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 | 500円 | 1・4号館 | 14 |
| 実習名札再交付願 | 紛失・破損したとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【交付時期】受付から3日後* | 1,000円 | 1・4号館 | — |
| 実習名札ケース | 紛失・破損により新たに購入したいとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 | 200円 | 1・4号館 | — |
| 履歴書 | 就職等で必要なとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 ※セット内容(履歴書4枚、大封筒2枚、小封筒2枚) | 200円 | 1・4号館 | — |
| 学内駐輪場利用ステッカー交付願 | 自転車を変えたとき 複数の自転車を登録するとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 | 200円 | 1・4号館 | 30 |
| 抗体検査結果証明再発行願 | 学内で実施した抗体検査の結果を紛失したとき | 【提出書類】証明書自動発行機で発行された申請書 【交付時期】受付から3日後* | 300円 | 5号館 | — |
| 学内プリンター 追加ポイントコード 記載用紙 | 付与されたポイントを超えて印刷したいとき | 証明書自動発行機より発行された用紙に記載の「追加ポイントコード」により、自身でポイントチャージ ※有効期限(発行後72時間)あり | 20P 100円 100P 300円 | 1・4号館 | 33 |

- 〈注意事項〉
- ① 手続きは本人が行ってください。
 - ② 窓口取扱時間を厳守してください。
 - ③ 証明書等の種類により発行までに日数がかかるものがあります。余裕をもって申請してください。
 - ④ 様式番号のある書類は、一部を除き申請書ケース(事務室内や事務室前のエントランス)にあります。また同様の書類をActive Academy AdvanceのWebフォルダからダウンロードすることもできます。
 - ⑤ 押印が必要な申請書類があります。親元を離れて生活している(する)学生は、各自印鑑所持をお願いします。

証明書自動発行機

各種証明書、申請書等が発行できる証明書自動発行機を学内に設置しています。学生証を発行機にかざして、タッチパネルでパスワードを入力し、必要な証明書等を発行してください。パスワードは新入生ガイダンスでお知らせします。

(1) 設置場所

1号館2階エントランスホール及び4号館2階エレベーターホール(各1台)

(2) 利用時間

事務室開室日の8:00~18:00

※利用上のトラブル等については、窓口取扱時間内にお問い合わせください。

※長期休業期間は利用時間を変更する場合があります。

(3) 発行可能な証明書等 ※詳細は、18・19ページ記載

| 発行書類等 | 発行料 |
|-----------------------|------------|
| 各種証明に関するもの | |
| 在学証明書 | 300円 |
| 成績証明書 | 300円 |
| 卒業見込証明書 | 300円 |
| 健康診断証明書 | 300円 |
| 卒業証明書(注2) | 300円 |
| 英文在学証明書 | 1,000円 |
| 英文成績証明書 | 1,000円 |
| 英文卒業見込証明書 | 1,000円 |
| 英文卒業証明書(注2) | 1,000円 |
| 就職・奨学金等に関する推薦書 | 300円 |
| 学力に関する証明書(注2) | 300円 |
| 修業・履修証明書(国家試験受験用)(注2) | 500円 |
| その他証明書 | 300円 |
| 学籍・修学に関するもの | |
| 再履修願 | 6,000円/1単位 |
| 追・再試験願(注3) | 2,000円/1科目 |
| 再実習願 | 1,500円/1日 |

| 発行書類等 | 発行料 |
|-----------------|-----------|
| その他 | |
| 仮学生証(注1) | 500円 |
| 学校学生生徒旅客運賃割引証 | — |
| 学生証再交付願(注1) | 2,000円 |
| 学生証ネームホルダー | 500円 |
| 実習名札再交付願 | 1,000円 |
| 実習名札ケース | 200円 |
| 履歴書 | 200円 |
| 学内駐輪場利用ステッカー交付願 | 200円 |
| 抗体検査結果証明再発行願 | 300円 |
| 学内プリンター | 100円 20P |
| 追加ポイントコード | 300円 100P |
| 記載用紙 | |

(注1) タッチパネルで学籍番号とパスワードを入力して発行してください。

(注2) 事務室窓口で発行方法をお伝えします。

(注3) 公欠による追試験は「特別追試験」とし、試験料を免除します。

学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)

学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)は、学生の修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。この制度の利用については以下の事項に注意してください。

- ① 学割証は片道100kmを越える場合に適用され、普通旅客運賃の2割引で乗車券が購入できます。
- ② 学割証の有効期間は発行日から3ヶ月です。なお、学割証の発行は1日3枚が限度です。

健康診断証明書

学内定期健康診断の結果に基づいた健康診断証明書を発行します。発行は証明書自動発行機で行い、発行開始時期は健康診断終了後、約1ヶ月半後とします。ただし、本学が実施する当該年度の健康診断を受けていない場合は発行できません。

通学定期券

通学定期券を購入する場合は、学生証の裏面に必要事項(通学する住所・通学区間等)を記載し、最寄り駅の窓口で提示してください。通学する住所や通学区間に変更が生じた場合は、1・4号館事務室窓口にて「学生証裏面シール」を配付しますので、必要事項を記載し、学生証の裏面に貼付して最寄り駅の窓口で提示してください。

実習用通学定期券

臨地・臨床実習において、現住所や実習期間中の滞在先から実習施設まで鉄道や路線バスを利用して通学する際は、実習用通学定期券を購入することができます。通常の通学定期券と違い、購入の際は「実習用通学証明書」が必要となりますので、「実習用通学証明書交付願」を学生支援センターに提出してください。「実習用通学証明書」は、各公共交通機関の承認を得てからの発行となりますので時間がかかります。実習の開始日と定期券の購入日を考慮し、余裕をもって（定期券使用開始日の1ヶ月前が目安）申請してください。

7. 健康管理

学生生活を健康に過ごすため、常に自己の健康状態に留意し、十分な睡眠と規則正しい食生活を心掛けてください。

健康診断

本学では毎年1回、学生全員を対象とした健康診断を行います。

感染症

学校保健安全法に定める、「学校において予防すべき感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）」に罹患した場合は、学内等での感染拡大を防止するため、出席停止となります。感染症を疑う症状が見られたときは、登校せずに医療機関を受診し、診断された場合は速やかに健康管理センターが指定する報告フォームより連絡してください。

※報告フォームについては、本学ホームページ（在学生の方）または Active Academy Advance（Web フォルダの「健康管理センター（保健室）」）を確認してください。

マイナンバーカード（マイナ保険証）

親元を離れて生活をする場合、マイナンバーカード（マイナ保険証）を携帯してください。

AED（自動体外式除細動器）の設置

1号館2階エントランスホール、3号館（体育棟）2階ホール、4号館2階エレベーターホール、及び5号館1階に備え付けられており、救命処置が必要な場合はいつでも使用できます。

8. 奨学金

本学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金、都道府県等の奨学金、医療機関等の奨学金を取り扱っています。募集等の連絡は掲示及び Active Academy Advance で案内しますので、見落とさないよう注意してください。

神戸奨学金（本学独自の奨学金）

「神戸（かんべ）奨学金」は、本学創設者である樋口建介の「教育の原点」に多大な影響を及ぼし、学園創設に当たり多額の私財を投じた神戸照子先生の思いを尊重して設立された奨学金制度です。高い志があり、学業が優秀であるにも関わらず経済的な理由により修学困難な学生に対し給付されます。給付は当該年度限りですが、毎年申請可能です。

| | |
|------|-----------------------------|
| 申請資格 | 本学学部在籍する2～4年生 ※特待生奨学金受給者を除く |
| 申請時期 | 毎年5～6月 |
| 給付額 | 300,000円 後期授業料納入時に減免 |
| 募集人数 | 各学科の2～4年生において、それぞれ原則1名以内 |

日本学生支援機構奨学金

貸与奨学金：利息の付かない第一種奨学金と、利息の付く第二種奨学金があります。

| 種 別 | | 内 容 (月額) |
|--------|-------|--|
| 第一種奨学金 | 無利子貸与 | 自宅通学者：20,000円、30,000円、40,000円、54,000円の4種類から選択可* |
| | | 自宅外通学者：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円の5種類から選択可* |
| 第二種奨学金 | 有利子貸与 | 20,000円～120,000円(10,000円単位)から選択可 |

※最高月額は、併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、日本学生支援機構による「給付型奨学金」と、国による「授業料等の減免」による2つの経済的支援を行う制度です。世帯構成や年収に応じた5段階の基準で支援区分と減免額が決まります。

| 支援区分 | 給付奨学金(月額) ^{※2} | | 授業料等減免額 | |
|--------------------------|-------------------------|---------|-------------------|---------------|
| | 自宅通学者 ^{※1} | 自宅外通学者 | 入学金 ^{※3} | 授業料 |
| 第Ⅰ区分 | 38,300円(42,500円) | 75,800円 | 260,000円(上限額) | 700,000円(上限額) |
| 第Ⅰ区分(多子世帯) ^{※4} | 38,300円(42,500円) | 75,800円 | 第Ⅰ区分と同等 | |
| 第Ⅱ区分 | 25,600円(28,400円) | 50,600円 | 第Ⅰ区分の2/3 | |
| 第Ⅱ区分(多子世帯) ^{※4} | 25,600円(28,400円) | 50,600円 | 第Ⅰ区分と同等 | |
| 第Ⅲ区分 | 12,800円(14,200円) | 25,300円 | 第Ⅰ区分の1/3 | |
| 第Ⅲ区分(多子世帯) ^{※4} | 12,800円(14,200円) | 25,300円 | 第Ⅰ区分と同等 | |
| 第Ⅳ区分(多子世帯) ^{※4} | 9,600円(10,700円) | 19,000円 | 第Ⅰ区分と同等 | |
| 多子世帯 ^{※4} | — | — | 第Ⅰ区分と同等 | |

※1 ()内の金額は生活保護世帯で自宅から通学する場合及び児童養護施設から通学する場合。

※2 給付奨学金と第一種奨学金を併給する場合、第一種奨学金の月額が調整。

※3 入学金の減免は、新入生のみが対象(1年次前期までの申し込み対象)。

※4 扶養する子供が3人以上いる場合(最大2人分まで支援)。

家計が急変した学生への支援制度

通常、在学中は年2回奨学金の申込期間が設けられていますが、生計維持者の失業、破産、事故、死亡、災害等により家計が急変し、奨学金を緊急に必要とする場合には、年間を通じて随時申し込むことができます。

(1) 緊急採用・応急採用

①緊急採用(第一種奨学金)：貸与は採用された年度末までとなります。

②応急採用(第二種奨学金)：貸与は通常の修業年限の終期までとなります。

※家計急変事由発生日から12か月以内に申し込みが必要です。

※当制度は通常の日本学生支援機構貸与奨学金(第一種・第二種)と同一種別のため、すでに利用している種別の採用には申し込みできません。

(2) 家計急変採用(給付奨学金)

急変後の収入状況が地方税情報に反映される前に緊急に支援の必要がある場合には、急変後の所得の見込みにより要件を満たすことが確認できれば、家計急変採用(給付奨学金)の支援対象となります。採用後は「大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料等の減免」も併せて受けられます。

※家計急変事由発生日から3か月以内に申し込みが必要です。

※採用後3か月ごとに支援区分が見直されます。

都道府県等の奨学金・医療機関等の奨学金

全国から本学に届いた都道府県・市町村・その他団体の奨学金及び病院・施設等の奨学金の案内を、Active Academy Advance から閲覧することができます。また、5号館学生支援センターでは紙媒体の案内を閲覧することができます。奨学金によっては大学を通して申し込みをする場合がありますが、基本的には学生が直接問い合わせをして申し込みを行います。

9. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険制度

学生が教育研究活動中に不慮の事故によって身体に傷害を被った場合（学生教育研究災害傷害保険）や、他人にけがを負わせる・他人の財物を損壊した等、法律上の損害賠償責任を負った場合（学研災付帯賠償責任保険）に対する救済制度です。この制度は全国の大学に在学する学生の加入によって負担される保険料により運営されています。加入者のしおりは紛失しないよう4年間大切に保管してください。

身体に傷害を被った場合（学生教育研究災害傷害保険）

学生が教育研究活動中（下記①～④）に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害（けが）が対象となります。通学中や学校施設等相互間の移動中及び臨地・臨床実習中の接触感染に対する接触感染予防措置を受けた場合も補償の対象となります。ただし、病気はこの保険の対象にはなりません。

- ① 正課（実習を含む）中
- ② 学校行事に参加している間
- ③ ①②④以外で学校施設内にいる間
- ④ 課外活動中（インターンシップやボランティア活動、クラブ活動等）

※大学施設外で活動を行う場合、事前の届け出がないと保険の対象となりませんので注意してください。

法律上の損害賠償責任を負った場合（学研災付帯賠償責任保険）

学生が正課、学校行事、課外活動（下記①～③）またはその往復^{*}において、他人にけがを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害が対象となります。

- ①正課（実習を含む）中
- ②学校行事に参加している間
- ③課外活動中（インターンシップやボランティア活動等 ※クラブ活動を除く）

※自動車（自動二輪を含む）や原動機付自転車等を利用したことによる賠償は対象外となります。詳しくは加入者のしおりを確認してください。

事故が起こった場合

保険の対象となる事故が起きた場合、直ちに学生支援センターに申し出てください。

※事故発生時の状況によって保険対象となる条件が異なりますので、詳しくは加入者のしおりを確認してください。

10. 各施設の利用

1号館から5号館には福利厚生も含めた施設が多数あります。以下の①～⑥の利用者の義務を確認のうえ、マナーを守って利用してください。なお、施設・設備・備品等を破損、滅失したときは、当該損害を賠償しなければならない場合がありますので、速やかに事務室または学生支援センターに申し出てください。

利用者の義務

- ①施設・設備・備品等を大切に利用してください。
- ②火災には十分注意してください。
- ③許可された利用時間及び場所を厳守してください。
- ④許可された目的以外の利用はしないでください。
- ⑤利用の際は教職員の指示に従ってください。
- ⑥施設・設備・備品等の利用が終わった後は、整理整頓、清掃を必ず行ってください。

1号館 学生ホール

学生ホールは飲食や自己学習、学生間の交流など自由に利用することができます。また、同フロアにはファミリーマート群馬パー
ス大学店があります。

〈ファミリーマート 営業時間〉 8:00～18:00(月～金)

※学内の行事等による営業日時の変更は、店頭で確認してください。

4号館 ブックカフェ

4号館1階には一般の方も利用可能なカフェやブックストア等があります。ブックカフェは、自己学習や学生間の交流の場として自由に利用してください。

〈ウーノ・オットカフェ 営業時間〉 10:30～14:00(月～金)

〈紀伊國屋ブックセンター 営業時間〉 10:00～15:00(月～金)

※学内の行事等による営業日時の変更は、店頭で確認してください。

学生専用個人ロッカー

学内には学生専用の個人ロッカーがあります。以下の注意事項を守り各自指定されたロッカーを使用してください。ロッカーには鍵がありませんので、各自で用意し、盗難等防止の観点から必ず施錠してください。

〈注意事項〉

- ・危険物、臭気物、高価装飾品などの保管を禁止します。
- ・ロッカー内外は、ステッカー及びシールなどの貼付を禁止します。
- ・指定外のロッカーを使用したり、指定されたロッカーを他人に使用させることを禁止します。
- ・ロッカー上に置かれた物品は放置物として回収します。
- ・非常時は開錠することがあります。
- ・使用期間終了時(卒業・退学等)にはロッカーの明け渡し及び清掃をしてください。
- ・使用期間終了後(卒業・退学等)に荷物が残っている場合は、3ヶ月の保管期間後処分します。

附属図書館

附属図書館では、学習や研究の支援のため、図書約 60,000 冊・雑誌約 1,300 タイトル・視聴覚資料約 1,500 点を所蔵し、インターネットを通して利用できる電子ブックや電子ジャーナル、論文検索のデータベースなどの電子リソースも導入しています。授業の課題や論文の作成、また日頃の読書などに活用してください。図書館内では注意事項を守り、マナー良く利用してください。

1号館 図書館

1号館の図書館は、主に看護・リハビリテーション・臨床検査などの医療関連の資料で蔵書が構成されています。

場 所 1号館1階・2階

開館時間 9:00～21:00(月～金)、9:00～17:00(土)

休館日 日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始、館内整理期間

※学内の行事等により臨時休館・開館日時を変更する場合は、事前に図書館内掲示板、Active Academy Advance 及び図書館ホームページで周知します。

〈利用方法〉

(1) 入館

入館には学生証が必要です。入館ゲートで学生証をかざすとゲートが開きます。バッグ等手荷物の持ち込みは自由です。

(2) 閲覧

図書館内での資料の閲覧は自由です。利用後は必ず元の配架位置に戻してください。

(3) 貸出

以下の表の範囲内で館外貸出を受け付けます。借りたい資料と学生証を持参し、カウンターで手続きを行ってください。なお、学生証を他者に貸すことは認めていません。また、資料の又貸しは禁止です。

| | 貸出冊数 | 期間 |
|-----|------|-----|
| 図 書 | 5冊 | 14日 |
| 雑 誌 | 無制限 | 当日 |

(4) 返却

返却資料はカウンターに提出し、返却手続きを行ってください。閉館時は2階図書館入り口前に設置している返却ボックスが利用できます。なお、返却期限を守れず延滞した場合はペナルティが課されます。

(5) 資料複写

館内の資料は著作権法で認められた範囲内で複写が可能です。複写したい資料があるときは、「複写申込書」に必要事項を記入してから複写してください。複写に要する費用は自己負担です。

(6) 視聴覚資料の利用

視聴覚資料はカウンターで保管しています。利用の際は図書館員に申請してください。館内でのみ利用可能です。

(7) グループ学習室

館内には3つのグループ学習室があります。利用の際は事前予約が必要ですので、カウンターで申し込んでください。

〈注意事項〉

- ・館内では私語を慎み、他人の迷惑にならないようにしてください。
- ・館内での飲食、スマートフォン・携帯電話の通話は禁止です。また、スマートフォン・携帯電話やデジタルカメラ等での写真撮影も禁止です。
- ・荷物等での座席の占有は行わないでください。座席を離れる時は貴重品を必ず携帯してください。

4号館 図書室

4号館の図書室は主に放射線・臨床工学関連の資料で蔵書が構成されています。

場 所 4号館2階

開館時間 9:00～21:00(月～金)

休 館 日 土・日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始、室内整理期間

※学内の行事等により臨時休室・開室時間を変更する場合は、事前に Active Academy Advance 及び図書館ホームページで周知します。

〈利用方法〉

(1) 入館

入室時には入口に設置してあるバーコードリーダーに学生証をかざしてください。バッグ等手荷物の持ち込みは自由です。

(2) 閲覧

図書室内での資料の閲覧は自由です。利用後は必ず元の配架位置に戻してください。

(3) 貸出

以下の表の範囲内で室外貸出を受け付けます。借りたい資料と学生証を持参し、自動貸出機で貸出手続きを行ってください。

なお、資料の又貸しは禁止です。

| | 貸出冊数 | 期間 |
|-----|------|-----|
| 図 書 | 5冊 | 14日 |
| 雑 誌 | 無制限 | 当日 |

(4) 返却

返却資料は自動貸出機で手続きを行うか、2階に設置してある返却ボックスへ入れてください。なお、返却期限を守れず延滞した場合はペナルティが課されます。

〈注意事項〉

- ・室内では私語を慎み、他人の迷惑にならないようにしてください。
- ・室内での飲食、スマートフォン・携帯電話の通話は禁止です。また、スマートフォン・携帯電話やデジタルカメラ等での写真撮影も禁止です。
- ・荷物等での座席の占有は行わないでください。座席を離れる時は必ず貴重品を携行してください。

健康管理センター

5号館1階には健康管理センターがあり、本学における健康管理全般に関する業務を行っています。センター内には保健室がありますので、体調を崩した場合、けがをした場合などには保健室に来室してください。保健室職員から健康指導を受けることもできます。

5号館 保健室

場 所 5号館1階

開室時間 8:30～17:30(月～金)

休 室 日 土・日曜日、国民の祝日、長期休業期間、年末年始

※学内の行事等により臨時休室、開室時間を変更する場合があります。

1・4号館 静養室

体調不良やケガのため5号館の保健室まで赴くことが困難な場合は、1号館(1階)と4号館(2階)にある静養室で保健室職員の対応を受けることができます。静養室を利用したい場合は、1・4号館の事務室に申し出てください。

学生支援センター

5号館1階には学生支援センターがあり、学生のキャリア形成支援及び就職支援をするための「キャリア支援室」と、学生相談を行う「学生相談室」があります。また、各種奨学金や学生保険、障害学生支援等の対応窓口となっています。

5号館 キャリア支援室

キャリア支援室では、進路に関する相談、履歴書・小論文の書き方や添削、面接指導等を行っています。相談を希望する場合は、事前に予約をしてください。

場 所 5号館1階

利用形式 対面相談、電話相談、オンライン (Zoom)、メール相談

開室時間 10:00~13:00 14:00~18:00 (月~金)

休 室 日 土・日曜日、国民の祝日、大学休業期間 (GW、年末年始等)

予約方法 Active Academy Advance の「キャリア・学生相談予約」から、開室日時、予約状況を確認の上、予約してください。

<予約 (相談) 日の前日までにキャンセルを行う場合>

Active Academy Advance の「キャリア・学生相談予約」の「予約済一覧」より予約取消を行ってください。

<予約 (相談) 日にキャンセルを行う場合>

以下「問い合わせ先 (メディカルサフラン)」までご連絡ください。

問い合わせ メディカルサフラン

アドレス :info@medical-safran.com TEL:027-381-6002

就職コーナー

- ・1号館2階図書室内 (主に看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師に関わる情報)
- ・4号館2階図書室内 (主に診療放射線技師、臨床工学技士に関わる情報)

※就職コーナーにある求人票は Active Academy Advance の企業検索 (トップ画面) で閲覧できます。就職コーナーにある求人票の受付番号と Active Academy Advance (企業検索) の受付番号は同じです。

※ Active Academy Advance の Web フォルダ<学生支援センター (キャリア支援室)>で就職コーナーにある「就職活動報告書」の他、「インターンシップ・説明会の案内」「採用選考案内」等閲覧できます。

5号館 学生相談室

学生相談室では、みなさんが豊かで充実した学生生活を送るために、カウンセラーが様々な相談に無料で応じています。学業のこと、将来のこと、性格のこと、異性のこと、対人関係、メンタルヘルスなど、相談はどのようなことでも構いません。相談内容の秘密は守られますので、安心して来室してください。

場 所 5号館1階

相談方法 対面相談、電話相談

開室時間 曜日によって異なります。Active Academy Advance の「キャリア・学生相談予約」及び学内掲示等で確認してください。

予約方法 (1) Active Academy Advance から予約

Active Academy Advance の「キャリア・学生相談予約」から、開室日時、予約状況を確認の上、予約してください。

2回目以降の予約について

2回目以降の相談を希望する場合、相談終了時に担当カウンセラーと日時を調整し、Active Academy Advance より予約手続きをしてください。

(2) 直接来室

開室日時に相談室へ直接来室してください。ただし、他の学生が相談中の場合はすぐに対応はできませんので、あらかじめ予約を入れておくことをお勧めします。

※その他質問等がある場合は、学生相談室代表アドレス gakuso@paz.ac.jp にメールをしてください。

心の健康に関する主な学外相談機関

| 名 称 | 電話番号 | 備 考 |
|---------------------------|--------------|---|
| 群馬県こころの健康センター（群馬県） | 027-263-1156 | 9:00~17:00 【月～金（年末年始・祝祭日を除く）】 |
| こころの健康相談統一ダイヤル（群馬県） | 0570-064-556 | 9:00~22:00 【月～金（年末年始・祝祭日を除く）】 |
| 群馬いのちの電話（群馬いのちの電話事務局） | 027-212-0783 | 9:00~24:00 【毎日】 9:00~ 翌日 9:00 【第2・第4金】 |
| いのちの電話（日本のいのちの電話連盟） | 0120-783-556 | 16:00~21:00 【毎日】 毎月10日 8:00~ 翌日 8:00 ※通話料無料 |
| | 0570-783-556 | 10:00~22:00 |
| よりそいホットライン（社会的包摂サポートセンター） | 0120-279-338 | 24時間対応※通話料無料 |

※詳細は、各団体のHP等で確認してください。

障害学生支援

群馬パース大学は、障害を理由とする不当な差別的取り扱いを排除し、障害のあるすべての学生（本学で修学を希望する者を含む）の教育を受ける権利を尊重し、修学に関わる支援を必要とする皆さんへの配慮を、全学の取り組みとして進めています。障害等による修学上の支援を受けるためには、以下窓口へ直接お越しいただくか、電話・メールにて事前にご相談ください。

相談窓口 5号館1階 学生支援センター

電話番号 027-388-0421

受付時間 8:30~13:00 14:00~18:00（月～金）

メールアドレス paz-gakusei@paz.ac.jp

※修学支援までの流れやバリアフリーの状況等については、「群馬パース大学HP 一学修支援」をご確認ください。

体育棟（3号館）

体育棟には、アリーナ、ホール、多目的スペースがあり、部活動やサークル活動等で利用が可能です。スポーツを通じて皆さんの課外活動を充実させてください。

利用時間 [平常時] 8:30～21:30（月～土） } 開錠 8:00、施錠 22:00
[長期休業中] 8:30～21:30（月～土） }

閉館日 日曜日、国民の祝日、学事及び行事等において支障のある日等

※申請により閉館日でも利用が可能となる場合があります。

アリーナは、公認部活動、サークル活動等の課外活動で利用することができます（個人利用は原則できません）。アリーナの利用を希望する場合は、以下の手続きをとってください。なお、各階のホール、多目的スペースは個人利用が可能です。

〈利用手続き〉

(1) サークル活動等課外活動として長期的に利用する場合

指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、長期の利用申請を行ってください。

他のサークル等と調整を行った後、長期利用を許可します。

(2) サークル活動等課外活動として都度利用する場合

利用する3日前（土・日・祝日を除く）までに「施設・備品利用願」（様式第4-5号）を学生支援センターに提出し、利用許可を受けてください。

体育棟2階ホールの休憩スペース

体育棟2階ホールの休憩スペースは、学生ホールと同様に昼食をとったり、学生間の交流や学習等、自由に利用することができます。ただし、休憩スペース以外での飲食は禁止です（アリーナは水分補給のみ可）。

〈注意事項〉

- ・入館の際は学生証を自動ドアのカードリーダーにかざしてください。
- ・体育棟入口の自動ドアは定刻になると自動で施錠されますので、時間内に必ず退館してください。
- ・館内は下足での利用を禁止します。
- ・更衣室内のロッカーは当日のみ利用可能です。日をまたいで利用した場合は、ロッカー内の荷物を回収します。
- ・体育棟の駐車場は来客者及び教職員用のため、学生は駐車できません。
- ・アリーナ内は水分補給以外の飲食を禁止します。
- ・アリーナ内の用具庫にサークルや個人の荷物を置くことは原則できませんが、アリーナ内で活動するサークルは、事情により一部サークル備品（ボールなど）を置くことができます。
- ・体育棟の施設設備・備品等を破損・汚損または紛失したときは、速やかに学生支援センターに申し出てください。
- ・使用後は責任をもって清掃及び整理整頓を行ってください。
- ・大学の行事等で体育棟が使用できなくなる場合は事前に周知します。

学友会館

学園祭やスポーツ大会等の行事に関することや、ボランティアの協力に関する準備など、学友会の自治活動の拠点となるのが学友会館です。学友会館では室内で行うサークル活動等も利用可能ですので、学友会活動や課外活動を通じて皆さんの学生生活を充実させる場としてください。

利用時間 [平常時] 8:30～21:30(月～土) } 開錠 8:00、施錠 22:00
[長期休業中] 8:30～21:30(月～土)

閉館日 日曜日、国民の祝日、学事及び行事等において支障のある日等

※学友会執行部、及び学友会館を恒久的に利用するサークル等の役員の学生証で、上記開錠～施錠時間内に入館することができます。入館の際は学生証を入口ドアのカードリーダーにかざしてください。

学友会館は、公認部活動、サークル活動等の課外活動で利用することができます（個人利用は原則できません）。学友会館の利用を希望する場合は、以下の手続きをとってください。

〈利用手続き〉

(1) サークル活動等課外活動として長期的に利用する場合

指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、長期の利用申請を行ってください。

他のサークル等と調整を行った後、長期利用を許可します。

(2) サークル活動等課外活動として都度利用する場合

利用する3日前（土・日・祝日を除く）までに「施設・備品利用願」（様式第4-5号）を学生支援センターに提出し、利用許可を受けてください。

〈注意事項〉

- ・利用時間内に必ず退館してください。
- ・学友会館にある駐車場は来客者及び教職員用のため、学生は駐車できません。
- ・館内の飲食は禁止します（水分補給可）。
- ・館内に個人の荷物を放置しないでください。
- ・学友会館の施設設備・備品等を破損・汚損または紛失したときは、速やかに学生支援センターに申し出てください。
- ・使用後は責任をもって清掃及び整理整頓を行ってください。
- ・大学の行事等で学友会館が使用できなくなる場合は事前に周知します。

11. 通学

自動車・バイク乗り入れの禁止

本学には学生専用駐車場がありません。自動車・バイク（原動機付自転車を含む）の乗り入れを禁止します。

迷惑駐車禁止

本学は高崎市の中心部にあり、人や車の通りが盛んです。大学周辺の一般道、付近のアパート、大型店等の駐車場、公園周辺等に無断駐車をすることは、地域で生活している方々に多大な迷惑をかけるばかりではなく、緊急時の通行等の障害にもなります。学生一人ひとりがモラルとマナーを守り、地域で生活している方々と共存していきましょう。なお、迷惑駐車をした学生に対しては警告などを行い、改善されない場合や悪質な場合は「処置・処分」の対応を取り、警察に通報します。

学内自転車駐輪場の利用

本学の学生は大学敷地内の駐輪場を利用することができます。入学時全員に配付した「学内駐輪場利用ステッカー」を通学で使用する自転車の目立つところ（後輪の泥除け等）に貼ってください。なお、在学中に自転車を変えた際や、複数台の自転車の登録が必要な場合は、「学内駐輪場利用ステッカー交付願」を証明書自動発行機で発行し、事務室に申請してください。

〈注意事項〉

- ・指定された駐輪場以外の駐輪は禁止です。
- ・学内駐輪場は通学目的でのみ利用できます。実家への帰省や学外実習中などの長期駐輪は禁止です。
- ・長期の無断駐輪をしている所有者不明の自転車は処分します。
- ・バイク（原動機付自転車を含む）の駐輪も禁止です。

自転車保険の加入義務化について

2021年4月1日より、群馬県交通安全条例の一部改正により、自転車保険の加入が義務化・自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。自転車で通学する場合は、必ず自転車保険に各自で加入してください。また、ヘルメットの着用に努めてください。

自転車運転中の罰則等について

2024年11月1日の道路交通法改正により、自転車運転中の罰則が強化されました。また、2026年4月1日より自転車の交通反則通告制度（青切符）の導入に伴い、歩行者や他の車両にとって、危険性・迷惑性が高い悪質・危険な違反であったときは検挙の対象となります。罰則が科せられた場合、懲戒処分の対象となる場合もありますので、注意してください。

〈道路交通法改正に伴う罰則例〉

- ・携帯電話使用等
- ・酒気帯び運転

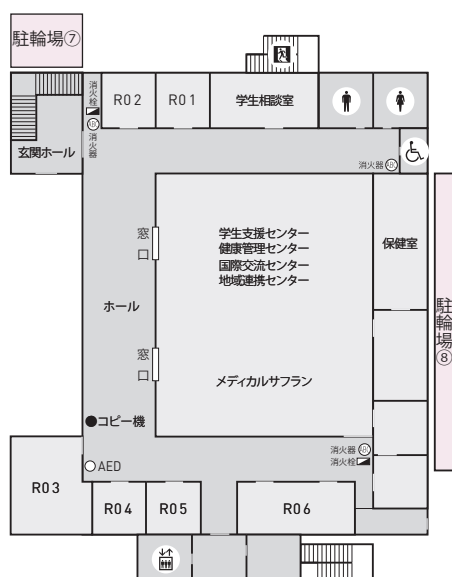
〈交通反則通告制度（青切符）導入に伴う違反例〉

- ・信号無視
- ・一時不停止
- ・右側通行
- ・遮断踏切立入り
- ・制動装置（ブレーキ）不良

駐輪場の位置は下図のとおりです。



5号館



駐輪場⑦
5号館利用者（一時的な駐輪のみ可とします）

駐輪場⑧
学生専用マンション入居者

12. ノート PC の利用・インターネットの利用

ノート PC 利用の目的

医療現場では情報収集能力が必要であり、臨床・研究において PC は必需品となっています。そのため、本学でも積極的に PC を利用し、最新の保健医療、その他の情報を常に取得できる環境作りに取り組んでいます。

ノート PC の準備

入学後は講義、実習やゼミなどの授業時間内だけではなく、講義資料の取得やレポートの作成・印刷等、様々な場面で PC の利用が必須となります。各自で「Excel・Word・PowerPoint」及び「PDF ファイルの閲覧」が可能なノート PC を準備してください。また、コンセントを使用できる授業は限られますので、PC の充電は自宅で済ませてください。

Microsoft Office (Excel、Word、PowerPoint 等) の利用

全学生に Microsoft365 アカウントが付与されますので、在学中は Office (Excel、Word、PowerPoint 等) の利用が可能となります。デバイスへのインストール方法等の詳細については、新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。

学内無線 LAN

ノート PC を利用した講義資料の取得やレポートの作成・印刷等には、インターネット環境が不可欠です。本学は学生が利用できる学内無線 LAN を設置しており、無料でインターネットに接続することができます。

【利用可能な学内無線 LAN について】

(1) 学内無線 LAN のアクセスポイント

「pazNstd」のアクセスポイント (SSID : Service Set Identifier) が利用可能です。

(2) 学内無線 LAN の接続

個人の PC で学内無線 LAN を利用する場合、学内無線 LAN 接続用の ID とパスワードが必要になります。接続に必要なパスワードは新入生ガイダンス時にお知らせします。原則、1人1台での利用をお願いしています。接続の詳細については新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。

〈ウイルス対策〉

Web の閲覧や Eメールの利用により、ウイルス感染の被害を受ける場合があります。ウイルスは学内全体に感染する恐れもあるので、自分の PC のウイルス対策はしっかり行いましょう。また、大学ではウイルス感染の被害による損害の補償はできませんのでご注意ください。

〈ソーシャルメディア〉

LINE や X(旧: Twitter)、Facebook、Instagram など、利用者が情報を発信することにより形成されるソーシャルメディアの普及が進み、情報伝達手段の一つとして広く活用されています。ソーシャルメディアを利用することにより、一人ひとりが社会に向けて容易に情報を発信し、数多くの情報を入手できる一方で、注意を怠ると個人情報の漏洩、名誉棄損、プライバシーの侵害、守秘義務違反などの犯罪行為になることもあります。軽率な行為で自身の将来を損なう可能性があることはもちろん、家族や友人にも迷惑をかけることを十分に認識し、節度ある利用を心がけてください。

13. 学内プリンターの利用

学生サービスの一環として、印刷したいデータをインターネットで送信して印刷することができるプリンターを学内に設置しています。各年度で無料印刷枚数の上限が設定されていますので、計画的に利用してください。

(1) 設置場所

| | |
|---------------|----------------------|
| 1号館 | 4階、7階エレベーターホール(各2台) |
| 1号館 ANNEX(別館) | 2階(1台)、3階(2台) |
| 2号館 | 3階廊下(2台) |
| 4号館 | 6階、10階エレベーターホール(各2台) |

(2) 印刷ポイントについて

- ・学内プリンターを利用するために、印刷ポイントが年度ごとに付与されます。学生1人に付与されるポイントは1年ごとに700ポイント(年度繰り越し不可)です。なお、学生支援後援会より100ポイント(年度繰り越し可)が贈呈されますので、年度始めに毎年800ポイントが付与されます。
- ・印刷に必要なポイントは A4 白黒(片面)1ポイント、A4 白黒(両面)1.5ポイント、A4 カラー(片面)5ポイント、A4 カラー(両面)7ポイントです。
- ・付与された800ポイントを超過して印刷したい場合は証明書自動発行機から、20ポイント100円、100ポイント300円でポイントを追加購入できます。

(3) その他

- ・送信した印刷データを印刷する際は、学生証が必要です。
- ・用紙は A4 サイズのみです。
- ・追加購入したポイントは年度繰り越しができます。ただし、卒業や退学などで利用資格を喪失した場合の払い戻しはできませんので注意してください。
- ・学内プリンター利用方法等の詳細については、新入生ガイダンスや Active Academy Advance でお知らせします。
- ・学内プリンター利用上のトラブル等については、窓口取扱時間内にお問い合わせください。

14. 課外活動

有意義な学生生活を送るために、課外活動の果たす役割は大きなものがあります。課外活動を通じて豊かな人間性を身につけ、友人との交流を深めることにより、さらに充実した学生生活を送ってください。

学友会

学生の自治活動を通じて相互の親睦、学術文化の向上、体育活動の増進を図り、建学の精神である個性の重視と互助の精神、そして熱意ある人間形成を目的として、学生全員参加による学友会を組織しています。学友会は全学生から学友会執行部を選任し、学園祭その他の学生課外活動（新入生歓迎会、スポーツ大会等）、サークル活動等の中心的役割を果たします。また、学友会費の予算配分や執行は、学生委員会の助言のもと学友会執行部が行います。

学外活動・集会

学外活動（試合、合宿、ボランティア活動など）を行う場合には「**学外活動許可願**」（様式第 4-3 号）を、活動する 3 日前（土・日・祝日を除く）までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。施設・備品を利用する場合は「**施設・備品利用願**」（様式第 4-5 号）に日時・場所及び内容を明記して、利用する 3 日前（土・日・祝日を除く）までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。

学生団体活動に伴う学外者の大学構内立入り

学生団体活動において外部コーチや外部講師の大学構内への招聘や、試合・練習等で他大学（他団体）の相手が構内に立入る場合は、「**学外者入構許可願**」（様式第 4-6 号）を活動する 3 日前（土・日・祝日を除く）までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。

ボランティア活動

ボランティア活動では、社会貢献や学修だけでは得られない貴重な経験を積むことができます。自主性や主体性を育むだけでなく、人と人とのつながりを深める一機会にもなります。本学には定期的に様々なボランティア情報が寄せられています。積極的にボランティア活動に参加しましょう。

ーボランティア情報の閲覧方法ー

Active Academy Advance (Web フォルダ) ー学生課 (ボランティア)

掲示及び印刷物の配布

学内でポスター等を掲示する場合、「**掲示(配布)願**」（様式第 4-4 号）に掲示物のコピーを添付の上、掲示を希望する 3 日前（土・日・祝日を除く）までに学生支援センターへ提出して許可を得てください。掲示物に承認印を受けた後、指定された場所に掲示することができます。印刷物の配布・立看板への掲示、その他の掲示についても同様です。

公認部活動

公認部活動は、体育会・文化会の活動を通じて学生の自立心や相互啓発を高め、人間形成を促進することにより学生生活を充実させるとともに、本学の伝統を築き帰属意識を高めることを目的とします。

(1) 公認部の設立条件

公認部を設立するためには以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・全国規模の大会（リーグ戦や発表会等）があり、その大会を運営する大学連盟等に所属している
- ・構成人員は複数学科、学年で 10 人以上とする
- ・大学行事及び授業等において、教職員の活動に積極的に協力する
- ・部員は他の学生の模範となるよう、規則正しい学生生活及び社会生活を営むこと
- ・専任教職員の顧問を 1 名おく

(2) 公認部の承認

公認部を設立するためには (1) の条件を満たした上で、「学生団体設立許可願」(様式第 4-1 号) に以下の書類一式を添付した上で、学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について大学運営会議で審議され、学長の承認を得ることで公認部として認められます。なお、次年度も引き続き活動を行う場合は、指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、更新手続きをしなければなりません。

- ① 「活動計画書」(所定様式)
- ② 「構成員名簿(代表者 1 名、副代表者 2 名、主務 1 名、会計 1 名を含めた全構成員の名簿)」(所定様式)
- ③ 「大学連盟等加盟認可申請書及び加盟金、年会費、分担金、大会参加費等の金額がわかる書類」
- ④ 「部規約」(任意様式)

※部規約には次のことが含まれなければなりません。

部員負担金 (例: 月額 1,000 円等)

(3) 活動報告

毎年指定の期日までに該当年度の「活動実績報告書」(所定様式) を学生支援センターに提出しなければなりません。

サークル活動

サークル活動は、学生会執行部管理のもと学生が主体的に行う活動であり、個人の才能や趣味に合わせて自由に選択できます。サークル活動は、体育会・文化会の活動を通じて学生の自立心や相互啓発を高め、人間形成を促進することにより学生生活を充実させることを目的としています。そのため、健全で知性、教養、健康等の心身の向上を図る活動でなければなりません。同じ趣味や活動を通して、一生の友を得ることができるのもサークルならではのといえるでしょう。

(1) サークルの設立条件

サークルの設立には以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・活動目的が明確である
- ・構成人員は複数学科・学年で 10 人以上とする
- ・専任教職員の顧問を 1 名おく

(2) サークルの承認

サークルを設立するためには (1) の条件を満たした上で、「学生団体設立許可願」(様式第 4-1 号) に以下の書類一式を添付の上、学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について教授会で審議され、学長の承認を得ることでサークルとして承認されます。なお、次年度も引き続き活動を行う場合は、指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、更新手続きをしなければなりません。

- ① 「活動計画書兼支援費申請書」(所定様式)
- ② 「構成員名簿(代表者 1 名、副代表者 2 名、会計 1 名を含めた全構成員の名簿)」(所定様式)
- ③ 「サークル規約」(所定様式) ※継続手続き時は、変更がある場合のみ

任意団体

予算的措置はありませんが、本学では任意団体を設立することが認められています。任意団体は、活動を通じて共通の目的や趣味を持つ者同士交流することにより、幅広い人間関係を築き、学生生活を充実させることを目的としています。

(1) 任意団体の設立条件

任意団体の設立には以下の条件を満たす必要があります。

- ・活動目的が明確である
- ・構成人数は 2 人以上とする

- ・専任教職員の顧問を1名おく

(2) 任意団体の承認

任意団体を設立するためには(1)の条件を満たした上で、「学生団体設立許可願」(様式第4-1号)と構成員名簿(所定様式)を学生支援センターに提出しなければなりません。提出された書類について教授会で審議され、学長の承認を得ることで任意団体として承認されます。なお、次年度も引き続き活動を行う場合は、指定の期日までに必要書類を学生支援センターに提出し、更新手続きをしなければなりません。

(3) 任意団体設立時の注意点

- ・体育会には任意団体の位置づけはありません。
- ・学友会費等の予算の充当はありません。
- ・学内外で活動を行う際は、顧問の認可・監督のもとで行わなければなりません。
- ・サークル倉庫の使用は認められません。
- ・任意団体からのサークル昇格はありません。

(4) 任意団体に認められていること

- ・大学名の使用
- ・課外活動時の事故証明(学研災)
- ・学内の施設・備品の利用(その都度申請)
- ・学園祭等のイベントへの参加

15. 防災・災害対策

災害発生時

火災

大学構内で火災が発生すると自動火災報知器が鳴り、事務室に通報されます。非常放送で火災発生場所、状況、避難の指示があるので、教職員の指示に従ってください。避難経路等は状況に応じて対応してください。建物から避難した後は避難場所に集合し、点呼をとり教職員に報告してください。

* 火災発見時の対応について

- ①初期消火をしてください。1人で処置できない時は、速やかに他の協力を得てください。
- ②火災報知器を押してください。
- ③教職員に知らせてください。
- ④できるだけ多くの人に声をかけて避難してください。

地震

大規模地震警戒宣言が発令された場合は休講となりますので、自宅にいる学生はそのまま待機して大学からの連絡を待ってください。通学途中の学生は通学を中止し、安全な場所に避難した後、所在及び安否を大学に連絡してください。

防災訓練

災害や事故から自分の身を守るには、体力や気力はもちろんのこと、注意力や知恵と勇気も必要です。日頃から災害に対する意識を高め、地域や大学での訓練に参加し、「非常時」に備える事が大切です。本学では防災教育として避難訓練や消火訓練を毎年実施しています。

16. ハラスメントの防止

本学は、個人の尊厳を尊重し、人権が尊重され、かつ快適な環境の下で就労、修学、教育・研究する機会と権利を保障するため、ハラスメントの防止及び啓発を図り、あわせてハラスメントが生じた場合の対応や適切な措置等において必要な事項を定め、相談窓口を置いています。相談窓口については、掲示板で確認してください。

17. 注意事項等

宗教団体などの悪質な勧誘行為に注意

駅周辺などが集まる場所や、SNS 等で勧誘活動を行っていることがあります。特にカルト団体は一度関係をもつとマインドコントロールされ、脱会が難しくなります。仮に何回かセミナー等に参加してしまい団体と関係ができてしまっても、違和感を抱いたら即座に関係を断ち切りましょう。直接会わずに電話で断っても大丈夫です。悪質な勧誘行為の被害に遭わないために次の 5 点を注意してください。

- ・ 宗教団体と名乗って勧誘しているとは限らない（勉強会や自己啓発など）。
- ・ 自分の名前や連絡先を教えない。
- ・ 別の場所（事務所や車等）には簡単について行かない。
- ・ 怪しい場合は免許証等で身分を確かめる（名刺は信用できない）。
- ・ 周囲の他人には惑わされない（サクラの可能性あり）。

悪徳商法・詐欺に注意

悪徳商法の口はますます巧妙になり、優しい口調で高度なテクニックを駆使し、人をだますような素振りを見せません。しかし、契約が成立すると解約に応じてくれないばかりか、話すら聞いてくれません。この手の業者はローン会社と提携している場合が多く、高額な商品に手を出してしまいがちで支払い不能に陥る場合も少なくありません。学生生活に支障をきたす可能性が大いにあるため、十分に注意してください。

(1) 悪徳商法・詐欺の被害に遭わないために

・ キャッチセールス

（街角で声をかけ、エステ、化粧品、健康食品、絵画などの高額商品を売りつける）

誘い文句：「無料体験」といって誘うことが多い。

対処方法：曖昧な返事はせず「いりません」とはっきり断る。

・ アポイントメントセールス

（アクセサリ、英会話教材などの高額商品を訪問したり呼び出して売りつける）

誘い文句：「当選しました」「以前の契約を解除します」

対処方法：怪しい誘いの電話は、はっきり断ってすぐに切る。呼び出されても行かない。

・ マルチ商法

（健康食品、化粧品、投資 DVD などを売りつけられ、さらに人に売りつけさせられる）

誘い文句：「簡単に稼げる」「いい仕事がある」と知人や SNS で誘われる。

対処方法：うまい話、甘い話は信じない。身近な人の勧誘でもはっきり断る。

・ 架空請求

（書面やメールにより、心当たりのない請求、支払いを求められる）

誘い文句：「支払い期限が過ぎています」「連絡がなければ法的措置をとります」

対処方法：請求元には絶対に連絡せず一切無視。ただし、裁判所から送られてきた文書には対応。

(2) クーリング・オフ

訪問販売等による契約などで、契約日を含め8日間(マルチ商法は20日間)以内であれば無条件で解約できる制度です(キャッチセールスやアポイントメント商法なども適用)。クーリング・オフの期間が過ぎてしまった場合でも解約できる場合がありますので、早めに消費生活センターに相談してください。

・高崎市消費生活センター 平日9:00~16:30 TEL:027-327-5155

学生ローン・クレジット・キャッシング

学生ローンは学生証だけで融資が受けられることから、安易な気持ちで利用してしまい、結果として金利が高いため元利返済に追われ、平穩な学生生活が送れなくなる恐れがあります。どうしてもお金が必要な場合は、先ず保証人の方に相談しましょう。また、商品をカード1枚で購入できる手軽さから、クレジットを利用する学生がいます。便利といえども必ず後日支払いがあります。使いすぎてカード破産に追い込まれないよう注意が必要です。クレジットカードのキャッシングは、その金利が大手消費者金融並みに高いため、クレジットなどの返済ができなくなった場合、返済のためにキャッシングすることは絶対に避けてください。多重債務の多くはそれが原因です。クレジットを利用する際の注意点は以下のとおりです。

- ・本当に必要なものか、もう一度考える。
- ・ゆとりをもった利用返済額を決める。
- ・支払期日に支払額が銀行口座にあるか確認する。
- ・カードの保管は自分で行き、他人に貸さない、預けない。

防犯

大学の周辺に限らず、不審者の出没や空き巣狙いの報告が多々あります。一人暮らしをしている学生は戸締まりを十分注意するとともに、特に女子学生は、夜間の一人歩きや日中でも人通りの少ない道での一人歩きは避けるなど、各自が防犯意識を持つよう心がけてください。

(1) 通学時の注意

- ・危険な場所を避けて、人通りの多い道・人家のある道・街灯のある明るい道など、安全な道を選ぶ。
- ・日頃から周囲を注視して、何か変わったことはないか「いつもと違う状態」を察知する。
- ・帰宅が遅くなった場合は、家族に迎えに来てもらうか、タクシーを利用する。
- ・どうしても危険な道を歩かなくてはならない場合は、隙を見せずいつもより周囲に気を配るなど注意力を高め、複数で歩いたり防犯ブザーを携帯したりするなどの対策をする。
- ・イヤホンを装着し、スマートフォンを操作しながら夜道を歩くのは大変危険です。不審者はそのような隙を狙っています。

(2) 一人暮らしの注意

- ・自宅に入るときは周囲を確認してから鍵を開け、家に入ったらずぐに鍵とチェーンロックをかける。
- ・ゴミ出しなどわずかな時間でも必ず鍵をかける。
- ・チャイムが鳴ってもすぐにドアを開けず、ドアスコープで相手を確認する。
- ・見知らぬ人に対応する場合は、チェーンをかけたままドア越しに行く。
- ・女性が一人暮らしをしていることを察知されないよう工夫する。

コミュニティサイト等に注意

インターネットは匿名性があり、悪意をもった人も利用している可能性があります。コミュニティサイト等を利用して、知り合った相手からのストーカー行為や脅迫、性犯罪などの凶悪事件に巻き込まれるおそれがあります。自分には関係ない、自分だけは大丈夫と安易な判断をせず、十分に注意してください。

コミュニティサイト等で被害に遭わないために

- ・自分の写真を掲載しない、送らない。
- ・電話番号・メールアドレス・住所・氏名などの個人情報は教えない、書き込まない。
- ・ネットで知り合った人と気軽に会わない。
- ・コンサートチケットなどの売買の約束はしない。
- ・出会いの目的でネットを利用しない。
- ・無料通話アプリの ID を交換しない。

アルバイト

アルバイトをする場合は、学業に支障をきたさないよう配慮してください。学業が第一優先です。また、求人条件と仕事の内容を理解し、自己の能力に応じたものを選ぶようにしてください。近年「ブラックバイト」や「闇バイト」が社会問題になっています。被害に遭い自分で解決できない場合は、警察等に相談してください。

(1) ブラックバイト

- ・長時間労働や深夜の勤務を強いられ、学業が疎かになる。
- ・学業を考慮してもらえず勝手にシフトを組まれる。
- ・厳しいノルマを課せられる、商品の自費買取りを強要される。
- ・時給や勤務条件が契約内容と違う。
- ・アルバイト先でパワハラ・セクハラが行われている。
- ・勉強や実習に集中したいのに辞めさせてくれない。

(2) 闇バイト

SNS やインターネットの掲示板に仕事内容を明らかにせず、「高額」「即日即金」「ホワイト案件」等の「楽で、簡単、高収入」であることを強調する求人情報には注意してください。闇バイトは、強盗や詐欺といった犯罪に加担し、取り返しのつかない過ちにつながります。加担してしまった場合は、勇気を持って抜け出し、すぐに警察に相談してください。

国民年金保険料納付（20 才以上）の猶予

申請により国民年金の保険料を納めることが猶予される「学生納付特例制度」があります。学生はほとんどの場合所得がありませんので、国民年金の保険料を本人が納めることが困難です。したがって、社会人になるまで保険料を納めることが猶予されます。対象となるのは大学に在学する 20 歳以上の学生で、日本年金機構が定める各年度の所得基準未満の方です。申請手続等は、住民登録をしている市区町村役場の国民年金担当窓口かお近くの年金事務所へ問い合わせてください。

履修の手引き

III

1. 履修
2. 開設授業科目
3. 履修登録
4. 授業
5. 試験
6. 単位認定
7. 成績通知
8. 進級
9. 卒業
10. 学位
11. 資格
12. 臨地・臨床実習科目
13. 留年者の履修

III 履修の手引き

1. 履修

大学が定めるルールに従って授業科目を学習し、卒業要件を満たすことを履修といいます。履修登録をせずに授業に出席しても履修したことにはなりません。また、履修登録をしても授業に出席しなかったり、試験に不合格になったりすれば、履修したとは認められません。

2. 開設授業科目

本学が開設している授業科目は、学則別表第2のとおりです。4年間でこれらの中から必要な科目を履修することになります。

授業科目の分類

(1) 履修方法による分類

必修科目……進級及び卒業のために必ず履修しなければならない科目

選択科目……卒業要件を満たすように、一定の科目群の中から自由にいくつかを選択して履修する必要がある科目

(2) 授業実施時期による分類

通年開講科目……前期・後期の1年間を通して授業が行われる科目

前期・後期開講科目……前期または後期にのみ授業が行われる科目

集中講義科目……一定の時期に集中して授業が行われる科目（実施時期は別途連絡）

ナンバリング

本学ではナンバリングを導入・実施しています。ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。

各授業科目の番号は、教育課程やシラバスに記載しています。ナンバリングの趣旨を十分に理解した上で、履修計画を立ててください。

ナンバリングの構造 **A B c - 1 23**
① ② ③ ④ ⑤

① 学部学科コード

N: 看護学部看護学科

P: リハビリテーション学部理学療法学科

O: リハビリテーション学部作業療法学科

S: リハビリテーション学部言語聴覚学科

M: 医療技術学部検査技術学科

R: 医療技術学部放射線学科

C: 医療技術学部臨床工学科

② 科目群コード

B: 教養科目群

C: 共通基盤科目群

F: 専門基礎科目群

S: 専門科目群

③ 区分コード

次ページ以降の各教育課程表参照

④ 水準コード (配当年次)

入門・導入レベル : 1 (学年)

基礎レベル : 2 (学年)

応用・発展レベル : 3 (学年)

学士課程卒業レベル : 4 (学年)

⑤ 識別コード

水準コードに対応した識別番号 (通し番号)

看護学部 看護学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は、看護の対象とそれを取り巻く環境を多面的に理解するための科目群です。

目標：

- ・人間の身体と心の仕組みについての理解を深める。
- ・健康に関わる環境について様々な角度から洞察する力を養う。
- ・人の健康を支援する様々な活動について理解を深める。

専門科目群

専門科目群は、科学的根拠に基づく看護を実践する能力を育成し、看護職としての倫理観や探究心を涵養するための科目群です。

目標：

- ・看護学の基本となる、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得する。
- ・看護師・助産師・保健師として望ましい態度や実践力、判断力を養う。
- ・対象を尊重し、信頼に基づく援助関係を構築する能力を養う。
- ・看護学における課題を見出し、科学的に探究する姿勢を養う。

看護学部 看護学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | | |
|----------|-------------|-------------------|-----------------------|---------|-------|-------|-------------------|-------------------|----|------|----|------|----|------|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | NBa-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+ 選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 教育学 | NBa-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | NBa-103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | NBa-104 | 2 | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | NBa-105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | NBb-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+ 選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | NBb-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 芸術 | NBb-103 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 哲学 | NBb-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | 人和社会及び自然の理解 | 人間の生活及び社会の理解 | 法学（日本国憲法含む） | NBc-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修4単位+ 選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | | 社会学 | NBc-201 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生活文化と医療 | NBc-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 多文化理解 | NBc-103 | 2 | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| | | 経済学 | NBc-104 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | NBc-105 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | NBd-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | NBd-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 生物学 | NBd-103 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎数学 | NBd-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 数学 | NBd-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎化学 | NBd-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 化学 | NBd-107 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎物理学 | NBd-108 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 物理学 | NBd-109 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学 | NBd-110 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎統計学 | NBd-111 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | NBe-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修2単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | | 医療英語リーディング | NBe-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 英語会話 | NBe-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 医療英語会話 | NBe-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | NBe-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 国際コミュニケーション英語 | NBe-401 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | | 15 | | |
| | | 初修外国語 | 中国語 | NBf-101 | 1 | 講義 | 15 | 選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| 韓国語 | | | NBf-102 | 1 | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| ドイツ語 | | | NBf-103 | 1 | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| ポルトガル語 | | | NBf-104 | 1 | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| データサイエンス | | メディア・リテラシー | NBg-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | AI・データサイエンス・リテラシー | NBg-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | AI・ロボットと社会 | NBg-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | AI・プログラミング入門 | NBg-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| 共通基盤科目群 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | NCh-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修3単位 | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | アカデミック・スキルズ | NCh-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | NCh-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 25 | | | | | | | | | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | | |
|---------|---------------------------|--------------|---------|----|-------|-------|----------------|----------------|-----|------|----|------|----|------|----|-----|-----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目群 | 疾病の成り立ちと回復の促進 人体の構造と機能 | 解剖学Ⅰ | NFi-101 | 1 | 講義 | 15 | 必修15単位＋選択1単位以上 | 必修19単位＋選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 解剖学Ⅱ | NFi-102 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 臨床解剖学 | NFi-401 | | 1 | 講義 | | | 7.5 | | | | | | | | 7.5 |
| | | 生理学Ⅰ | NFi-103 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生理学Ⅱ | NFi-104 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 臨床生理学 | NFi-402 | | 1 | 講義 | | | 7.5 | | | | | | | | 7.5 |
| | | 生化学 | NFi-105 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 病理学 | NFi-106 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 薬理学 | NFi-107 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 臨床薬理学 | NFi-403 | | 1 | 講義 | | | 7.5 | | | | 15 | | | | |
| | | 病態栄養学 | NFi-201 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床病態学Ⅰ | NFi-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床病態学Ⅱ | NFi-203 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床病態学Ⅲ | NFi-204 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | | |
| | 臨床病態学Ⅳ | NFi-205 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | | |
| | 免疫・感染症学 | NFi-206 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| | 臨床検査学 | NFi-207 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| | 発達心理学 | NFi-108 | 1 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | 臨床心理学 | NFi-208 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | 健康支援と 社会保障制度 | 公衆衛生学 | NFj-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修4単位＋選択2単位以上 | | 15 | | | | | | | | |
| | | 疫学 | NFj-201 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 保健統計 | NFj-202 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | | 社会福祉・社会保障制度論 | NFj-203 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | | リハビリテーション概論 | NFj-204 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | カウンセリング | NFj-205 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | | 地域保健行政 | NFj-301 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | | |
| | | 緩和医療学 | NFj-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 | |
| | 計（卒業要件） | | | | | | | 22 | | | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

人と社会及び自然の理解

- a：心身の発達
- b：思想及び表現
- c：人間の生活及び社会の理解
- d：自然の原理及び環境

情報と言語の理解

- e：英語
- f：初修外国語
- g：データサイエンス

共通基礎科目群

大学の学びの基盤

- h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体の構造と機能疾病の成り立ちと回復の促進
- j：健康支援と社会保障制度

専門科目群

- k：基礎看護学
- l：地域・在宅看護学
- m：成人看護学
- n：老年看護学
- o：小児看護学
- p：母性看護学
- q：精神看護学
- r：看護の統合と実践
- s：公衆衛生看護学
- t：助産学
- u：臨地実習
- v：研究

看護学部 看護学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | |
|---------|----------|-------------|---------|----|-------|-------|----------------|------|-----|-----|----|------|----|-----|-----|-----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門科目群 | 基礎看護学 | 看護学概論Ⅰ | NSk-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修44単位+選択5単位以上 | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 看護学概論Ⅱ | NSk-102 | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎看護技術演習 | NSk-103 | 1 | 講義・演習 | 22.5 | | 22.5 | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション論 | NSk-104 | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 日常生活援助学演習Ⅰ | NSk-105 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 日常生活援助学演習Ⅱ | NSk-106 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | ヘルスアセスメント | NSk-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | ヘルスアセスメント演習 | NSk-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 看護過程論入門 | NSk-203 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 看護過程展開論演習 | NSk-204 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 治療援助学演習 | NSk-205 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | 基礎看護学特論 | NSk-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 | |
| | 地域・在宅看護学 | 地域・在宅看護学総論 | NSI-101 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 地域・在宅看護方法論 | NSI-201 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 地域・在宅看護展開論 | NSI-202 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 地域・在宅看護学演習 | NSI-301 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 地域・在宅看護学特論 | NSI-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 |
| | 成人看護学 | 成人看護学総論 | NSm-101 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 成人看護方法論 | NSm-201 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 慢性期看護論 | NSm-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 周術期看護論 | NSm-301 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | クリティカルケア看護論 | NSm-302 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 成人看護学演習 | NSm-303 | 1 | 講義・演習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | | |
| | | 救急看護 | NSm-401 | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | |
| | | 成人看護学特論 | NSm-402 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 |
| | 老年看護学 | 老年看護学総論 | NSn-101 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 老年看護方法論 | NSn-201 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 高齢者の健康と障害 | NSn-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 老年看護学演習 | NSn-301 | 1 | 講義・演習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | | |
| | | 老年看護学特論 | NSn-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 |
| | 小児看護学 | 小児看護学総論 | NSo-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 小児看護方法論 | NSo-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 小児看護展開論 | NSo-301 | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 小児看護学演習 | NSo-302 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 小児看護学特論 | NSo-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 |
| | 母性看護学 | 母性看護学総論 | NSp-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 母性看護方法論 | NSp-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 母性看護展開論 | NSp-301 | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 母性看護学演習 | NSp-302 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 母性看護学特論 | NSp-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | | 7.5 |
| | 精神看護学 | 精神看護学総論 | NSq-101 | 1 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 精神看護方法論 | NSq-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 精神看護とリハビリ支援 | NSq-202 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 精神看護学演習 | NSq-301 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| 精神看護学特論 | | NSq-401 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | 7.5 | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | |
|-------------|-----------------|------------------|---------|---------|------|-------|------------|-------|----|------|-----|------|-----|------|------|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門科目群 | 看護の統合と実践 | 看護学への誘い | NSr-101 | 1 | | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 国際看護論 | NSr-201 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床看護過程演習 | NSr-202 | 1 | | 演習 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 災害看護論 | NSr-301 | 1 | | 講義・演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 臨床看護管理学 | NSr-401 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 公衆衛生看護学 | 公衆衛生看護学概論 | NSs-201 | 2 | | 講義・演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 公衆衛生看護技術論 | NSs-202 | | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 成人・高齢者保健活動論 | NSs-203 | | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 親子保健活動論 | NSs-301 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 障害者・感染症の保健活動論 | NSs-401 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | | 学校・産業保健活動論 | NSs-402 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | | 個人・家族の公衆衛生看護技術演習 | NSs-403 | | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 集団・地域の公衆衛生看護技術演習 | NSs-404 | | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 公衆衛生看護活動展開論 | NSs-405 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | | 地域保健政策論 | NSs-406 | | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 事業化・施策化演習 | NSs-407 | | 2 | 講義・演習 | 30 | | | | | | | | 30 | |
| | | 公衆衛生看護管理 | NSs-408 | | 1 | 講義・演習 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | | 助産学 | 助産学概論 | NSt-301 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| | 母子と家族の心理・社会学 | | NSt-302 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | |
| | 助産基礎医学 | | NSt-401 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 周産期診断学 | | NSt-402 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 妊娠期助産診断技術学 | | NSt-403 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 分娩期助産診断技術学 | | NSt-404 | | 2 | 講義・演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | 産褥期助産診断技術学 | | NSt-405 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 新生児・乳幼児期助産診断技術学 | | NSt-406 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | ハイリスク助産診断技術学 | | NSt-407 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 助産診断技術学演習 | | NSt-408 | | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | 30 | |
| | ハイリスク助産診断技術学演習 | | NSt-409 | | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | 地域母子保健論 | | NSt-410 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | |
| | 助産管理 | | NSt-411 | | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | 臨地実習 | | 看護基礎実習 | NSu-101 | | 1 | 実習 | 1 w | | 1 w | | | | | | |
| | | 療養生活支援実習 | NSu-201 | | 2 | 実習 | 2 w | | | 2 w | | | | | | |
| | | 臨床看護基盤実習 | NSu-202 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | 2 w | | | | | |
| | | 地域・在宅看護学実習 | NSu-301 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | | 2 w | | | | |
| | | 成人看護学実習 | NSu-302 | | 5 | 実習 | 5 w | | | | | 5 w | | | | |
| | | 老年看護学実習 | NSu-303 | | 3 | 実習 | 3 w | | | | | 3 w | | | | |
| | | 小児看護学実習 | NSu-304 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | | 2 w | | | | |
| | | 母性看護学実習 | NSu-305 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | | 2 w | | | | |
| | | 精神看護学実習 | NSu-306 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | | 2 w | | | | |
| | | 統合実習 | NSu-401 | | 2 | 実習 | 2 w | | | | | | | | 2 w | |
| | | 公衆衛生看護学実習 | NSu-402 | | 5 | 実習 | 5 w | | | | | | | | 5 w | |
| | | 助産学実習 | NSu-403 | | 11 | 実習 | 11 w | | | | | | | | 11 w | |
| | | 研究 | 看護研究概説 | NSv-301 | | 1 | 講義・演習 | 15 | | | | | | 15 | | |
| | 卒業研究 | | NSv-401 | | 4 | 演習 | 60 | 必修5単位 | | | | | | | 60 | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 77 | | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 124 | | | | | | | | | |

（必修44単位＋選択5単位以上）

必修23単位以上

リハビリテーション学部 理学療法学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群です。

目標：

- ・専門教育に直結する知識の修得及び専門教育の理解と理論づけの基礎を形成する。

専門科目群

専門科目群は理学療法学の高度な専門知識・技術を修得する科目群です。

目標：

- ・理学療法士としての知識・技術及び態度を養う。

リハビリテーション学部 理学療法学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 4学年 | |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|---------|----|------|-------|------------|-------------------|-----|-----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | PBa-101 | 2 | | 講義 | 15 | 選択2単位以上 必修3単位+ | 15 | | | |
| | | 教育学 | PBa-102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | PBa-103 | 1 | | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | PBa-104 | 2 | | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | PBa-105 | 1 | | 実技 | 15 | | | 15 | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | PBb-101 | 2 | | 講義 | 15 | 選択2単位以上 必修2単位+ | 15 | | | |
| | | 人間と宗教 | PBb-102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | |
| | | 芸術 | PBb-103 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | |
| | | 哲学 | PBb-201 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | |
| | | 生命倫理 | PBb-202 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | |
| | 人和社会及び自然の理解 人間の生活及び社会の理解 | 法学（日本国憲法含む） | PBc-201 | 2 | | 講義 | 15 | 選択1単位以上 | | 15 | | |
| | | 社会学 | PBc-202 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | |
| | | 生活文化と医療 | PBc-203 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | |
| | | 多文化理解 | PBc-101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | |
| | | 経済学 | PBc-102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | PBc-103 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | |
| | | 群馬の探求 | PBc-104 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | PBd-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修4単位+選択2単位以上 | 15 | | | |
| | | 基礎生物学 | PBd-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 生物学 | PBd-103 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 基礎数学 | PBd-104 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 数学 | PBd-105 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 基礎化学 | PBd-106 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 化学 | PBd-107 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 基礎物理学 | PBd-108 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 物理学 | PBd-109 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 基礎栄養学 | PBd-110 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | | 基礎統計学 | PBd-111 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | |
| | 英語 | 英語リーディング | PBe-101 | 1 | | 演習 | 15 | 必修3単位以上 | 15 | | | |
| | | 医療英語リーディング | PBe-102 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | |
| | | 英語会話 | PBe-103 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | |
| | | 医療英語会話 | PBe-201 | 1 | | 演習 | 15 | | | 15 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | PBe-301 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | 15 |
| 国際コミュニケーション英語 | | PBe-302 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | 15 | |
| 初修外国語 | 中国語 | PBf-101 | 1 | | 演習 | 15 | 選択1単位以上 | 15 | | | | |
| | コリア語 | PBf-102 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | | |
| | ドイツ語 | PBf-103 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | | |
| | ポルトガル語 | PBf-104 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | | |
| サイエンス | メディア・リテラシー | PBg-101 | 1 | | 演習 | 15 | 必修3単位以上 | 15 | | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | PBg-102 | 1 | | 演習 | 15 | | | 15 | | | |
| | AI・ロボットと社会 | PBg-103 | 1 | | 演習 | 15 | | | 15 | | | |
| | AI・プログラミング入門 | PBg-201 | 1 | | 演習 | 15 | | | 15 | | | |
| 共通基盤 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | PCh-101 | 1 | | 講義 | 7.5 | 3単位 必修 | 7.5 | | | | |
| | アカデミック・スキルズ | PCh-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | |
| | 多職種理解と医療コミュニケーション | PCh-103 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 26 | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

人と社会及び自然の理解

- a：心身の発達
- b：思想及び表現
- c：人間の生活及び社会の理解
- d：自然の原理及び環境

情報と言語の理解

- e：英語
- f：初修外国語
- g：データサイエンス

共通基盤科目群

大学の学びの基盤

- h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体の構造と機能及び心身の発達
- j：疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
- k：保健医療福祉とリハビリテーションの理念

専門科目群

- l：基礎理学療法学
- m：理学療法管理学
- n：理学療法評価学
- o：理学療法治療学
- p：地域理学療法学
- q：臨床実習

リハビリテーション学部 理学療法学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | |
|--------------|---------------------|-----------------|---------|----|------|-------|------------|------|-----|------|-----|------|----|------|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び心身の発達 | 運動器解剖学 | PFi-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修16単位以上 | 15 | | | | | | | |
| | | 臓器解剖学 | PFi-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 解剖学演習 | PFi-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 表面解剖学と触診法 | PFi-103 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 生理学Ⅰ | PFi-104 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 生理学Ⅱ | PFi-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 生理学演習 | PFi-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 生化学 | PFi-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 運動学 | PFi-107 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床運動学 | PFi-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 運動学演習 | PFi-204 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 人間発達学 | PFi-205 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 生涯発達心理学 | PFi-206 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 学習・認知心理学 | PFi-207 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 心理測定法 | PFi-208 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 | 病理学 | PFj-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修17単位 | | 15 | | | | | | |
| | | 薬理学 | PFj-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 臨床薬学 | PFj-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 公衆衛生学 | PFj-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床検査・画像診断学演習 | PFj-203 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床医学関連領域論 | PFj-204 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 内科学 | PFj-205 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 整形外科学 | PFj-206 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 神経内科学 | PFj-207 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 精神医学 | PFj-208 | 1 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 小児科学 | PFj-209 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | リハビリテーション医学 | PFj-210 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 救急・免疫・感染症学 | PFj-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | |
| | リハビリテーションの保健医療福祉と理念 | リハビリテーション概論 | PFk-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修6単位 | 7.5 | | | | | | | |
| | | チーム医療とリハビリテーション | PFk-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| 臨床心理学 | | PFk-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| 医療統計学 | | PFk-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| 社会福祉・地域サービス論 | | PFk-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| 計 (卒業要件) | | | | | | | 39 | | | | | | | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | |
|-------------|----------|-------------------|---------|----|------|-------|------------|----------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門科目群 | 基礎理学療法学 | 理学療法概論 | PSL-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修8単位+選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 障害と理学療法 | PSL-102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 理学療法総合演習 | PSL-401 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | | | | 15 |
| | | 理学療法研究論 | PSL-301 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 障害者スポーツ・レクリエーション論 | PSL-103 | | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | | | |
| | | 生体計測工学 | PSL-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 支援工学 | PSL-303 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 国際理学療法学 | PSL-201 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 行動科学とリハビリテーション | PSL-304 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | |
| | | 事例研究法 | PSL-305 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | |
| | | 理学療法研究演習 | PSL-306 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | 卒業研究 | PSL-402 | | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | | | 15 |
| | 理学療法管理学 | 理学療法管理学 | PSm-301 | 1 | | 講義 | 7.5 | 必修2単位 | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 安全管理 | PSm-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | |
| | 理学療法評価学 | 理学療法診断学 | PSn-101 | 1 | | 演習 | 15 | 必修6単位 | | 15 | | | | | | | |
| | | 基礎理学療法診断学演習 | PSn-201 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 運動機能系理学療法診断学演習 | PSn-202 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 神経機能系理学療法診断学演習 | PSn-203 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 内部機能系理学療法診断学演習 | PSn-204 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | 高次脳機能評価学 | PSn-301 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | 理学療法治療学 | 基礎運動療法 | PSo-201 | 2 | | 講義 | 15 | 必修19単位+選択2単位以上 | | | 15 | | | | | | |
| | | 運動機能系理学療法治療学演習 | PSo-202 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 脊髄疾患理学療法学 | PSo-301 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 神経機能系理学療法治療学 | PSo-203 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 神経機能系理学療法治療学演習 | PSo-302 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 内部機能系理学療法治療学演習 | PSo-303 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 身体活動学 | PSo-304 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 発達支援理学療法学 | PSo-305 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 理学療法関連領域論 | PSo-306 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | 物理療法学 | PSo-204 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 物理療法学演習 | PSo-307 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 義肢装具学 | PSo-308 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | スポーツ理学療法学 | PSo-309 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | 日常生活活動学 | PSo-205 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 高齢者理学療法学演習 | PSo-310 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | リハビリテーション栄養学 | PSo-311 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 福祉機器論 | PSo-312 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | |
| | 作業療法理論 | PSo-313 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | |
| | 災害保健学 | PSo-314 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | |
| | 地域理学療法学 | 地域理学療法学 | PSp-301 | 1 | | 講義 | 7.5 | 必修4単位以上 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 地域リハビリテーション学 | PSp-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 生活環境学 | PSp-303 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| 緩和医療学 | | PSp-304 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | | |
| 国際保健学 | PSp-401 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | | 7.5 | | | |
| 臨床実習 | 見学実習 | PSq-201 | 1 | | 実習 | 1w | 必修20単位 | | | | 1w | | | | | | |
| | 評価学実習 | PSq-301 | 4 | | 実習 | 4w | | | | | | | 4w | | | | |
| | 地域理学療法実習 | PSq-302 | 1 | | 実習 | 1w | | | | | | | | 1w | | | |
| | 総合臨床実習Ⅰ | PSq-401 | 7 | | 実習 | 7w | | | | | | | | | 7w | | |
| | 総合臨床実習Ⅱ | PSq-402 | 7 | | 実習 | 7w | | | | | | | | | | 7w | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 63 | | | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 128 | | | | | | | | | | |

リハビリテーション学部 作業療法学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群です。

目標：

国際機能分類（ICF）の本質を理解し、幅広い知識をもとに多職種連携を実践できる基礎作りのための知識と技術、並びに作業療法理論の理解に必要な基礎知識を修得する。

専門科目群

専門科目群は作業療法学の高度な専門知識・技術を修得する科目群です。

目標：

人が環境の中で作業を展開することの意味、それを作業療法とする意味の理解に基づき、作業療法の理論を学ぶ。

リハビリテーション学部 作業療法学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------|---------|------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | OBa-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択2単位以上 必修3単位+ | 15 | | | | | | | |
| | | 教育学 | OBa-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | OBa-103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | OBa-104 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | OBa-105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | OBb-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択3単位以上 必修6単位+ | 15 | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | OBb-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 芸術 | OBb-103 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 哲学 | OBb-201 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 生命倫理 | OBb-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | 人和社会及び自然の理解 | 人間の生活及び社会の理解 | 法学（日本国憲法含む） | OBc-201 | 2 | 講義 | 15 | 選択3単位以上 必修6単位+ | | 15 | | | | | |
| | | | 社会学 | OBc-202 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | |
| | | 生活文化と医療 | OBc-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 多文化理解 | OBc-101 | 2 | 講義 | 15 | 15 | | | | 15 | | | | |
| | | 経済学 | OBc-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | OBc-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 群馬の探求 | OBc-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | OBd-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択1単位以上 必修4単位+ | 15 | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | OBd-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 生物学 | OBd-103 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎数学 | OBd-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 数学 | OBd-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎化学 | OBd-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 化学 | OBd-107 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎物理学 | OBd-108 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 物理学 | OBd-109 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学 | OBd-110 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎統計学 | OBd-111 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | OBe-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 必修3単位+ | 15 | | | | | | |
| | | | 医療英語リーディング | OBe-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | |
| | | | 英語会話 | OBe-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | |
| 医療英語会話 | | | OBe-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| 英語アカデミックリーディング・ライティング | | | OBe-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | 15 | | | |
| 国際コミュニケーション英語 | | OBe-302 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | 15 | 15 | | | |
| 初修外国語 | | 中国語 | OBf-101 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | コリア語 | OBf-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | ドイツ語 | OBf-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | ポルトガル語 | OBf-104 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| サイエンス | メディア・リテラシー | OBg-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 必修2単位+ | 15 | | | | | | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | OBg-102 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | AI・ロボットと社会 | OBg-103 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | AI・プログラミング入門 | OBg-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| 共通基盤科目群 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | OCh-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 3単位 必修 | 7.5 | | | | | | | |
| | | アカデミック・スキルズ | OCh-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | OCh-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 29 | | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

人と社会及び自然の理解

- a：心身の発達
- b：思想及び表現
- c：人間の生活及び社会の理解
- d：自然の原理及び環境

情報と言語の理解

- e：英語
- f：初修外国語
- g：データサイエンス

共通基盤科目群

大学の学びの基盤

- h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体の構造と機能及び心身の発達
- j：疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進
- k：保健医療福祉とリハビリテーションの理念

専門科目群

- l：基礎作業療法学
- m：作業療法管理学
- n：作業療法評価学
- o：作業療法治療学
- p：地域作業療法学
- q：臨床実習

リハビリテーション学部 作業療法学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | | |
|----------|---------------------|-----------------|---------|----|------|-------|------------|----------------|----------------|------|-----|------|-----|------|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び心身の発達 | 運動器解剖学 | OFi-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修13単位＋選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 臓器解剖学 | OFi-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 解剖学演習 | OFi-201 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 生理学Ⅰ | OFi-103 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| | | 生理学Ⅱ | OFi-104 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 生理学演習 | OFi-202 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 運動学 | OFi-105 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 運動学演習 | OFi-203 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 生化学 | OFi-106 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 人間発達学 | OFi-204 | 1 | | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 生涯発達心理学 | OFi-205 | | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 学習・認知心理学 | OFi-206 | | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 心理測定法 | OFi-207 | | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 行動科学とリハビリテーション | OFi-301 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 | 病理学 | OFj-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修18単位以上 | 必修37単位＋選択3単位以上 | 15 | | | | | | | |
| | | 薬理学 | OFj-201 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 臨床薬学 | OFj-202 | | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 公衆衛生学 | OFj-102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 臨床検査・画像診断学演習 | OFj-203 | 1 | | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床医学関連領域論 | OFj-204 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 内科学 | OFj-205 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 整形外科 | OFj-206 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 神経内科学 | OFj-207 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 小児科学 | OFj-208 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 精神医学Ⅰ | OFj-209 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 精神医学Ⅱ | OFj-210 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | リハビリテーション医学 | OFj-211 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 救急・免疫・感染症学 | OFj-301 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | 緩和医療学 | OFj-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | | |
| | リハビリテーションの保健医療福祉と理念 | リハビリテーション概論 | OFk-101 | 1 | | 講義 | 7.5 | 必修6単位 | 必修6単位 | 7.5 | | | | | | | |
| | | チーム医療とリハビリテーション | OFk-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 臨床心理学 | OFk-201 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 社会福祉・地域サービス論 | OFk-202 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| 医療統計学 | | OFk-203 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| 計 (卒業要件) | | | | | | | 40 | | | | | | | | | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 4学年 | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------|----|------|--------|-------------------|-----|------|------|------|------|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門科目群 | 基礎作業療法学 | 作業療法学概論 | OSl-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 選択2単位以上 必修4単位+ | 7.5 | | | | | | |
| | | 基礎作業学 | OSl-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | |
| | | 基礎作業学実習 | OSl-201 | 1 | 実習 | 22.5 | | | 22.5 | | | | | |
| | | 生体計測工学 | OSl-301 | | 1 | 講義 | | 7.5 | | | | 7.5 | | |
| | | 作業療法学研究法演習 | OSl-302 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | |
| | | 事例研究法 | OSl-303 | | 1 | 講義 | | 7.5 | | | | 7.5 | | |
| | | 卒業研究 | OSl-401 | | 2 | 演習 | | 30 | | | | | | 30 |
| | 作業療法管理学 | 作業療法管理学Ⅰ | OSm-201 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修2単位 | | 7.5 | | | | | |
| | | 作業療法管理学Ⅱ | OSm-301 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | |
| | 作業療法評価学 | 作業療法評価学 | OSn-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修5単位 | 15 | | | | | | |
| | | 作業療法評価学演習 | OSn-201 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | |
| | | 作業療法評価学実習 | OSn-202 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | 22.5 | | | | |
| | | 作業療法総合評価演習 | OSn-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | |
| | 作業療法治療学 | 身体領域の作業療法学 | OSo-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修19単位 | | | 15 | | | | |
| | | 身体領域の作業療法学実習 | OSo-301 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | 22.5 | | | |
| | | 認知機能作業療法学 | OSo-302 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | |
| | | 精神領域の作業療法学 | OSo-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | |
| | | 精神領域の作業療法学実習 | OSo-303 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | 22.5 | | | |
| | | 発達領域の作業療法学 | OSo-203 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | |
| | | 発達領域の作業療法学演習 | OSo-304 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | |
| | | 老年期の作業療法学 | OSo-305 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | |
| | | 内部障害作業療法学 | OSo-306 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | |
| | | 作業療法理論 | OSo-307 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| | | 作業療法リーズニング | OSo-308 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| | | 日常生活活動学 | OSo-204 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | |
| | | 日常生活活動学実習 | OSo-309 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | |
| | | 作業療法総合演習 | OSo-401 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | |
| | | 就労支援技術論 | OSo-310 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| | 生活環境学 | OSo-311 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | リハビリテーション栄養学 | OSo-312 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | 地域作業療法学 | 地域作業療法学 | OSp-301 | 1 | 講義 | 7.5 | 選択3単位以上 必修3単位+ | | | | 7.5 | | | |
| | | 福祉機器論 | OSp-302 | | 1 | 講義 | | 7.5 | | | | 7.5 | | |
| | | 支援工学 | OSp-303 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | |
| | | 国際保健学 | OSp-401 | | 1 | 講義 | | 7.5 | | | | | 7.5 | |
| | | 災害保健学 | OSp-304 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| | | 地域リハビリテーション学 | OSp-305 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | |
| 臨床実習 | 見学実習 | OSq-201 | 2 | 実習 | 2w | 必修25単位 | | | 2w | | | | | |
| | 作業療法基礎実習Ⅰ | OSq-301 | 3 | 実習 | 3w | | | | | 3w | | | | |
| | 作業療法基礎実習Ⅱ | OSq-302 | 3 | 実習 | 3w | | | | | 3w | | | | |
| | 総合臨床実習Ⅰ | OSq-401 | 8 | 実習 | 8w | | | | | | 8w | | | |
| | 総合臨床実習Ⅱ | OSq-402 | 8 | 実習 | 8w | | | | | | 8w | | | |
| | 地域臨床実習 | OSq-403 | 1 | 実習 | 1w | | | | | | | 1w | | |
| | 計（卒業要件） | | | | | | | 62 | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 131 | | | | | | | |

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群です。

目標：

- ・人の体の構造と働きを理解する。
- ・ことばとコミュニケーションの過程と働きについて理解する。
- ・人の心の仕組みを理解する。
- ・ことばの障がいとその支援に関する理念と社会の環境、制度について理解する。

専門科目群

専門科目群は言語聴覚学の高度な専門知識・技術を修得する科目群です。

目標：

- ・言語聴覚士として障がいのある方に向き合う姿勢、態度を修得する。
- ・言語聴覚療法の実践に必要な感性、想像力、創造力、応用力を養う。
- ・言語聴覚療法のよりどころとなる専門的な知識・技術を修得する。
- ・生涯にわたり学修し、真実を探求し、成果を社会に発信する姿勢を養う。

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|-----------------------|---------|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | SBa-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択3単位以上 必修3単位+ | 15 | | | | | | | | | |
| | | 教育学 | SBa-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | SBa-103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | SBa-104 | 2 | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | SBa-105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | SBb-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択5単位以上 必修2単位+ | 15 | | | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | SBb-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 芸術 | SBb-103 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 哲学 | SBb-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生命倫理 | SBb-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | 人和社会及び自然の理解 | 人間の生活及び社会の理解 | 法学（日本国憲法含む） | SBc-201 | 2 | 講義 | 15 | 選択5単位以上 必修2単位+ | | | 15 | | | | | | |
| | | | 社会学 | SBc-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 生活文化と医療 | SBc-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 多文化理解 | SBc-101 | 2 | 講義 | 15 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 経済学 | SBc-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | SBc-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 群馬の探求 | SBc-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | SBd-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択4単位以上 必修2単位+ | 15 | | | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | SBd-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 生物学 | SBd-103 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎数学 | SBd-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 数学 | SBd-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎化学 | SBd-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 化学 | SBd-107 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎物理学 | SBd-108 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 物理学 | SBd-109 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学 | SBd-110 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎統計学 | SBd-111 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | SBe-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 必修3単位+ | 15 | | | | | | | | |
| | | | 医療英語リーディング | SBe-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 英語会話 | SBe-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 医療英語会話 | SBe-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | SBe-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | 15 | | | |
| 国際コミュニケーション英語 | | SBe-302 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | 15 | | | | | |
| 初修外国語 | | 中国語 | SBf-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 韓国語 | SBf-102 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | ドイツ語 | SBf-103 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | ポルトガル語 | SBf-104 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| サイエンス | メディア・リテラシー | SBg-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 必修2単位+ | 15 | | | | | | | | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | SBg-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・ロボットと社会 | SBg-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・プログラミング入門 | SBg-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| 共通基盤科目群 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | SCh-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 3単位 必修 | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | アカデミック・スキルズ | SCh-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | SCh-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 30 | | | | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

- 人と社会及び自然の理解
- a：心身の発達
 - b：思想及び表現
 - c：人間の生活及び社会の理解
 - d：自然の原理及び環境

情報と言語の理解

- e：英語
- f：初修外国語
- g：データサイエンス

共通基盤科目群

- 大学の学びの基盤
- h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体のしくみ・疾病と治療
- j：心の働き
- k：言語とコミュニケーション
- l：社会保障・教育とリハビリテーション

専門科目群

- m：言語聴覚障害学総論
- n：地域言語聴覚療法
- o：言語聴覚療法管理学
- p：失語・高次脳機能障害学
- q：言語発達障害学
- r：発声発語・摂食嚥下障害学
- s：聴覚障害学
- t：演習
- u：臨床実習

リハビリテーション学部 言語聴覚学科 教育課程 (2025年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | | |
|---------------|-------------------|---------------------|---------|----|------|-------|------------|--------|-----|------|----|------|----|------|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体のしくみ・疾病と治療 | 解剖学総論 | SFi-101 | 1 | | 講義 | 7.5 | 必修18単位 | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 口腔解剖学 | SFi-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎生理学 | SFi-103 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 基礎病理学 | SFi-104 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 医療危機管理 (窒息・誤嚥・吸引含む) | SFi-105 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 内科学 | SFi-201 | 1 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 小児科学 | SFi-202 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 精神医学 | SFi-203 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | リハビリテーション医学 | SFi-204 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 言語聴覚障害関連領域実技実習 | SFi-106 | 1 | | 実習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 耳鼻咽喉科学 | SFi-107 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 神経内科学 | SFi-205 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 形成外科学 | SFi-206 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 歯科・口腔外科学 | SFi-207 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 口腔運動医学 | SFi-208 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | 言語医学 | SFi-209 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | |
| | 聴覚医学 | SFi-210 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | |
| | 心の働き | 臨床心理学 | SFj-201 | 1 | | 講義 | 15 | 必修7単位 | | | 15 | | | | | | |
| | | 生涯発達心理学 | SFj-101 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 学習・認知心理学 | SFj-202 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 心理測定法 | SFj-301 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | 言語とコミュニケーション | 言語学 | SFk-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修9単位 | | 15 | | | | | | | |
| | | 音声学 | SFk-201 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 音響音声学 | SFk-102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 聴覚心理学 | SFk-103 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 言語発達学 | SFk-202 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | 社会保障・教育とリハビリテーション | リハビリテーション概論 | SFl-101 | 1 | | 講義 | 7.5 | 必修11単位 | 7.5 | | | | | | | | |
| | | AAC と教材学 | SFl-301 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床スキル論 | SFl-401 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | チーム医療とリハビリテーション | SFl-102 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 社会福祉制度・関連法規 | SFl-103 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 地域リハビリテーション学 | SFl-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 地域参加支援Ⅰ | SFl-201 | 2 | | 演習 | 30 | | | | | 30 | | | | | |
| 地域参加支援Ⅱ | | SFl-303 | 2 | | 演習 | 30 | | | | | | 30 | | | | | |
| 計 (履修方法・卒業要件) | | | | | | | 45 | | | | | | | | | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | |
|--------------|--------------------|-----------------|---------|----|------|---------|----------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 専門科目群 | 言語聴覚障害学総論 | 言語聴覚障害学概論 | SSm-101 | 1 | 講義 | 15 | 必修3単位 | 15 | | | | | | | |
| | | 言語聴覚障害学診断学 | SSm-102 | 1 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 地域参加支援総論 | SSm-401 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | |
| | 地域言語聴覚療法 | 地域言語聴覚療法 | SSn-401 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位 | | | | | | | | 15 |
| | 言語聴覚療法管理学 | 言語聴覚療法管理学Ⅰ | SSo-201 | 1 | 講義 | 15 | 2単位 必修 | | | 15 | | | | | |
| | | 言語聴覚療法管理学Ⅱ | SSo-301 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | 失語・高次脳機能障害学 | 失語症学 | SSp-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修7単位 | | 15 | | | | | | |
| | | 高次脳機能障害学 | SSp-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 失語・高次脳機能障害学評価法 | SSp-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 失語・高次脳機能障害学支援論 | SSp-302 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | 言語発達障害学 | 言語発達障害学 | SSq-201 | 2 | 講義 | 15 | 5単位 必修 | | | 15 | | | | | |
| | | 言語発達障害学評価法 | SSq-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 言語発達障害学支援論 | SSq-302 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | |
| | 摂食嚥下障害学・発声発語・音声障害学 | 病理音声学 | SSr-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修9単位 | | 15 | | | | | | |
| | | 発声発語・摂食嚥下障害学評価法 | SSr-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 器質性・機能的発話障害学支援論 | SSr-301 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 運動性発話障害学支援論 | SSr-302 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 非流暢性発話・音声障害学支援論 | SSr-303 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | |
| | | 摂食嚥下障害学支援論 | SSr-304 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | |
| | | リハビリテーション栄養学 | SSr-305 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | |
| | 聴覚障害学 | 聴覚検査法 | SSs-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修6単位 | | 15 | | | | | | |
| | | 聴覚補償 | SSs-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 先天性聴覚障害学支援論 | SSs-301 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 後天性聴覚障害学支援論 | SSs-203 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | 演習 | 聴覚障害学演習 | SSt-302 | 2 | 演習 | 30 | 選択2単位以上 必修8単位+ | | | | | 30 | | | |
| | | 運動系障害学演習 | SSt-303 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | 30 | | |
| | | 言語系障害学演習 | SSt-304 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | 30 | | |
| 小児系障害学演習 | | SSt-305 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | 30 | | | |
| 言語聴覚総合演習 | | SSt-401 | | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | 30 | |
| 卒業研究 | | SSt-402 | | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | 30 | |
| 臨床実習 | 見学実習 | SSu-201 | 3 | 実習 | 3 w | 15単位 必修 | | | 3 w | | | | | | |
| | 評価実習 | SSu-301 | 5 | 実習 | 5 w | | | | | | 5 w | | | | |
| | 総合臨床実習 | SSu-401 | 7 | 実習 | 7 w | | | | | | | 7 w | | | |
| 計（履修方法・卒業要件） | | | | | | | 59 | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 134 | | | | | | | | |

医療技術学部 検査技術学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群です。

目標：

- ・臨床検査技師としての基礎となる専門知識、及び保健・医療に携わるものとして共通理解をしておくべき知識を修得する。

専門科目群

専門科目群は臨床検査技師の高度な専門知識・技術を修得する科目群です。

目標：

- ・多様な疾病、病態に沿った臨床検査を実践する上で必要となる専門知識と技術を養い、国家資格取得後、直ちに臨床現場で診療支援ができる能力の育成を目指す。

医療技術学部 検査技術学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | |
|-------------------|--------------|-----------------------|-------------------|--------------|------|-------|---------------|----------------|---------------|-----|----|-----|----|-----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | MB I -101 | 2 | 講義 | 15 | 選択2単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 教育学 | MB I -102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | MB I -103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | MB I -104 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | MB I -105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | MB II -101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | MB II -102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| | | 芸術 | MB II -103 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| | | 哲学 | MB II -201 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生命倫理 | MB II -202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | 人和社会及び自然の理解 | 人間の生活及び社会の理解 | 法学(日本国憲法含む) | MB III -201 | 2 | 講義 | 15 | 必修9単位+選択12単位以上 | | | 15 | | | | | |
| | | | 社会学 | MB III -202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | | 生活文化と医療 | MB III -203 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 自然の原理及び環境 | 多文化理解 | MB III -101 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | | 経済学 | MB III -102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | | 地域ボランティア活動論 | MB III -103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | | 群馬の探求 | MB III -104 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| | 英語 | 英語リーディング | MB V -101 | 1 | 演習 | 15 | 必修3単位+選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 医療英語リーディング | MB V -102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 英語会話 | MB V -103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 医療英語会話 | MB V -201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | MB V -301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | 15 | | | |
| | | 国際コミュニケーション英語 | MB V -401 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | 初修外国語 | 中国語 | MB VI -101 | 1 | 演習 | | 15 | 15 | | | | | | | |
| | | | コリア語 | MB VI -102 | 1 | 演習 | | 15 | 15 | | | | | | | |
| | | | ドイツ語 | MB VI -103 | 1 | 演習 | | 15 | 15 | | | | | | | |
| | | | ポルトガル語 | MB VI -104 | 1 | 演習 | | 15 | 15 | | | | | | | |
| | | サイエンス | メディア・リテラシー | MB VII -101 | 1 | 演習 | | 15 | 選択1単位+必修1単位以上 | 15 | | | | | | |
| | | | AI・データサイエンス・リテラシー | MB VII -102 | 1 | 演習 | | 15 | | | 15 | | | | | |
| | | | AI・ロボットと社会 | MB VII -103 | 1 | 演習 | | 15 | | | 15 | | | | | |
| | AI・プログラミング入門 | | MB VII -201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | 共通基盤 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | MC VIII -101 | 1 | 講義 | 7.5 | 3単位 必修 | 7.5 | | | | | | | |
| | | | アカデミック・スキルズ | MC VIII -102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | |
| 多職種理解と医療コミュニケーション | | | MC VIII -103 | 1 | 演習 | 15 | 15 | | | | | | | | | |
| 計(卒業要件) | | | | | | | 21 | | | | | | | | | |

医療技術学部 検査技術学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | |
|----------|-------------|---------|-------------|----|------|-------|------------|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能 | 解剖学 | MF IX -101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 生理学 | MF IX -102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 生化学 | MF IX -103 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床栄養学 | MF IX -201 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | その疾病との関連 | 病理学 | MF X -101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 病態薬理学 | MF X -201 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 基礎臨床検査学 | MF X -102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 臨床検査福祉と保健医療 | 医学概論 | MF XI -101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 公衆衛生学 | MF XI -102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | 医療工学及び医療情報 | 医用電子工学 | MF XII -201 | 2 | | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 情報科学概論 | MF XII -202 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 検査機器総論 | MF XII -101 | 1 | | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| 計 (卒業要件) | | | | | | | 22 | | | | | | | | | |

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | |
|-------|---------------|------------------------|---------|----|------|-------|------------|-----|----|------|------|------|----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 専門科目群 | 病態学 | 臨床検査医学Ⅰ | MSⅢ-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床検査医学Ⅱ | MSⅢ-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 臨床検査解析学 (Reversed CPC) | MSⅢ-401 | 2 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | 血液学的検査 | 血液検査学 | MSⅣ-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 血液検査学演習 | MSⅣ-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 血液検査学実習 | MSⅣ-203 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | 22.5 | | | | |
| | 病理学的検査 | 病理検査学 | MSⅤ-101 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 病理学演習 | MSⅤ-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 病理検査学実習 | MSⅤ-301 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | |
| | | 細胞診断学 | MSⅤ-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | 尿・糞便等一般検査 | 臨床検査学総論 | MSⅥ-101 | 1 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床検査学総論実習 | MSⅥ-201 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | 22.5 | | | | | |
| | | 医動物学演習 | MSⅥ-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 生化学的検査・免疫学的検査 | 免疫検査学 | MSⅦ-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 免疫検査技術学演習 | MSⅦ-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 免疫検査技術学実習 | MSⅦ-301 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | |
| | | 臨床化学検査学 | MSⅦ-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床化学検査学演習 | MSⅦ-204 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床化学検査学実習 | MSⅦ-205 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | 22.5 | | | | |
| | 計 (卒業要件) | | | | | | | 68 | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

人と社会及び自然の理解

- I：心身の発達
- II：思想及び表現
- III：人間の生活及び社会の理解
- IV：自然の原理及び環境

情報と言語の理解

- V：英語
- VI：初修外国語
- VII：データサイエンス

共通基盤科目群

大学の学びの基盤

- VIII：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- IX：人体の構造と機能
- X：臨床検査の基礎とその疾病との関連
- XI：保健医療福祉と臨床検査
- XII：医療工学及び医療情報

専門科目群

- XIII：病態学
- XIV：血液学的検査
- XV：病理学的検査
- XVI：尿・糞便等一般検査
- XVII：生化学的検査・免疫学的検査
- XVIII：遺伝子関連・染色体検査
- XIX：輸血・移植検査
- XX：微生物学的検査
- XXI：生理学的検査
- XXII：臨床検査総合管理
- XXIII：医療安全管理
- XXIV：臨地実習
- XXV：検査技術科学の探究
- XXVI：学部共通
- XXVII：卒業研究

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | |
|--------------|-------------------------|-----------------|----------|-----|------|-------|------------|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 専門科目群 | 検査 染色体 関連・ 遺伝子 | 遺伝子検査学 | MSXX-201 | 1 | 講義 | 15 | (必修68単位) | | | 15 | | | | | |
| | | 遺伝子検査学実習 | MSXX-202 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | 22.5 | | | | | |
| | 輸血・移植 検査 | 基礎免疫学 | MSXX-101 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 輸血検査学 | MSXX-301 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 輸血検査学実習 | MSXX-302 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | |
| | 微生物学的検査 | 微生物検査学 | MSXX-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 微生物検査学演習 | MSXX-202 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 微生物検査学実習 | MSXX-203 | 2 | 実習 | 30 | | | | | 30 | | | | |
| | | ウイルス検査学 | MSXX-204 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | 生理学的検査 | 生理機能検査学Ⅰ | MSXX-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 生理機能検査学Ⅱ | MSXX-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 生理機能検査学Ⅲ | MSXX-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 生理機能検査学Ⅳ | MSXX-401 | 2 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 生理機能検査学実習 | MSXX-302 | 2 | 実習 | 45 | | | | | | 45 | | | |
| | 臨床検査 総合管理 | 関係法規 | MSXX-101 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 検査管理総論 | MSXX-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 検査管理演習 | MSXX-201 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 医療統計学 | MSXX-102 | 2 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 医療安全管理 | 医療安全管理学演習 | MSXX-201 | 2 | 演習 | 22.5 | | | | 22.5 | | | | | |
| | 臨地実習 | 総合実習（臨地実習前技能評価） | MSXX-301 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 臨地実習 | MSXX-302 | 11 | 実習 | 11w | | | | | | | 11w | | |
| | 検査技術科学の探究 | 基礎発生工学 | MSXX-101 | 1 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 生殖医療技術学 | MSXX-201 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | 22.5 | | | | | |
| | | 臨床検査学総合演習Ⅰ | MSXX-301 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | 30 | | |
| | | 臨床検査学総合演習Ⅱ | MSXX-401 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | 15 | 15 |
| | | ピットフォール解析学 | MSXX-402 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 電気泳動分析病態解析学 | MSXX-403 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | 15 | |
| | | 大学の学びー専門への誘いー | MSXX-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 健康食品学 | MSXX-302 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 遺伝子分析学 | MSXX-303 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| フローサイトメトリー演習 | | MSXX-304 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| 質量分析法演習 | | MSXX-305 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| 自動分析法演習 | | MSXX-306 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| 基礎医学研究法 | | MSXX-307 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| 臨床検査学研究法 | | MSXX-308 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| 生殖補助医療学研究法 | MSXX-309 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| 学部共通 | 医療技術学演習 | MSXX-101 | 2 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | |
| 卒業研究 | 卒業研究 | MSXX-401 | 4 | 演習 | 60 | | | | | | | 30 | 30 | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 87 | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 130 | | | | | | | | |

医療技術学部 放射線学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は専門教育の基礎となる科目群です。

目標：

- ・放射線学の基盤となる基礎的医学知識を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践に必要な臨床医学知識及び技術を修得する。
- ・放射線学の基盤となる基礎的理工学知識を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践に必要な放射線科学的知識及び技術を修得する。

専門科目群

専門科目群は、診療放射線技師の高度な専門知識・技術を修得する科目群です。

目標：

- ・医療専門職としての倫理と責務を実践する感性与責任感を身につけ、高度な知識・技術をもった診療放射線技師として、放射線学に基づく臨床実践を提供する能力(知識・技術・態度)を修得する。
- ・診療放射線技師の臨床実践における諸問題を抽出、問題提起し、解決方法の提案、検証を科学的に探求する能力を修得する。

医療技術学部 放射線学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | |
|---------------|-------------------|-----------------------|---------|----|-------|---------------|---------------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | RBa-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 教育学 | RBa-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | RBa-103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | RBa-104 | 2 | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | RBa-105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | RBb-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | RBb-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 芸術 | RBb-103 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 哲学 | RBb-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生命倫理 | RBb-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | 人間の生活及び社会の理解 | 法学(日本国憲法含む) | RBc-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+選択3単位以上 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 社会学 | RBc-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生活文化と医療 | RBc-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 多文化理解 | RBc-101 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 経済学 | RBc-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | RBc-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 群馬の探求 | RBc-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | RBd-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修2単位+選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | RBd-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 生物学 | RBd-103 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎数学 | RBd-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 数学 | RBd-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎化学 | RBd-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 化学 | RBd-107 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎物理学 | RBd-108 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 物理学 | RBd-109 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学 | RBd-110 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎統計学 | RBd-111 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | 英語 | 英語リーディング | RBe-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修2単位+選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 医療英語リーディング | RBe-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 英語会話 | RBe-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 医療英語会話 | RBe-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | RBe-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| 国際コミュニケーション英語 | | RBe-401 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | | | | | 15 | |
| 初修外国語 | 中国語 | RBf-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | | |
| | 韓国語 | RBf-102 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | | |
| | ドイツ語 | RBf-103 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | | |
| | ポルトガル語 | RBf-104 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | | |
| サイエンス | メディア・リテラシー | RBg-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修1単位+選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | RBg-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・ロボットと社会 | RBg-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・プログラミング入門 | RBg-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| 共通基盤 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | RCh-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修3単位 | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | アカデミック・スキルズ | RCh-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | RCh-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| 計(卒業要件) | | | | | | | 20 | | | | | | | | | | |

医療技術学部 放射線学科 教育課程（2026年度入学者～）

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | | |
|---------|-------------------|------------------------------|----------|---------|------|-------|------------|--------|----|--------|----|-----|-----|-----|----|--|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち | 解剖学 | RFi-101 | 2 | | 講義 | 15 | 必修13単位 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 生理学 | RFi-102 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 病理学 | RFi-103 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 薬理学 | RFi-104 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 生化学 | RFi-105 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 公衆衛生学概論 | RFi-201 | 1 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 内科学 | RFi-106 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 看護学概論 | RFi-202 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 臨床心理学 | RFi-203 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術 | 放射線医療学概論 | RFj-101 | 2 | | 講義 | | 15 | 必修19単位 | 15 | | | | | | | |
| | 医用工学Ⅰ | | RFj-102 | 2 | | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| | 医用工学Ⅱ | | RFj-103 | 1 | | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | 放射線物理学Ⅰ | | RFj-104 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | 放射線物理学Ⅱ | | RFj-201 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | 放射線物理学Ⅲ | | RFj-202 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | 放射線生物学Ⅰ | | RFj-105 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | 放射線生物学Ⅱ | | RFj-203 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | 放射線計測学Ⅰ | | RFj-204 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | 放射線計測学Ⅱ | | RFj-301 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | | |
| | 放射化学 | | RFj-205 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | 理工学・放射線科学実験 | | RFj-206 | 1 | | 実験 | 15 | | | | | | 15 | | | | | |
| | 計（卒業要件） | | | | | | | 32 | | | | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

- 人と社会及び自然の理解
 a：心身の発達
 b：思想及び表現
 c：人間の生活及び社会の理解
 d：自然の原理及び環境
- 情報と言語の理解
 e：英語
 f：初修外国語
 g：データサイエンス

共通基盤科目群

- 大学の学びの基盤
 h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
 j：保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術

専門科目群

- k：診療画像技術学・臨床画像学
 l：核医学検査技術学
 m：放射線治療技術学
 n：医療画像情報学
 o：放射線安全管理学
 p：医療安全管理学
 q：実践臨床画像学
 r：臨床実習
 s：診療放射線学の探究
 t：学部共通
 u：総合領域

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | | |
|--------------|---------------|------------------------|---------|----|------|---------------|------------|-----|-----|------|----|------|------|-----|----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 専門科目群 | 診療画像技術学・臨床画像学 | 診療画像解剖学Ⅰ（単純・造影） | RSk-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 必修20単位 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 診療画像解剖学Ⅱ（造影・CT・MRI・US） | RSk-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | X線撮影機器学Ⅰ（X線装置） | RSk-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | | X線撮影機器学Ⅱ（他画像診断装置） | RSk-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | X線撮影技術学Ⅰ（単純） | RSk-103 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | | X線撮影技術学Ⅱ（造影・特殊） | RSk-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 医療X線CT工学 | RSk-204 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 医療磁気共鳴論 | RSk-205 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| | | CT・MRI検査学 | RSk-206 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 超音波機器学 | RSk-207 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 超音波検査学 | RSk-208 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 診療画像検査学特論 | RSk-301 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 診療画像検査学実習 | RSk-302 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | | 22.5 | | | | | |
| | 診療画像機器学実習 | RSk-209 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | 22.5 | | | | | | | | |
| | 核医学検査技術学 | 核医学検査技術学Ⅰ | RSl-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修7単位 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 核医学検査技術学Ⅱ | RSl-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 核医学機器工学 | RSl-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 核医学・放射線治療技術学実習 | RSl-302 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | 22.5 | | | | | | |
| | 放射線治療技術学 | 放射線治療技術学Ⅰ | RSm-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修8単位 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 放射線治療技術学Ⅱ | RSm-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 放射線治療機器工学 | RSm-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 放射線腫瘍学 | RSm-302 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | | | |
| | 医療画像情報学 | 医療画像情報学Ⅰ | RSn-201 | 2 | 講義 | 15 | 必修7単位 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 医療画像情報学Ⅱ | RSn-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 放射線情報・画像工学 | RSn-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 医療画像情報学実習 | RSn-302 | 1 | 実習 | 22.5 | | | | | | | 22.5 | | | | | |
| | 放射線安全管理学 | 放射線安全管理学 | RSo-301 | 2 | 講義 | 15 | 4単位 必修 | | | | | 15 | | | | | | |
| | | 放射線関係法規 | RSo-401 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | | | 15 | | | |
| | 医療安全管理学 | 医療安全管理学Ⅰ | RSp-201 | 1 | 講義 | 7.5 | 2単位 必修 | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | | 医療安全管理学Ⅱ | RSp-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | 実践臨床画像学 | 画像診断学Ⅰ | RSq-201 | 2 | 講義 | 15 | 3単位 必修 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 画像診断学Ⅱ（救急医療） | RSq-301 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | | |
| | 臨床実習 | 診療放射線学直前実習 | RSr-301 | 1 | 実習 | 22.5 | 必修13単位 | | | | | | 22.5 | | | | | |
| 診療画像検査学臨床実習 | | RSr-302 | 8 | 実習 | 8w | | | | | | | | 8w | | | | | |
| 放射線治療技術学臨床実習 | | RSr-401 | 2 | 実習 | 2w | | | | | | | | | | 2w | | | |
| 核医学診療技術学臨床実習 | | RSr-402 | 2 | 実習 | 2w | | | | | | | | | | | 2w | | |
| 診療放射線学の探究 | 診療放射線学基礎演習 | RSs-201 | 1 | 演習 | 15 | 必修6単位＋選択2単位以上 | | | | 15 | | | | | | | | |
| | 診療放射線学総合演習Ⅰ | RSs-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | | | | |
| | 診療放射線学総合演習Ⅱ | RSs-401 | 4 | 演習 | 60 | | | | | | | | | 30 | 30 | | | |
| | 放射線防護学 | RSs-302 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | | 7.5 | | | | | |
| | 放射線取扱主任者準備講座 | RSs-303 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | | | | |
| | 医療情報技師準備講座 | RSs-304 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | 放射線研究方法論 | RSs-401 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | | | | 15 | | | |
| | 放射線医療統計学 | RSs-305 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | | 15 | | | | | |
| 学部共通 | 医療技術学演習 | RSt-101 | 2 | 演習 | 15 | 必修2単位 | | 15 | | | | | | | | | | |
| 総合領域 | 診療放射線技術と研究 | RSu-301 | 1 | 講義 | 7.5 | 4単位 必修 | | | | | | 7.5 | | | | | | |
| | 診療放射線学研究Ⅰ | RSu-302 | 1 | 演習 | 15 | | | | | | | 15 | | | | | | |
| | 診療放射線学研究Ⅱ | RSu-401 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | | 15 | 15 | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 78 | | | | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 130 | | | | | | | | | | | |

必修76単位＋選択2単位以上

医療技術学部 臨床工学科

教養科目群

教養科目群は、人間に対する幅広く深い理解や関心、社会とその仕組み及び社会生活に関する見識、社会人としてのコミュニケーション能力、データサイエンス・ICT 活用力などの社会的能力、専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考・判断力、主体的姿勢を育てることを目標とする科目群です。

目標：

- ・人間に関する幅広い知識を習得し、理解や関心を育てる。
- ・社会と社会生活に関する見識、社会人としての判断力、コミュニケーション能力など、社会的能力を育てる。
- ・専門教育の基礎となる学習能力、科学的思考、判断力、主体的姿勢を育てる。

共通基盤科目群

共通基盤科目群は、大学における基本的な生活・学習環境の整備とその調整能力であるスタディ・スキル、アカデミック・スキルの修得、保健医療専門職に共通する多職種理解とチーム医療の担い手としての基礎的な能力を修得するための科目群です。

目標：

- ・スタディスキル、アカデミックスキルの獲得を目指す。
- ・学習に必要な問題解決能力やコミュニケーション能力を育成する。
- ・保健医療専門職に求められる多職種理解と連携・協働に向かう姿勢・態度を養う。

専門基礎科目群

専門基礎科目群は、臨床工学に必要な専門関連分野を系統的・体系的に理解するための科目群です。

目標：

- ・人体の生命現象における総合的な理解を深める。
- ・医療で応用される理工学的な基礎知識と技術を養う。
- ・医療機器の安全かつ適正使用のための基礎的知識を養う。

専門科目群

専門科目群は、多様な疾病や病態に沿った医療技術の提供に必要な知識と技術を系統的・体系的に理解するための科目群です。

目標：

- ・多様な疾病や病態に沿った医療技術を提供できる理論と実践力を養う。
- ・医療者としての高い倫理観を養う。
- ・臨床工学を生体医工学として追究するための問題意識と研究意識を養う。

医療技術学部 臨床工学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 4学年 | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|-----------------------|---------|-------|---------|---------------|---------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | CBa-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 教育学 | CBa-102 | 2 | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | コミュニケーション学入門 | CBa-103 | 1 | 演習 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ理論 | CBa-104 | 2 | 講義・演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | 健康スポーツ実技 | CBa-105 | 1 | 実技 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | CBb-101 | 2 | 講義 | 15 | 選択2単位+必修2単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 人間と宗教 | CBb-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 芸術 | CBb-103 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 哲学 | CBb-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | | |
| | | 生命倫理 | CBb-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 人間の生活及び社会の理解 | 法学(日本国憲法含む) | CBc-201 | 2 | 講義 | 15 | 選択2単位以上 | | 15 | | | | | | | |
| | | | 社会学 | CBc-202 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 生活文化と医療 | CBc-203 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 多文化理解 | CBc-101 | 2 | 講義 | 15 | 15 | | | | | | | | | | |
| | | 経済学 | CBc-102 | 2 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 地域ボランティア活動論 | CBc-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | |
| | | 群馬の探求 | CBc-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | CBd-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修3単位+選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | 基礎生物学 | CBd-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 生物学 | CBd-103 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎数学 | CBd-104 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 数学 | CBd-105 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎化学 | CBd-106 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 化学 | CBd-107 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎物理学 | CBd-108 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 物理学 | CBd-109 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学 | CBd-110 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 基礎統計学 | CBd-111 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | CBe-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修3単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | | 医療英語リーディング | CBe-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 英語会話 | CBe-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | | 医療英語会話 | CBe-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | CBe-301 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| 国際コミュニケーション英語 | | CBe-302 | 1 | 演習 | 15 | | | | | 15 | | 15 | | | | | |
| 初修外国語 | | 中国語 | CBf-101 | 1 | 演習 | 15 | 選択1単位以上 | 15 | | | | | | | | | |
| | | コリア語 | CBf-102 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | ドイツ語 | CBf-103 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| | | ポルトガル語 | CBf-104 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| サイエンス | メディア・リテラシー | CBg-101 | 1 | 演習 | 15 | 必修2単位以上 | 15 | | | | | | | | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | CBg-102 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・ロボットと社会 | CBg-103 | 1 | 演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | | | |
| | AI・プログラミング入門 | CBg-201 | 1 | 演習 | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| 共通基盤 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | CCh-101 | 1 | 講義 | 7.5 | 3単位 必修 | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | アカデミック・スキルズ | CCh-102 | 1 | 講義 | 7.5 | | 7.5 | | | | | | | | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | CCh-103 | 1 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| 計(卒業要件) | | | | | | | 22 | | | | | | | | | | |

医療技術学部 臨床工学科 教育課程 (2026年度入学者～)

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | |
|---------|--------------------------|------------|---------|----|------|-------|------------|------|------|------|-----|------|-----|------|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能 | 解剖学 | CFi-101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 生理学 | CFi-102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 生理学演習 | CFi-201 | 1 | | 演習 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | |
| | | 生化学 | CFi-103 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 基礎医学実習 | CFi-202 | 1 | | 実習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 臨床工学に必要な医学的基礎 | 医学概論 | CFj-101 | 1 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 公衆衛生学概論 | CFj-201 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 病理学 | CFj-102 | 1 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 病理学演習 | CFj-202 | 1 | | 演習 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 臨床生化学 | CFj-203 | 1 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床免疫学 | CFj-204 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 薬理学 | CFj-103 | 1 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 薬理学演習 | CFj-205 | 1 | | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | |
| | | チーム医療概論 | CFj-301 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | |
| | | 医療関係法規 | CFj-302 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | |
| | 臨床工学に必要な理工学的基礎 | 応用数学 | CFk-101 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用電気工学Ⅰ | CFk-102 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用電気工学Ⅱ | CFk-103 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用電気工学実習 | CFk-104 | 1 | | 実習 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用電子工学 | CFk-201 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 医用電子工学実習 | CFk-202 | 1 | | 実習 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | | 計測工学 | CFk-105 | 2 | | 講義 | 15 | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用超音波工学 | CFk-203 | 1 | | 講義 | 7.5 | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 放射線工学概論 | CFk-204 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | 医用機械工学 | CFk-205 | 2 | | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | |
| | 臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎 | 基礎工学実験 | CFk-106 | 1 | | 実験 | 22.5 | | 22.5 | | | | | | | |
| | | 医療情報処理工学 | CFl-201 | 2 | | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | |
| | | 医療情報処理工学実習 | CFl-301 | 1 | | 実習 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | システム工学 | CFl-302 | 2 | | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | |
| | | システム工学演習 | CFl-303 | 1 | | 実習 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | | 医用情報通信工学 | CFl-304 | 1 | | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | |
| | 計 (卒業要件) | | | | | | | 42 | | | | | | | | |

ナンバリング：区分コード

教養科目群

- 人と社会及び自然の理解
 a：心身の発達
 b：思想及び表現
 c：人間の生活及び社会の理解
 d：自然の原理及び環境

- 情報と言語の理解
 e：英語
 f：初修外国語
 g：データサイエンス

共通基盤科目群

- 大学の学びの基盤
 h：大学の学びの基盤

専門基礎科目群

- i：人体の構造と機能
 j：臨床工学に必要な医学的基礎
 k：臨床工学に必要な理工学的基礎
 l：臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎

専門科目群

- m：医用生体工学
 n：医用機器学及び臨床支援技術学
 o：生体機能代行技術学
 p：医療安全管理学
 q：関連臨床医学
 r：臨床実習
 s：臨床工学の探究
 t：学部共通
 u：卒業研究

| 区分 | 授業科目 | ナンバリング | 単位数 | | 授業形態 | 年間コマ数 | 履修方法及び卒業要件 | 1 学年 | | 2 学年 | | 3 学年 | | 4 学年 | | |
|-------------|--------------------|---------------|---------|----|-------|-------|----------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門科目群 | 医用生体工学 | 医用工学概論 | Csm-101 | 2 | 講義 | 15 | 必修63単位+選択3単位以上 | 15 | | | | | | | | |
| | | 人間工学 | Csm-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | 7.5 | | | | | | | |
| | | 生体物性工学 | Csm-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 医用材料工学 | Csm-302 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | 臨床支援技術学 医用機器学及び | 医用機器学概論 | CSn-101 | 1 | 講義 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 医用治療機器学 | CSn-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 医用治療機器学演習 | CSn-301 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 生体計測装置学 | CSn-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 生体計測装置学演習 | CSn-203 | 1 | 演習 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 臨床支援技術学 | CSn-302 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 臨床支援技術学実習 | CSn-303 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | 生体機能代行技術学 | 生体機能代行技術学（呼吸） | CSo-201 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 生体機能代行技術学（循環） | CSo-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 生体機能代行技術学（代謝） | CSo-203 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 呼吸療法技術学 | CSo-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 呼吸療法技術学実習 | CSo-302 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 体外循環技術学 | CSo-303 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 体外循環技術学実習 | CSo-304 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 血液浄化療法技術学 | CSo-305 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | 血液浄化療法技術学実習 | CSo-306 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | 15 | | | | |
| | 医療安全管理学 | 医用機器安全管理学Ⅰ | CSp-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 医用機器安全管理学Ⅱ | CSp-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 医用機器安全管理学実習 | CSp-301 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 生体計測装置学実習 | CSp-203 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 医用治療機器学実習 | CSp-302 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| | | 臨床工学関係法規 | CSp-303 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | 臨床医学 関連 | 臨床医学総論Ⅰ | CSq-201 | 2 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床医学総論Ⅱ | CSq-202 | 2 | 講義 | 15 | | | | | 15 | | | | | |
| | | 臨床医学総論Ⅲ | CSq-301 | 2 | 講義 | 15 | | | | | | 15 | | | | |
| | | 臨床医学総論Ⅳ | CSq-302 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | |
| | 臨床実習 | 総合実習 | CSr-401 | 1 | 実習 | 15 | | | | | | | | 15 | | |
| | | 臨床実習 | CSr-402 | 6 | 実習 | 6w | | | | | | | | | 6w | |
| | 臨床工学の探究 | 臨床工学への誘い | CSs-101 | 1 | 講義・演習 | 15 | | | 15 | | | | | | | |
| | | 臨床神経生理学 | CSs-201 | 1 | 講義 | 15 | | | | 15 | | | | | | |
| | | 臨床検査学総論 | CSs-202 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 救急救命医学 | CSs-301 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 臨床工学英文講読 | CSs-302 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 医用レーザ工学 | CSs-303 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | 7.5 | | | | |
| | | 臨床心理学 | CSs-203 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | 7.5 | | | | | |
| | | 医用画像処理工学 | CSs-304 | 1 | 講義 | 15 | | | | | | | 15 | | | |
| 医療安全工学 | | CSs-305 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | |
| 医工学研究セミナー | | CSs-306 | 1 | 講義 | 7.5 | | | | | | | 7.5 | | | | |
| 臨床工学総合演習Ⅰ | | CSs-307 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | 15 | 15 | | | | |
| 臨床工学総合演習Ⅱ | | CSs-401 | 2 | 演習 | 30 | | | | | | | | 30 | | | |
| 学部共通 | 医療技術学演習 | CSt-102 | 2 | 演習 | 15 | | 15 | | | | | | | | | |
| 卒業研究 | 卒業研究 | CSu-402 | 4 | 演習 | 60 | | | | | | | 30 | 30 | | | |
| 計（卒業要件） | | | | | | | 66 | | | | | | | | | |
| 卒業要件（最低）単位数 | | | | | | | 130 | | | | | | | | | |

3. 履修登録

学生は、その年次に開講される授業科目の中から各自履修する科目を選択し、以下の手順にそって履修登録を行います。履修登録をした科目でなければ、授業に出席しても単位を修得することはできません。また、所定の期日までに履修登録を行わなかった場合は、当該期間における履修の権利をすべて放棄したことになりますので十分注意してください。

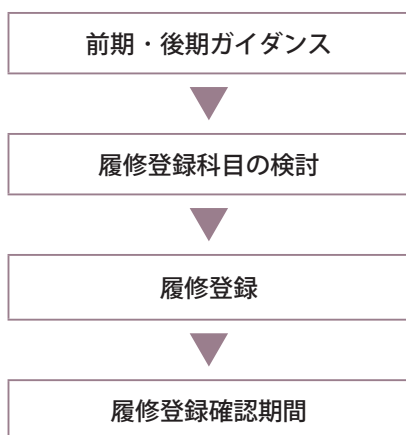
履修登録期間

前期開講科目及び通年開講科目は前期履修登録期間中に、後期開講科目は後期履修登録期間中に、集中講義科目は開講学期にそれぞれ履修登録を行ってください。

履修登録の手順

履修登録の手順は以下のとおりです。

【履修登録の流れ】



【学生の行動】

- 各学期開始前に「時間割」を受け取る。
- 「時間割」「シラバス」等を参考に履修登録科目を選択する。
- 所定の期日までに Active Academy Advance 上で履修する科目の登録を行う。
- Active Academy Advance 修学ポートフォリオ「履修情報」で履修登録科目が正確に登録されているか確認する。

履修登録上の注意

- ・履修登録は、各学期の定められた期間内に必ず学生本人が行ってください。
- ・同一時限に2科目以上の科目を重複して履修登録することはできません。
- ・既に単位を修得している科目の再履修はできません(留年者を除く)。
- ・履修登録確認期間後の追加、取消は一切認められません。
- ・休学期間中は履修登録を行うことはできません。
- ・既取得単位認定申請中の科目でも必ず履修登録を行ってください。
- ・4年間を見通し、単位不足にならないよう余裕をもって履修してください。
- ・GPA制度では、単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って、不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。また、途中で受講をやめたり、試験を放棄するとGPAが低下します(79ページ参照)。

既取得単位認定

短期大学を含む他大学での既取得単位のうち、本学教養科目群の中に対応する科目があり、教務委員会で認められた場合、本学の卒業に必要な単位として認定される場合があります。既取得単位の認定を希望する学生は、本学所定の「**単位認定申請書**」(様式第 3-6 号)に成績証明書及び科目の内容が判断できるもの(シラバス等)を添付し以下期間内に事務室へ提出してください。

【認定範囲】 教養科目群の中から合計 4 科目を上限とする

【申請期間】 1 年次前期履修登録期間

* ただし、理学療法学科または作業療法学科に在籍する学生で、既に理学療法士または作業療法士の国家資格を取得している学生については、上記以外の分野で単位を認める場合があります。希望者は上記履修登録期間内に事務室に相談してください。

CAP 制 (キャップ制/履修登録単位数の上限設定)

単位の修得に必要な学修時間を確保するため、学期ごとに登録できる総単位数の上限を設定する制度を CAP 制といいます。1 単位当たりに必要な 45 時間の学修時間を確保し、学修すべき授業科目を精選することで授業内容を真に身につけることを目的としています。本学では原則として年間に履修登録できる総単位数の上限を 48 単位と定めます。ただし、成績優秀者(前期 GPA が 3.50 以上の者)には後期の履修登録時に、定められた履修登録単位の上限以上の履修を認める場合があります。

なお、次の科目は CAP 制の対象とはなりません。

1. 集中講義科目
2. 臨地・臨床実習科目
3. 既取得単位認定科目

再履修

選択科目のうち、その年度に単位を修得できなかった科目について、次年度以降に再履修することができます。再履修を希望する学生は、当該科目の開講される履修登録期間中に「**再履修願**」を事務室へ提出してください。その場合、時間割上重複する科目は原則として再履修できませんが、単位認定者に「**単位認定緩和措置願**」(様式第 3-7 号)を提出し、単位認定者及び教務委員長がともに承認した場合のみ履修が認められます。

シラバス

シラバスとは授業計画のことであり、以下の内容が記載されています。

- ① 授業形態：講義・演習・実習等の区分
- ② 授業計画：回数、題目、内容、担当者
- ③ 科目の目的：その科目の目指す事柄や目的
- ④ 到達目標：到達を期待する目標
- ⑤ 「ディプロマ・ポリシー」キーワード：学位授与の方針とその科目との関連を表すキーワード
- ⑥ 関連科目：その科目と関連する科目
- ⑦ 成績評価方法・基準：成績評価の方法及び基準
- ⑧ 準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安：予習・復習等授業外の自己学習
- ⑨ 教科書・参考書：当該科目の教科書(購入すべきもの)及び教科書以外の参考書
- ⑩ オフィス・アワー：授業に関する質問等を受けるため教員が研究室等にいる時間帯等
- ⑪ 国家試験出題基準：資格ごとに割り当てられた国家試験出題基準の項目
- ⑫ 履修条件・履修上の注意：履修にあたっての注意事項等
- ⑬ アクティブ・ラーニングの実施：「アクティブ・ラーニング」を導入している場合、その具体的な内容
- ⑭ ナンバリング：学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示した区分
- ⑮ 実務経験のある教員による授業：実務経験がある教員が担当し、実践的教育を行う授業科目

履修を予定している科目の内容の事前確認はもちろんのこと、授業の進行状況、成績評価の方法・基準等、普段の学習にシラバスを活用しましょう。

Active Academy Advance

Active Academy Advance では、インターネットを利用して休講・補講情報や行事予定など大学から発信された情報をパソコンやスマートフォンで確認することができます。登下校時に大学の掲示板を確認するとともに、日頃から Active Academy Advance も確認し、最新の情報を得よう心掛けてください。

また、Active Academy Advance では、情報の確認以外にも履修登録や履修状況の確認、講義資料の事前受け取り、成績表の閲覧なども可能です。Active Academy Advance を積極的に活用することにより、みなさんが主体的に日々の学習活動に取り組めるようサポートすることを目的としています。

| 機能名称 | 内容 |
|---------------|---|
| 個人へのお知らせ・連絡事項 | 大学・教員からの連絡事項の確認 |
| 休補講情報 | 授業変更の確認（休講・補講・教室変更） |
| Web フォルダ | 授業や学生生活・就職等に関する情報の閲覧、各種届出用紙のダウンロード |
| 履修登録 | 履修科目の登録 |
| 講義資料取得 | 各授業科目について、事前配付資料がある場合はここからダウンロード |
| レポート提出 | 各授業科目について、課題（レポート等）が課される場合はここから内容を確認し、適宜作成した課題をアップロードして提出 |
| シラバス | シラバスの閲覧 |
| キャリア相談予約 | キャリア相談及び学生相談の予約 |
| 企業検索 | 求人票の検索 ※大学に届いている求人 |
| 授業評価アンケート | 「学生による授業アンケート」への回答 ※各学期に実施 |
| アンケート | その他アンケートへの回答 |
| プロフィール変更 | 学生自身の住所、電話番号、E-mail アドレスの変更 ※学生自身の氏名変更や保証人に関する変更は事務室での手続きが必要（14 ページ参照） |
| 修学ポートフォリオ | 学生自身の基本情報の確認、履修状況の確認、成績（修得単位・GPA 等）の確認、出席状況の確認 |

4. 授業

本学では1年を原則として前期と後期に分けて授業を行います。

前期(後期)開講科目 …… 前期(後期)15週で完結
通年開講科目 …………… 30週(前期15週・後期15週)で完結

授業時間

授業時間は1時限(1コマ)90分です。

| | |
|-------|-------------|
| I時限 | 9:00～10:30 |
| II時限 | 10:40～12:10 |
| III時限 | 13:00～14:30 |
| IV時限 | 14:40～16:10 |
| V時限 | 16:20～17:50 |

注) 定期試験、追試験・再試験及び臨地・臨床実習は、別に定める時間割・計画表に基づいて行われます。

欠席・遅刻・早退

原則として授業を欠席・遅刻・早退する(した)場合、事前または事後(当該事由が解消した日から1週間以内)に各自単位認定者に申し出てください。

次の場合、授業を欠席・遅刻・早退しても出席扱いになります(公欠)。ただし、いずれの場合も事前または事後(当該事由が解消した日から1週間以内)に「**欠席・遅刻・早退届**」(様式第3-1号)〈証明する書類を添付〉を事務室に提出した場合に限ります。

- ① 学校保健安全法に定める「学校において予防すべき感染症」に罹患し、出席停止となった場合〈**医師の診断書を添付**〉
※上記に定める感染症に罹患した場合は、速やかに健康管理センターが指定する報告フォームより連絡してください(21ページ参照)。
- ② 天災等の理由により、公共の交通機関が遅延して登校に支障があると本学が認めた場合〈**関係機関の証明書を添付**〉
- ③ 忌引きの場合〈**会葬礼状等証明する書類を添付**〉
※忌引きの範囲は次のとおりです。ただし、その起算日は原則亡くなった日の前日から告別式までの間とし、日数は土日祝日を含みます。

| | |
|------------------|-----|
| 父母 | 7日 |
| 配偶者、子供 | 10日 |
| 祖父母、兄弟姉妹 | 3日 |
| 伯叔父母、曾祖父母など(3親等) | 1日 |

- ④ 裁判員制度による裁判員(候補者)に選出され、裁判所に出頭する場合〈**裁判所からの通知書を添付**〉
- ⑤ その他学長が認めた行事等に参加する場合

※参加する行事等の内容がわかるものを持参し、事前に教務課まで相談してください。

なお、授業開始後30分以上の遅刻や、理由なき途中退席は「欠席」とみなします。また、遅刻は3回をもって1回の「欠席」扱いとします。

※全授業回数の3分の1以上を欠席した場合は、当該科目定期試験の受験資格が失われます(公欠の場合はこれに含まれません)。

休講・補講・教室変更

休講・補講及び教室変更についての連絡はActive Academy Advanceにて行います。なお、休講の連絡がないにもかかわらず、授業開始予定時間から30分を過ぎても授業が開始されない場合は、事務室に問い合わせて指示を受けてください。休講・補講などに関して電話等での問い合わせには一切応じられません。掲示板やActive Academy Advanceで確認してください。

学生による授業アンケート

「授業」は、みなさんが保健医療分野の専門職になるために身につけなければならない専門知識や技術を学ぶために、権利として保障されている大切なものです。その大切な「授業」の在り方を考えていくため、毎学期末に「学生による授業アンケート」を実施しています。アンケート結果は各担当教員や学科へ還元され、より良い授業となるよう教育改善に役立てられます。アンケートは、みなさんが授業を受けて感じたことを教員に伝える有効な手段ですので、ぜひ積極的に回答してください。

「学生による授業アンケート」は、毎学期末に Active Academy Advance を利用して実施します。回答時期・回答方法は別途お知らせします。

5. 試験

単位を認定するために、定期試験、授業内試験、レポート等の試験を行います。

定期試験

当該科目の終了後に実施される試験です。

(1) 受験資格

以下のいずれかに該当する場合は、定期試験を受験することができません

- ① 学生証 (または仮学生証) を所持しない場合
- ② 履修登録をしていない科目を受験しようとする場合
- ③ 全授業回数の 3 分の 1 以上を欠席した場合^{*}
- ④ 受験科目の試験開始時刻に遅れた場合
- ⑤ 追試験・再試験においては、所定の手続きをとっていない場合

^{*} 7.5 コマは 3 回、15 コマは 5 回、22.5 コマは 8 回、30 コマは 10 回、45 コマは 15 回の欠席で該当となります。

(2) 定期試験受験上の注意

定期試験受験に際しては、以下の注意事項を厳守してください

- ① 試験開始 5 分前までに試験会場の指定された場所に着席すること
- ② 筆記用具、時計、学生証または仮学生証以外のものは鞆にしまい椅子の下に置くこと (ノート類の持ち込みが許可されている場合を除く)
- ③ 試験中は学生証または仮学生証を常時机の上に置いておくこと
- ④ スマートフォン・携帯電話は電源を切りアラーム機能のついた時計は機能を切っておくこと
- ⑤ 原則として遅刻は認めない
- ⑥ 試験開始 30 分以後であれば退室を認めるが再入室はできない
- ⑦ 試験時間中に気分の不良等により退室したい場合は挙手し試験監督者の指示に従うこと
- ⑧ 終了の指示に従わないときは不正行為となるので指示に従うこと

追試験

定期試験の欠席理由がやむを得ない事由である場合、定められた期間内に所定の手続きを行うことにより追試験を願い出ることができます。追試験の受験を希望する場合は、事前または当該試験終了日から 2 日以内に「追・再試験願」にその理由を証明する書類を添え、事務室に提出してください。追試験の成績評価は原則として 79 点 (B) を上限とします。なお、公欠に該当する理由により定期試験を欠席した場合の追試験は「特別追試験」とし、追試験料を免除します。その場合の成績評価は 100 点 (A⁺) を上限とします。特別追試験の受験を希望する場合は、事前または当該試験終了日から 2 日以内に「欠席・遅刻・早退届」(様式第 3-1 号)にその理由を証明する書類を添え、事務室に提出してください。追試験・特別追試験いずれの手続きの場合も、定められた期間内に必ず本人が行ってください。期間内に提出できない場合は、その旨を教務課まで連絡してください。

●追試験を願い出ることができる理由

【特別追試験：公欠に該当する／追試験：公欠に該当しない】

| | 理由 | 必要書類 | 取扱い |
|---|--|-----------------------------|-------|
| 1 | 学校保健安全法による出席停止 (インフルエンザ、新型コロナウイルス等) | 医師の診断書等 ※健康管理センターが指定するもの | 特別追試験 |
| 2 | 忌引 (75 ページ記載) | 会葬礼状等 | 特別追試験 |
| 3 | 天災等の理由による交通機関の遅延 | 関係機関の証明書 | 特別追試験 |
| 4 | 裁判員制度による裁判所への出頭 | 裁判所からの通知書等 | 特別追試験 |
| 5 | 学長が認めた行事等に参加する場合 | 事由を証明できるもの | 特別追試験 |
| 6 | 上記 1 に該当しない病気やケガ 等 | 医師の診断書 | 追試験 |
| 7 | 事故など不測の事態 | 事由を証明できるもの | 追試験 |
| 8 | 就職試験 (説明会やガイダンスなどは除く) | 採用試験案内 等 | 追試験 |
| 9 | 資格取得 (学科に関係すると認められる重要な資格のみ) | 試験案内 等 | 追試験 |

※個人の不注意 (寝坊、試験時間の間違いなど) によって定期試験を受験できなかった場合、また上記 1～9 に該当する場合においても事由を証明できる書類等がない場合は追試験を願い出ることができません。

※上記 1～9 に該当する場合でも試験を受験した (途中退室も含む) 科目においては、追試験を願い出ることができません。

再試験 (定期試験等不合格の場合)

単位認定者が認めた場合に限り再試験を行います。再試験の受験を希望する場合は、証明書自動発行機にて「追・再試験願」の発行を受け、必要事項を記入の上事務室に提出してください。手続きは定められた期間内に必ず本人が行ってください。再試験の成績評価は 60 点 (C) を上限とします。

不正行為

試験に際して不正行為が発覚した場合は、当該科目と履修中の全ての科目が無効となります。また、厳重な処分が行われることがあります。

群馬パース大学履修規程より抜粋

(不正行為)

第 19 条 試験 (成績評価のために課す試験並びに課題に対する小論及び成果物等) に際し、不正行為を行った者に対して学則第 47 条に基づき懲戒処分を行う。

(1) 試験における不正行為とは、以下に該当する行為をいう。

- ① 代人に受験させる行為及びそれを幫助する行為
- ② 指定された以外の書籍・ノートなどを見る行為
- ③ 他人の答案を見る行為及び他人に答案を見せる行為
- ④ 通信機能を備えた電子機器及びその他の電子機器を使用する行為
- ⑤ 他人の受験を妨害する行為
- ⑥ その他、監督者の指示に従わず受験態度が不良であると認められる行為

(2) 不正行為の有無の判断は、試験中は試験監督者が、試験終了後は単位認定者が行い、不正行為が行われたと判断された場合は教務委員会に報告する。

(3) 不正行為を行った者に対する懲戒処分は、教授会の議を経て、学長が行う。懲戒処分及び基準は、次のとおりとする。

前項①に該当する行為を行った者……退学または無期停学

前項②～⑥に該当する行為を行った者……停学または訓告

(4) 懲戒処分を受けた者については、当該科目のほか当該学期に履修中の全ての科目を無効とする。

6. 単位認定

単位の認定は、シラバス「成績評価方法・基準」に準拠して行われます。成績の評価は以下の5段階に区別され、60点(C)以上を合格として単位が認定されます。59点以下(F)は不合格となり単位は認定されません。

| A ⁺ | A | B | C | F |
|----------------|--------|--------|--------|-------|
| 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点以下 |
| 合格(単位認定) | | | | 不合格 |

各授業科目の単位数は次の基準により計算します。

- 講義・演習 : 15時間から30時間までの範囲において1単位とする。
- 実験・実習・実技 : 30時間から45時間までの範囲において1単位とする。

成績評価に関する疑義照会

科目の成績評価に関して疑義がある場合、定められた期間内に「成績評価に関する疑義照会願(様式3-9)」を教務課に提出することにより、単位認定者に問い合わせることができます。

(1) 疑義照会の流れ

定期試験の結果に対する疑義照会は、当該科目の再試験日2日前までに「成績評価に関する疑義照会願(様式3-9)」を教務課に提出してください。なお、再試験を実施しない科目は、学事予定上の当該科目が開講された学期における追・再試験期間2日前(土・日曜、祝日を除く)を提出期限とします。

追・再試験の結果に対する疑義照会は、学事予定上の当該科目が開講された学期において前期は9月第2週の金曜日まで、後期は2月末日までに「成績評価に関する疑義照会願(様式3-9)」を教務課に提出してください。

疑義内容に応じて当該科目単位認定者が確認し、教務課を通じて照会結果を回答します。

(2) 疑義照会の対象

シラバスに示された「成績評価方法・基準」に照らして疑義がある場合や、採点に誤りもしくは不備があると思われる場合についての疑義を受け付けるものであり、授業担当教員に対して成績評価の再考・変更を求めたり、評価内容に関する不満を訴えたりするものではありません。

(3) 疑義照会に際しての注意事項

- ・シラバスに記載の「成績評価方法・基準」をよく確認してから申請してください。
- ・照会期間以外の疑義受付は認められませんので、必ず定められた期間内に成績確認を行ってください。
- ・申請は本人が教務課で行うものとし、代理申請は認めません。
- ・評価内容に関する不満等については受け付けません。

〈疑義照会の対象とならない例〉

- ・「進級・卒業できないと困るので成績を見直してほしい」など、個人の事情で成績評価の変更を求めるもの。
- ・「試験でうまくいかなかったと言っている友人が合格して私は不合格だった」など、他者との比較のみの理由によるもの。
- ・「授業も出席し、自分なりに努力したのに成績が低過ぎる」や「頑張ったのになぜ不合格なのか」など、自己評価のみを基準とした理由によるもの。

GPA 制度

成績通知書に成績評価指標として、GPA (グレード・ポイント・アベレージ) が付記されます。

GPA とは

履修科目の成績を 4 点から 0 点の GP (グレード・ポイント) に換算し、当該授業科目の単位数を掛け合わせ合計した数値を、履修登録した科目の合計単位数で割った数値のことです。GPA は、履修した科目 1 単位あたりの成績を数値で示していますので、「A+ が多い」、「C が少ない」というだけでなく成績を客観的に見ることができます。また、GPA は学習の質を評価する成績評価の国際標準となっています。合格した科目だけでなく、不合格や履修放棄した科目も GPA 算出対象となるため、履修登録や日々の学習に対して真剣に取り組むことが求められます。

GPA 算出基準

履修した科目の成績評価は 100 点満点で行います。点数を 5 段階に応じて科目毎に GP 評点を算出します。各 GP 及び成績評価は、履修した科目毎に到達目標をどの程度達成できたかを表しています。

| 成績評価 | GP | 評価基準 (点数) | 到達目標達成レベル |
|------|-----|-------------|------------------------|
| A+ | 4.0 | 100 点～ 90 点 | 到達目標をきわめて優秀なレベルで達成している |
| A | 3.0 | 89 点～ 80 点 | 到達目標を優秀なレベルで達成している |
| B | 2.0 | 79 点～ 70 点 | 到達目標の一定の水準に達している |
| C | 1.0 | 69 点～ 60 点 | 単位を認める最低限の水準には達している |
| F | 0 | 59 点～ 0 点 | 到達目標に達していない |

GPA 算出方法

GPA は、GPA 対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数に GP (4.0、3.0、2.0、1.0、0 のいずれか) をかけ、その合計ポイントをそれぞれの単位数の総和で割ります (小数点以下第 3 位切捨て)。

(例)

| 科目名 | 評定 | 単位数 | GP | | |
|----------|----|------|----|---------|------|
| ○○○○○概論 | A+ | 2 単位 | 4 | 2 × 4 = | 8 |
| △△△△△学 I | F | 1 単位 | 0 | 1 × 0 = | 0 |
| ◇◇◇◇◇演習 | B | 2 単位 | 2 | 2 × 2 = | 4 |
| 合計 | | 5 単位 | | | 12 点 |

$$\text{GPA} = 12 \text{ 点} \div 5 \text{ 単位} = 2.4$$

(この単位数↑には F: 不合格科目の単位数も含まれます)

GPA は、前期と後期の年間計 2 回算出します。また 4 年間の累計も算出します。

不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、各学期の GPA 及び通算の GPA はそれぞれの成績を対象として算出します。

他大学等で履修した科目の単位で、本学の履修科目として修得済みと認められた単位 (73 ページ参照) については GPA の対象とはなりません。

《注意》

GPA 制度では、単位を修得できなかった不合格科目 (F) も成績に加算されます。従って、不合格科目が多いとそれだけ GPA が低くなります。また、途中で受講をやめたり、試験を放棄したりすると GPA が低下します。

GPA 活用法

本学では、GPA 制度を導入し、以下の参考資料として活用しています。

- ① 学生の学習指導
- ② 高等教育の修学支援制度支援対象者要件に係る基準
- ③ 本学奨学制度の適用の継続にかかわる判定

《注意》

同一学年に 2 年以上在学し、かつ当該年次終了時の GPA が 1.00 未満の者に対し、各学科が個別指導を実施した上で修学に関する改善の見込みがないと判断した場合には、退学勧告を行います (進級要件を満たしている者は除く)。

7. 成績通知

前期の成績評価は10月までに、前期後期を合わせた成績評価（その学年の最終成績）は次年度の4月までに Active Academy Advance 修学ポートフォリオの「成績表」でお知らせします。また、保証人の方々へは、前期の成績評価は10月、前期後期を合わせた成績評価（その学年の最終成績）は5月に郵送します。

8. 進級

各学年の進級要件は、次に定めるとおりです。

《全学部共通》

| | 進級要件 | 在学期間の上限 |
|----------|-----------------|--|
| 1年次から2年次 | 1年次に必要な全単位の修得 | 同一学年に在学できる期間は、原則として2年とする（休学期間は含まず）。 ※履修規程第22条の2より |
| 2年次から3年次 | 2年次までに必要な全単位の修得 | |
| 3年次から4年次 | 3年次までに必要な全単位の修得 | |

*編入学、転入学、再入学者の在学期間の上限は学則第13条に示す範囲

9. 卒業

本学を卒業するためには、各学部学科の教育課程に定められている授業科目の分野ごとの卒業要件単位数以上を修得しなければなりません。

《看護学部》

| 分野 | 看護学科 |
|------------|------|
| 教養・共通基盤科目群 | 25 |
| 専門基礎科目群 | 22 |
| 専門科目群 | 77 |
| 卒業要件単位数 合計 | 124 |

《リハビリテーション学部》

| 分野 | 理学療法学科 | 作業療法学科 | 言語聴覚学科 |
|------------|--------|--------|--------|
| 教養・共通基盤科目群 | 26 | 29 | 30 |
| 専門基礎科目群 | 39 | 40 | 45 |
| 専門科目群 | 63 | 62 | 59 |
| 卒業要件単位数 合計 | 128 | 131 | 134 |

《医療技術学部》

| 分野 | 検査技術学科 | 放射線学科 | 臨床工学科 |
|------------|--------|-------|-------|
| 教養・共通基盤科目群 | 21 | 20 | 22 |
| 専門基礎科目群 | 22 | 32 | 42 |
| 専門科目群 | 87 | 78 | 66 |
| 卒業要件単位数 合計 | 130 | 130 | 130 |

※各分野内でさらに区分ごとの必要修得単位数が定められているので、学科ごとの教育課程を参照してください。

卒業に必要な単位を4年間で修得できない場合は在学期間を延長できますが、その場合通算して8年を超えて在学することはできません。

10. 学位

本学において所定の単位を修得し、卒業が認定されると以下の学位が与えられます。

《看護学部》

| 看護学科 |
|---------|
| 学士（看護学） |

《リハビリテーション学部》

| 理学療法学科 | 作業療法学科 | 言語聴覚学科 |
|-----------|-----------|-----------|
| 学士（理学療法学） | 学士（作業療法学） | 学士（言語聴覚学） |

《医療技術学部》

| 検査技術学科 | 放射線学科 | 臨床工学科 |
|-----------|----------|----------|
| 学士（臨床検査学） | 学士（放射線学） | 学士（臨床工学） |

11. 資格

本学において所定の単位を修得し、卒業すると以下の資格が与えられます。

《看護学部》

| 看護学科 | | |
|-------------|--|----------------------------|
| 看護師課程のみ | 保健師課程選択の場合 (定員 20 名) | 助産師課程選択の場合 (定員 6 名) |
| 看護師国家試験受験資格 | 看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 | 看護師国家試験受験資格 助産師国家試験受験資格 |
| | ※保健師課程及び助産師課程の志望者は、看護学科の卒業要件を満たすと同時に、各国家試験受験資格取得要件も満たさなければなりません。 | |

※保健師免許取得者は第一種衛生管理者免許と養護教諭二種免許状を申請により取得できます。

《看護学科 保健師課程の履修及び履修者の選考》

(1) 保健師課程の履修

保健師国家試験受験資格を取得するためには、必修科目の他に次に挙げる科目の単位を修得する必要があります。

[教養科目群]：健康スポーツ理論(2単位) 環境学(2単位) AI・データサイエンス・リテラシー(1単位)

[専門基礎科目群]：疫学(1単位) 保健統計(1単位) カウンセリング(1単位)

[専門科目群]：公衆衛生看護技術論(1単位) 成人・高齢者保健活動論(1単位) 親子保健活動論(1単位)

障害者・感染症の保健活動論(1単位) 学校・産業保健活動論(1単位)

個人・家族の公衆衛生看護技術演習(1単位) 集団・地域の公衆衛生看護技術演習(1単位)

公衆衛生看護活動展開論(1単位) 地域保健政策論(1単位) 事業化・施策化演習(2単位)

公衆衛生看護管理(1単位) 公衆衛生看護学実習(5単位)

このうち、専門科目群の9科目14単位(障害者・感染症の保健活動論、学校・産業保健活動論、個人・家族の公衆衛生看護技術演習、集団・地域の公衆衛生看護技術演習、公衆衛生看護活動展開論、地域保健政策論、事業化・施策化演習、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護学実習)については20名の履修定員枠を設けます。

【卒業要件を満たすために】

保健師課程履修者は、上記科目の他に、臨床心理学(2年次前期・1単位)の単位を修得する必要があります。

(2) 履修者の選考

定員枠のある科目を履修できる学生は、履修希望者の中から選考により決定します。選考は9科目を一括して行い、一部の科目のみの履修は認めません。選考の要領は次のとおりです。

1) 選考時期

3年次

2) 履修者の条件

- ①公衆衛生看護学に対する興味と高い学習意欲があること
- ②看護師国家試験と保健師国家試験を同時に受験することについて十分理解し、計画的に準備を進められること
- ③上記(1)のうち、選考時においてすでに開講済みの選択科目を全て履修していること

3) 応募方法

履修希望者は、指定された期日までに「履修願」を事務室へ提出してください。

4) 選考方法

次の事項を総合して選考します。

- ①面接試験 ②筆記試験
- ③既修科目の成績(望ましい水準:3年次前期までの通算 GPA が 2.30 以上)

《看護学科 助産師課程の履修及び履修者の選考》

(1) 助産師課程の履修

助産師国家試験受験資格を取得するためには、必修科目の他に次に挙げる科目の単位を修得する必要があります。なお、国家試験受験資格が認められるのは女子のみです(保健師助産師看護師法第1章総則第3条より)。

[専門科目群] : 親子保健活動論(1単位) 助産学概論(1単位) 母子と家族の心理・社会学(1単位)

助産基礎医学(1単位) 周産期診断学(1単位) 妊娠期助産診断技術学(1単位) 分娩期助産診断技術学(2単位)

産褥期助産診断技術学(1単位) 新生児・乳幼児期助産診断技術学(1単位) ハイリスク助産診断技術学(1単位)

助産診断技術学演習(2単位) ハイリスク助産診断技術学演習(1単位) 地域母子保健論(1単位)

助産管理(2単位) 助産学実習(11単位)

このうち、親子保健活動論(1単位)、助産学概論(1単位)、母子と家族の心理・社会学(1単位)を除く12科目25単位については6名の履修定員枠を設けます。

【卒業要件を満たすために】

助産師課程履修者は、上記科目の他に、臨床心理学(2年次前期・1単位)の単位を修得する必要があります。

(2) 履修者の選考

定員枠のある科目を履修できる学生は、履修希望者の中から選考により決定します。選考は12科目を一括して行い、一部科目のみの履修は認めません。選考の要領は次のとおりです。

1) 選考時期

3年次

2) 履修者の条件

- ①助産学に対する興味と高い学習意欲があること
- ②看護師国家試験と助産師国家試験を同時に受験することについて十分理解し、計画的に準備を進められること
- ③上記(1)のうち、選考時においてすでに開講済みの選択科目を全て履修していること

3) 応募方法

履修希望者は、指定された期日までに「履修願」を事務室へ提出してください。

4) 選考方法

次の事項を総合して選考します。

- ①面接試験 ②筆記試験
- ③既修科目の成績(望ましい水準:3年次前期までの通算 GPA が 2.30 以上)

《リハビリテーション学部》

理学療法学科

理学療法士国家試験受験資格

修得単位に応じて取得できる資格

- 公認初級/パラスポーツ指導員
以下科目の単位修得後、申請により取得が可能。
 - ・「障害者スポーツ・レクリエーション論」(1年前期)
 - ・「コミュニケーション学入門」(1年前期)
 - ・その他必修科目

作業療法学科

作業療法士国家試験受験資格

言語聴覚学科

言語聴覚士国家試験受験資格

《医療技術学部》

検査技術学科

臨床検査技師国家試験受験資格

修得単位に応じて取得できる資格

- 健康食品管理士 受験資格
- 遺伝子分析科学認定士(初級) 受験資格

放射線学科

診療放射線技師国家試験受験資格

臨床工学科

臨床工学技士国家試験受験資格

12. 臨地・臨床実習科目

臨地・臨床実習科目の履修条件

《看護学科》

(1) 臨地実習科目

臨地実習とは、「看護基礎実習」、「療養生活支援実習」、「臨床看護基盤実習」、「地域・在宅看護学実習」、「成人看護学実習」、「老年看護学実習」、「小児看護学実習」、「母性看護学実習」、「精神看護学実習」、「統合実習」、「公衆衛生看護学実習」、「助産学実習」のことをいいます。

(2) 臨地実習科目の履修条件

臨地実習科目を履修するためには、次の条件を満たしている必要があります。

- ・「看護基礎実習」の履修条件は1年次前期に開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ1年次後期に開講される専門科目群のうち基礎看護学区分の必修科目「看護学概論Ⅱ」、「コミュニケーション論」、「日常生活援助学演習Ⅰ」の単位を修得していること（「日常生活援助学演習Ⅱ」は除く）。
- ・「療養生活支援実習」の履修条件は1年次に開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ2年次前期に開講される専門科目のうち基礎看護学区分の必修科目（「ヘルスアセスメント」、「ヘルスアセスメント演習」、「看護過程論入門」、「看護過程展開論演習」）の単位を修得していること
- ・「臨床看護基盤実習」の履修条件は2年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得し、かつ2年次後期に開講される専門科目群の全ての必修科目（「治療援助学演習」、「地域・在宅看護展開論」、「慢性期看護論」、「高齢者の健康と障害」、「小児看護方法論」、「母性看護方法論」、「精神看護とリカバリー支援」、「臨床看護過程演習」）の単位を修得していること
- ・「地域・在宅看護学実習」、「成人看護学実習」、「老年看護学実習」、「小児看護学実習」、「母性看護学実習」、「精神看護学実習」の履修条件は、3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること
履修にあたっては、3年次前期までの学修における通算 GPA が 2.0 以上であることを望ましい水準としています。
- ・「統合実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること
- ・「公衆衛生看護学実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目及び保健師課程で履修を定める科目、4年次前期に開講される保健師課程で履修を定める科目（「障害者・感染症の保健活動論」「学校・産業保健活動論」「個人・家族の公衆衛生看護技術演習」「集団・地域の公衆衛生看護技術演習」「公衆衛生看護活動展開論」「地域保健政策論」「事業化・施策化演習」「公衆衛生看護管理」）の単位を修得していること
※「公衆衛生看護学実習」は保健師課程履修者のみ
- ・「助産学実習」の履修条件は、3年次までに開講される全ての必修科目及び助産師課程で履修を定める科目、4年次前期に開講される助産師課程で履修を定める科目（「助産基礎医学」「産褥期診断学」「妊娠期助産診断技術学」「分娩期助産診断技術学」「産褥期助産診断技術学」「新生児・乳幼児期助産診断技術学」「ハイリスク助産診断技術学」「助産診断技術学演習」「ハイリスク助産診断技術学演習」）の単位を修得していること
※「助産学実習」は助産師課程履修者のみ

《理学療法学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「評価学実習」、「地域理学療法実習」、「総合臨床実習Ⅰ」、「総合臨床実習Ⅱ」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

- ・臨床実習科目（見学実習を除く）を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。なお、「評価学実習」、「地域理学療法実習」を履修するためには、3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。また、「評価学実習」、「地域理学療法実習」の履修にあたっては、3年次前期までの学修における通算 GPA が 1.50 以上であり、かつ3年次前期の GPA が 1.20 以上であることを望ましい水準としています。

《作業療法学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「作業療法基礎実習Ⅰ」、「作業療法基礎実習Ⅱ」、「総合臨床実習Ⅰ」、「総合臨床実習Ⅱ」、「地域臨床実習」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

なお、2年次後期の「見学実習」を履修するためには、2年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を、3年次の「作業療法基礎実習Ⅰ」及び「作業療法基礎実習Ⅱ」を履修するためには、2年次後期までに開講される全ての必修科目の単位を、4年次後期の「地域臨床実習」を履修するためには、4年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を、それぞれ修得している必要があります。

《言語聴覚学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「見学実習」、「評価実習」、「総合臨床実習」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

- ・2年次後期の「見学実習」を履修するためには、2年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。
- ・3年次後期の「評価実習」を履修するためには、3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。
- ・4年次前期の「総合臨床実習」を履修するためには、3年次後期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

《検査技術学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「総合実習（臨床実習前技能評価）」「臨床実習」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、次の条件を満たしている必要があります。

- ・「総合実習（臨床実習前技能評価）」の履修条件は、当該科目を除く3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること。
- ・「臨床実習」の履修条件は、3年次前期までに開講される全ての必修科目の単位を修得していること。

《放射線学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「診療画像検査学臨床実習」、「放射線治療技術学臨床実習」、「核医学診療技術学臨床実習」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、当該科目前に開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

《臨床工学科》

(1) 臨床実習科目

臨床実習科目とは、「総合実習」「臨床実習」のことをいいます。

(2) 臨床実習科目の履修条件

臨床実習科目を履修するためには、3年次後期までに開講される全ての必修科目の単位を修得している必要があります。

臨地・臨床実習科目の単位認定

臨地・臨床実習では出席状況・実習態度・実習記録・課題や、臨地・臨床実習指導者による実習評価表等を総合して各単位認定者が成績評価を行います。各実習科目の具体的な成績評価方法・基準や臨地・臨床実習に関するその他詳細については、シラバス及び各学科「実習要項」で確認してください。

* 期間外実習

既定の期間内における実習で合格点に達しなかった場合や、やむを得ない事情等による欠席のため既定の実習期間内に実習を終了できなかった場合、各学科の判断により期間外での実習を認める場合があります。期間外実習はその理由により以下の3種別に分類され、手続き方法も異なります。期間外実習が認められた場合は、速やかに事務室にて手続きをとってください。

| 種別 | 内容 | 学生の手続き | 学生の実習料負担 |
|------|------------------------|--------|----------|
| 振替実習 | 学科・実習施設の判断で期間外に実習を行うとき | × | × |
| 追加実習 | 学生の公欠（注）により期間外に実習を行うとき | ○ | × |
| 再実習 | 学生の責により期間外に実習を行うとき | ○ | ○ |

（注）公欠の定義は「Ⅲ履修の手引き（75ページ）」にて定められているものとする。

振替実習

学科もしくは実習施設の判断で既定の実習が中止となり、中止になった分の実習を期間外に実施するものです。この場合、手続きや実習料の負担はありません。

* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用は学生の自己負担となります。

追加実習

公欠（75ページ参照）に該当する理由によって既定の実習を欠席した場合に、期間外に欠席した分の実習を行うものです。学生の実習料は免除されますが、「追加実習願」（様式第3-8号）（公欠理由を証明する書類の添付）を事務室に提出し手続きをとる必要があります。なお、何日間の欠席で追加実習を行うかは、各学科の判断となります。対象となった場合は「追加実習願」（様式第3-8号）を事務室に提出し手続きを行ってください。

* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用は学生の自己負担となります。

再実習

既定の実習で合格点に達しなかった場合や公欠以外の欠席（やむを得ない理由を含む）による不合格の場合、学科が認めた学生に限り期間外に再度実習を行うことがあります。再実習を行う場合は学生に再実習料の負担が発生しますので、対象となった場合は、証明書自動発行機にて「再実習願」（必要日数分の再実習料を納入）の発行を受け、必要事項を記入の上事務室へ提出して手続きを行ってください。

* 再実習料は1日につき1,500円となります（学内実習の場合も含む）。

* 実習料以外の、交通費やその他にかかる費用についても学生の自己負担となります。

* 再実習の日数は、教育効果等を考慮し、本人の責による欠席日数を上回る場合があります。

13. 留年者の履修

留年者は、留年した学年の単位未修得科目について履修することになります(留年した学年の既に修得した単位はそのまま有効となります)。なお、単位未修得科目以外の科目のうち、以下の場合について授業の出席その他を認めます。
※留年した場合は、原則として入学時における教育課程を履修することになります。

再履修

前年度未修得科目の他に既に単位を修得している科目を再履修することができます。再履修を希望する場合は「履修登録届」(別途配付)にて届け出てください。ただし、次の科目については再履修することができません。

- ・在籍学年以外の開講科目
- ・臨地・臨床実習科目

既に単位を修得している科目を再履修する場合、登録と同時に修得済みの単位は取り消されます。したがって、再履修した科目が不合格となった場合、単位は未修得となります。

聴講

既に単位を修得している科目のうち希望する科目について聴講することができます。聴講を希望する場合は「履修登録届」(別途配付)にて届け出てください。登録していない科目については聴講できません。また、別学年(下位学年)開講科目について、単位認定者が認めた場合に限り聴講することができます。別学年開講科目の聴講を希望する場合は「別学年科目聴講願」(別途配付)に必要事項を記入し、単位認定者の許可を得た上で事務室へ提出してください。聴講科目の単位認定試験の受験については単位認定者と相談してください。ただし、試験の結果は成績には反映されません。

学 則

IV

- 第1章 目的
- 第2章 自己点検・評価等
- 第3章 組織
- 第4章 学年・学期及び休業日
- 第5章 学部通則
- 第6章 改正、及び細則

IV 学則

(前 文)

本学の建学の意義は、地域社会の中で求められ続けてきた「質の高い保健医療サービス」の確立とその貢献にある。地域に存する本学では「人間愛・生命の尊厳と人間尊重とは何か」ということを共同生活を通して希求し、心身ともに調和のとれた有為な社会人を育成することを使命とする。さらに、大学教育がいかに臨床の現場で活かされるかによって計られるべき教育・研究の価値を常に認識させしめ、専門職教育における臨床との連携を重視し、実践的能力、判断力涵養の重要性を本学において教授し、保健医療の深遠を探求せしめるものである。

このような建学の主旨にもとづき、群馬パース大学学則を定める。

第1章 目的

(目 的)

第1条 群馬パース大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）の定めるところにより、豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的とする。

第2章 自己点検・評価等

(自己点検・評価等)

第2条 本学は、その教育研究水準の改善・向上を図り、前条に掲げる目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果について公表する。

- 前項の点検及び評価の結果について、一定期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（以下、「認証評価機関」という。）による評価を受けるものとする。
- 本学は、教育研究活動等の状況、自己点検・評価、認証評価機関の評価結果について、刊行物、広報活動等において、積極的に情報を提供するものとする。
- 本条第1項の点検及び評価に関する事項は別に定める。

第3章 組織

第1節 組織

(学 部)

第3条 本学に、次の学部及び学科を置く。

看護学部

看護学科

リハビリテーション学部

理学療法学科

作業療法学科

言語聴覚学科

医療技術学部

検査技術学科

放射線学科

臨床工学科

- 前項の各学科の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。
- 学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的については、別に定めるとおりとする。

(附属図書館)

第4条 本学に、附属図書館を置く。

- 附属図書館に関する規程は、別に定める。

(附属研究所)

第5条 本学に、附属研究所を置く。

- 附属研究所に関する規程は、別に定める。

第2節 職員組織

(教 員)

第6条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教及び助手（以下、「教員」という。）を置く。

- 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- 副学長は、学長の業務全般を補佐するとともに、学長の命を受けた担当業務を統括し、教育職員を指揮監督する。
- 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実

- 務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (4) 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (5) 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- (6) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有するものであって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (7) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 2 前項のほか、本学に学部長、学科長を置く。
- (1) 学部長は、当該学部に関する校務をつかさどる。
- (2) 学科長は、当該学科の学務を行う。
- 3 前第2項のほか、教養部長を置く。
- (1) 教養部長は、教養教育、初年次教育に関わる学務を行う。
- 4 本学に、名誉教授、特任教授、客員教授、客員准教授を置くことができる。

(事務職員)

- 第7条 本学に、事務局長を置く。
- 2 前項のほか、本学に事務職員、技術職員及びその他必要な職員を置く。

(教授会)

- 第8条 本学に教授会を置く。
- 2 教授会は、副学長、教授及び事務局長をもって構成する。
- 3 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、准教授、講師、助教、及び特任教授、客員教授、客員准教授、その他職員を加えることができる。
- 4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。
- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

- 5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 6 その他教授会に関する規程は、別に定める。

第4章 学年・学期及び休業日

(学年)

- 第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

- 第10条 学年を次の2学期に分ける。
- 前学期 4月1日から9月30日まで
- 後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第11条 休業日は、次のとおりとする。
- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日
11月30日
- (4) 夏季休業日
当該年間学事日程による
- (5) 冬季休業日
当該年間学事日程による
- (6) 春季休業日
当該年間学事日程による
- 2 前項に規定する休業日において、学長が必要と認めるときは、授業を行うことができる。必要がある場合は、学長は、前項の休業日を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第5章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

- 第12条 学部の修業年限は4年とする。

(最長在学年限)

第13条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、編入学、転入学及び再入学した学生は、その者の在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2節 入学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。
ただし、転入学及び再入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(入学の志願)

第16条 本大学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学誓約書、その他所定の書類を提出するとともに、別に定める入学金及び授業料を納付しなければならない。
2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に、教授会の議を経て入学を許可する。

(保証人)

第19条 入学にあたり保証人は1名を必要とし、原則として父母の何れかとする。父母のない場合はこれに準ずる者、又は成人で独立して生計を営む者で、授業料等の債務を確実に履行できる者でなければならない。
2 保証人に異動があった時は、直ちに学長に届け出なければならない。

(編入学)

第20条 学長は、本学に編入学を志願する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て相当する年次に入学を許可することができる。

(転入学・転学科)

第21条 学長は、他大学の学生で転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することができる。
2 学長は、本学の学生で、同一学部の他の学科へ転学科を希望する者があるときは、選考のうえ、教授会の議を経て転学科を許可することができる。

(再入学)

第22条 学長は、第42条の規定により退学した者が再入学を志願するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、教授会の議を経て入学を許可することができる。
2 再入学に関する規程は別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法等

(教育課程の編成方針)

第23条 本大学においては、学部及び学科等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。
2 教育課程の編成に当たっては、当該学部及び学科に係る専門の知識・技能を教授するとともに、広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう配慮する。
3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

(授業科目)

第24条 授業科目を分けて、教養科目群、共通基盤科目群、専門基礎科目群、専門科目群とする。授業科目及び単位数は別表第2のとおりとする。

(単位計算方法)

第25条 授業科目の単位計算方法は1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し授業の方法に応じ、次の基準により計算するものとする。
(1) 講義・演習については、15時間から30時間までの

範囲の授業をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究については学修の成果を評価して単位を授与することが適切であると認められる場合には、これに必要な時間数を考慮して1単位とする。

(授業期間)

第26条 1年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。

(履修届の提出)

第27条 学生は、学年の始めに履修しようとする授業科目について、指定の期日までに学長に届け出て、その承認を得なければならない。

(単位の授与)

第28条 本学は、授業科目を履修した場合には成績の評価を行い、合格者に対して、所定の単位を与える。

(試験の方法)

第29条 試験は、筆答（報告を含む。）又は口答によって行う。ただし、実習、実技、実験等は学修の成果を評価して行うことができる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第30条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該大学又は短期大学等の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について取得した単位については、教授会の議を経て、60単位を限度として卒業要件単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第31条 教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校等の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既取得単位等の認定)

第32条 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又

は短期大学において履修した授業科目について取得した単位（科目等履修により取得した単位を含む。）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(本学以外での履修の許可)

第33条 本学の学生が、本学以外の大学等で授業科目の履修を希望する場合は、学長の許可を得なければならない。

(本学以外で履修した科目及び単位の取り扱い)

第34条 本学以外で修得した科目の単位の取り扱いは別に定める。

(成績)

第35条 授業科目の試験の成績は、A⁺、A、B、C、F(不可)をもって表わし、C以上を合格とする。

(その他)

第36条 授業科目の履修方法等については別に定める。

第4節 休学・転学・留学及び退学

(休学)

第37条 疾病その他特別の理由により3ヵ月以上休学することができない者は、その理由を明らかにし、保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病による理由の場合には、医師の診断書を添付しなければならない。

3 疾病のため休学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学期間)

第38条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別な理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

- 第39条 休学期間の満了により復学するときは、学長に復学の届出をしなければならない。
- 2 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

- 第40条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

- 第41条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。
- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第12条に定める修業年限に算入することができる。
- 3 第30条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

- 第42条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

- 第43条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。
- (1) 授業料又は在籍料の納入を怠り、催促してもなお納入しない者
- (2) 第13条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第38条に規定する休学期間を超えてなお修学する見込みがない者
- (4) 死亡又は長期にわたり行方不明の者
- (5) 疾病その他の理由により成業の見込みがないと認められた者

第5節 卒業及び学位**(卒業)**

- 第44条 本学に4年以上在学し、別表第2に定める授業科目を履修し所定の単位を修得した者について、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学位記を授与する。

(学位授与)

- 第45条 学長は、前条の規定により、卒業を認定した者に次の学士の学位を授与する。

看護学部

| | |
|-------------|-----------|
| 看護学科 | 学士(看護学) |
| リハビリテーション学部 | |
| 理学療法学科 | 学士(理学療法学) |
| 作業療法学科 | 学士(作業療法学) |
| 言語聴覚学科 | 学士(言語聴覚学) |

医療技術学部

| | |
|--------|-----------|
| 検査技術学科 | 学士(臨床検査学) |
| 放射線学科 | 学士(放射線学) |
| 臨床工学科 | 学士(臨床工学) |

- 2 学位の授与に関し必要な事項は別に定める。

第6節 賞罰**(表彰)**

- 第46条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

- 第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、「群馬パース大学 学生の懲戒等に関する規程」に基づき、学長が懲戒する。

第7節 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生**(研究生)**

- 第48条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することができる。
- 2 研究生を志願することができる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は1年とする。ただし、特別の理由がある場合はその期間を更新することができる。

(科目等履修生)

- 第49条 本学の学生以外の者で、本学の一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することができる。

(聴講生)

- 第50条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する

者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて
選考のうえ聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生は学期ごとに入学を許可する。

(特別聴講学生)

第51条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

(外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入学し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生に対しては、第24条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

(その他)

第53条 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第8節 検定料、入学金及び授業料

(検定料、入学金及び授業料)

第54条 検定料、入学金及び授業料の額は「群馬パース大学 授業料等徴収に関する規程」の通りとする。

(授業料の納入)

第55条 授業料は、年額又は二分の一ずつを次の2期に分けて納入しなければならない。

| 区分 | 納期 |
|-----------------|------|
| 前期(4月から9月まで) | 4月中 |
| 後期(10月から翌年3月まで) | 10月中 |

(退学及び停学の場合の授業料)

第56条 前期又は後期の途中で退学し又は除籍された者の該当期の授業料は徴収する。

2 停学期間中の授業料は徴収する。

(休学の場合の在籍料)

第57条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学期間中の授業料を免除する。ただし、別に定める在籍料を納入しなければならない。

(科目等履修生等の授業料等)

第58条 科目等履修生及び特別聴講学生の検定料及び授業料については、別に定める。

(納入した授業料等)

第59条 納入した検定料、入学金及び授業料は返還しない。

第9節 公開講座

(公開講座)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関する事項については、別に定める。

第6章 改正、及び細則

(改正)

第61条 本学則の改正は、理事会が行う。

(細則その他)

第62条 本学則施行についての細則その他必要な事項は、別に定める。

附則

1. この学則は、平成17年5月1日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附則

1. この学則は、平成18年11月30日から施行する。ただし、第6条第1項3号から5号及び第4項の規定は、平成19年4月1日から施行する。

附則

1. この学則改正後の第44条第2項及び第45条第2項の規定は、平成20年12月4日から施行する。

2. この学則改正後の第15条第1項3号、第24条第1項、第44条第1項、第54条第1項の規定は、平成21年4月1日から施行する。

3. この学則改正後の第24条第1項、第44条第1項、第54条第1項の規定は、平成21年度入学生から適用し、平成20年度以前の入学生に対しては従前の規定による。ただし、別表第2、3に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認められた授業科目については、平成20年度以前の入学生に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附則

1. この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 24 年度入学生から適用し、平成 23 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認められた授業科目については、平成 23 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項、第 54 条第 1 項の規定は、平成 25 年度入学生から適用し、平成 24 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認められた授業科目については、平成 24 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 26 年度入学生から適用し、平成 25 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 3 に掲げる授業科目のうち、教授会が特に必要と認められた授業科目については、平成 25 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 54 条第 1 項の規定は、平成 27 年度入学生から適用し、平成 26 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 28 年度入学生から適用し、平成 27 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認められた授業科目については、平成 27 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 29 年度入学生から適用し、平成 28 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 2、3、4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認められた授業科目については、平成 28 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、平成 30 年度入学生から適用し、平成 29 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 4 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認められた授業科目については、平成 29 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条第 1 項、第 44 条第 1 項の規定は、2020 年度入学生から適用し、2019 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。ただし、別表第 3 に掲げる授業科目のうち、教授会の議を経て学長が特に必要と認められた授業科目については、2019 年度以前の入学者に対しても履修を認めることがある。

附則

1. この学則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 3 条、第 24 条、第 44 条第 1 項、第 45 条の規定は、2021 年度入学生から適用し、2020 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 3 条、第 24 条、第 44 条第 1 項、第 45 条の規定は、2022 年度入学生から適用し、2021 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。
2. この学則改正後の第 24 条、第 44 条第 1 項の規定は、2023 年度入学生から適用し、2022 年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2024年4月1日から施行する。

附則

1. この学則は、2025年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条、第44条第1項の規定は、2025年度入学生から適用し、2024年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

附則

1. この学則は、2026年4月1日から施行する。
2. この学則改正後の第24条、第44条第1項の規定は、2026年度入学生から適用し、2025年度以前の入学者に対しては従前の規定による。

別表第1 入学定員及び収容定員

| 学部・学科名 | 入学定員（人） | 収容定員（人） | 備考 |
|-------------|---------|---------|----|
| 看護学部 | | | |
| 看護学科 | 80 | 320 | |
| リハビリテーション学部 | | | |
| 理学療法学科 | 60 | 240 | |
| 作業療法学科 | 30 | 120 | |
| 言語聴覚学科 | 30 | 120 | |
| 医療技術学部 | | | |
| 検査技術学科 | 60 | 240 | |
| 放射線学科 | 70 | 280 | |
| 臨床工学科 | 50 | 200 | |
| 計 | 380 | 1,520 | |

別表第2 授業科目
看護学部 看護学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------------------------|-------------------|-----------------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 25 単位以上 |
| | | 教育学 | 2 | | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | | 1 | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | 2 | | |
| | | 社会学 | 2 | | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | | 1 | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | | 1 | |
| | | 基礎栄養学 | 1 | | |
| | | 基礎統計学 | 1 | | |
| | 英語 | 英語リーディング | | 1 | |
| | | 医療英語リーディング | 1 | | |
| | | 英語会話 | | 1 | |
| | | 医療英語会話 | 1 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | | 1 | |
| 国際コミュニケーション英語 | | | 1 | | |
| 初修外国語 | | | 1 | | |
| メディアサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | | 1 | | |
| | AI・ロボットと社会 | | 1 | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤 大学の 学びの 基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | | |
| | アカデミック・スキルズ | 1 | | | |
| | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------------|---------------------------|--------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門基礎科目群 | 疾病の成り立ちと回復の促進 人体の構造と機能 | 解剖学Ⅰ | 1 | | 16 単位以上 |
| | | 解剖学Ⅱ | 1 | | |
| | | 臨床解剖学 | | 1 | |
| | | 生理学Ⅰ | 1 | | |
| | | 生理学Ⅱ | 1 | | |
| | | 臨床生理学 | | 1 | |
| | | 生化学 | 1 | | |
| | | 病理学 | 1 | | |
| | | 薬理学 | 1 | | |
| | | 臨床薬理学 | | 1 | |
| | | 病態栄養学 | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅰ | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅱ | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅲ | 1 | | |
| | | 臨床病態学Ⅳ | 1 | | |
| | 免疫・感染症学 | 1 | | | |
| | 臨床検査学 | 1 | | | |
| | 発達心理学 | 1 | | | |
| | 臨床心理学 | | 1 | | |
| | 社会 健康支援と 社会保障制度 | 公衆衛生学 | 2 | | |
| 疫学 | | | 1 | | |
| 保健統計 | | | 1 | | |
| 社会福祉・社会保障制度論 | | 1 | | | |
| リハビリテーション概論 | | | 1 | | |
| カウンセリング | | | 1 | | |
| 地域保健行政 | 1 | | | | |
| 緩和医療学 | | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|---------|----------|-----------------|----|-----------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専門科目群 | 基礎看護学 | 看護学概論Ⅰ | 1 | |
| | | 看護学概論Ⅱ | 1 | |
| | | 基礎看護技術演習 | 1 | |
| | | コミュニケーション論 | 1 | |
| | | 日常生活援助学演習Ⅰ | 1 | |
| | | 日常生活援助学演習Ⅱ | 1 | |
| | | ヘルスアセスメント | 1 | |
| | | ヘルスアセスメント演習 | 1 | |
| | | 看護過程論入門 | 1 | |
| | | 看護過程展開論演習 | 1 | |
| | | 治療援助学演習 | 1 | |
| | | 基礎看護学特論 | | 1 |
| | 地域・在宅看護学 | 地域・在宅看護学総論 | 1 | |
| | | 地域・在宅看護方法論 | 1 | |
| | | 地域・在宅看護展開論 | 1 | |
| | | 地域・在宅看護学演習 | 1 | |
| | | 地域・在宅看護学特論 | | 1 |
| | 成人看護学 | 成人看護学総論 | 1 | |
| | | 成人看護方法論 | 1 | |
| | | 慢性期看護論 | 1 | |
| | | 周術期看護論 | 1 | |
| | | クリティカルケア看護論 | 1 | |
| | | 成人看護学演習 | 1 | |
| | | 救急看護 成人看護学特論 | | 1 1 |
| | 老年看護学 | 老年看護学総論 | 1 | |
| | | 老年看護方法論 | 1 | |
| | | 高齢者の健康と障害 | 1 | |
| | | 老年看護学演習 | 1 | |
| 老年看護学特論 | | | 1 | |
| 小児看護学 | 小児看護学総論 | 1 | | |
| | 小児看護方法論 | 1 | | |
| | 小児看護展開論 | 1 | | |
| | 小児看護学演習 | 1 | | |
| | 小児看護学特論 | | 1 | |
| 母性看護学 | 母性看護学総論 | 1 | | |
| | 母性看護方法論 | 1 | | |
| | 母性看護展開論 | 1 | | |
| | 母性看護学演習 | 1 | | |
| | 母性看護学特論 | | 1 | |
| 49 単位以上 | | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|-----------------|------------|------------------|----|-----------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専門科目群 | 精神看護学 | 精神看護学総論 | 1 | |
| | | 精神看護方法論 | 1 | |
| | | 精神看護とリカバリー支援 | 1 | |
| | | 精神看護学演習 | 1 | |
| | | 精神看護学特論 | | 1 |
| | 看護の統合と実践 | 看護学への誘い | 1 | |
| | | 国際看護論 | 1 | |
| | | 臨床看護過程演習 | 1 | |
| | | 災害看護論 | 1 | |
| | | 臨床看護管理学 | 1 | |
| | 公衆衛生看護学 | 公衆衛生看護学概論 | 2 | |
| | | 公衆衛生看護技術論 | | 1 |
| | | 成人・高齢者保健活動論 | | 1 |
| | | 親子保健活動論 | | 1 |
| | | 障害者・感染症の保健活動論 | | 1 |
| | | 学校・産業保健活動論 | | 1 |
| | | 個人・家族の公衆衛生看護技術演習 | | 1 |
| | | 集団・地域の公衆衛生看護技術演習 | | 1 |
| | | 公衆衛生看護活動展開論 | | 1 |
| | 地域保健政策論 | | 1 | |
| | 事業化・施策化演習 | | 2 | |
| | 公衆衛生看護管理 | | 1 | |
| | 助産学 | 助産学概論 | | 1 |
| | | 母子と家族の心理・社会学 | | 1 |
| | | 助産基礎医学 | | 1 |
| | | 周産期診断学 | | 1 |
| | | 妊娠期助産診断技術学 | | 1 |
| | | 分娩期助産診断技術学 | | 2 |
| 産褥期助産診断技術学 | | | 1 | |
| 新生児・乳幼児期助産診断技術学 | | | 1 | |
| ハイリスク助産診断技術学 | | | 1 | |
| 助産診断技術学演習 | | | 2 | |
| ハイリスク助産診断技術学演習 | | | 1 | |
| 地域母子保健論 | | 1 | | |
| 助産管理 | | 2 | | |
| 臨地実習 | 看護基礎実習 | 1 | | |
| | 療養生活支援実習 | 2 | | |
| | 臨床看護基盤実習 | 2 | | |
| | 地域・在宅看護学実習 | 2 | | |
| | 成人看護学実習 | 5 | | |
| | 老年看護学実習 | 3 | | |
| | 小児看護学実習 | 2 | | |
| | 母性看護学実習 | 2 | | |
| | 精神看護学実習 | 2 | | |
| | 統合実習 | 2 | | |
| | 公衆衛生看護学実習 | | 5 | |
| 助産学実習 | | 11 | | |
| 研究 | 看護研究概説 | 1 | | |
| | 卒業研究 | 4 | | |
| 23 単位以上 | | | | |
| 5 単位 | | | | |

リハビリテーション学部 理学療法学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-------------------|-------------------|-----------------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | 2 | | 26 単位以上 |
| | | 教育学 | | 2 | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | 1 | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | 1 | | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | 1 | | |
| 基礎栄養学 | | 1 | | | |
| 基礎統計学 | 1 | | | | |
| 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | 1 | | |
| | | 医療英語リーディング | 1 | | |
| | | 英語会話 | | 1 | |
| | | 医療英語会話 | 1 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | | 1 | |
| | 国際コミュニケーション英語 | | 1 | | |
| | 初修外国語 | 中国語 | | 1 | |
| | | コリア語 | | 1 | |
| | | ドイツ語 | | 1 | |
| | | ポルトガル語 | | 1 | |
| データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・ロボットと社会 | 1 | | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤 学部の 基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | | |
| | アカデミック・スキルズ | 1 | | | |
| | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-------------------------|---------------------|--------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び心身の発達 | 運動器解剖学 | 2 | | 16 単位以上 |
| | | 臓器解剖学 | 1 | | |
| | | 解剖学演習 | 1 | | |
| | | 表面解剖学と触診法 | 1 | | |
| | | 生理学Ⅰ | 2 | | |
| | | 生理学Ⅱ | 1 | | |
| | | 生理学演習 | 1 | | |
| | | 生化学 | 1 | | |
| | | 運動学 | 2 | | |
| | | 臨床運動学 | 2 | | |
| | | 運動学演習 | 1 | | |
| | | 人間発達学 | 1 | | |
| | | 生涯発達心理学 | | 2 | |
| | 学習・認知心理学 | | 2 | | |
| | 心理測定法 | | 2 | | |
| | 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 | 病理学 | 2 | | 17 単位 |
| | | 薬理学 | 1 | | |
| | | 臨床薬学 | 1 | | |
| | | 公衆衛生学 | 2 | | |
| | | 臨床検査・画像診断学演習 | 1 | | |
| 臨床医学関連領域論 | | 1 | | | |
| 内科学 | | 1 | | | |
| 整形外科学 | | 1 | | | |
| 神経内科学 | | 1 | | | |
| 精神医学 | | 1 | | | |
| 小児科学 | 1 | | | | |
| リハビリテーション医学 | 2 | | | | |
| 救急・免疫・感染症学 | 2 | | | | |
| リハビリテーションの理念 保健医療福祉と | リハビリテーション概論 | 1 | | 6 単位 | |
| | チーム医療とリハビリテーション | 1 | | | |
| | 臨床心理学 | 1 | | | |
| | 医療統計学 | 1 | | | |
| 社会福祉・地域サービス論 | 2 | | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-----------------------|--------------|-------------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専 門 科 目 群 | 基礎理学療法学 | 理学療法概論 | 2 | | 10 単位以上 |
| | | 障害と理学療法 | 2 | | |
| | | 理学療法総合演習 | 1 | | |
| | | 理学療法研究論 | 1 | | |
| | | 障害者スポーツ・レクリエーション論 | | 1 | |
| | | 生体計測工学 | 1 | | |
| | | 支援工学 | | 1 | |
| | | 国際理学療法学 | | 1 | |
| | | 行動科学とリハビリテーション | | 1 | |
| | | 事例研究法 | | 1 | |
| | | 理学療法研究演習 | 1 | | |
| | | 卒業研究 | | 1 | |
| | 理学療法管理学 | 理学療法管理学 | 1 | | 2 単位 |
| | | 安全管理 | 1 | | |
| | 理学療法評価学 | 理学療法診断学 | 1 | | 6 単位 |
| | | 基礎理学療法診断学演習 | 1 | | |
| | | 運動機能系理学療法診断学演習 | 1 | | |
| | | 神経機能系理学療法診断学演習 | 1 | | |
| | | 内部機能系理学療法診断学演習 | 1 | | |
| | | 高次脳機能評価学 | 1 | | |
| | 理学療法治療学 | 基礎運動療法 | 2 | | 21 単位以上 |
| 運動機能系理学療法治療学演習 | | 1 | | | |
| 脊髄疾患理学療法学 | | 1 | | | |
| 神経機能系理学療法治療学 | | 1 | | | |
| 神経機能系理学療法治療学演習 | | 1 | | | |
| 内部機能系理学療法治療学演習 | | 1 | | | |
| 身体活動学 | | 1 | | | |
| 発達支援理学療法学 | | 2 | | | |
| 理学療法関連領域論 | | 2 | | | |
| 物理療法学 | | 1 | | | |
| 物理療法学演習 | | 1 | | | |
| 義肢装具学 | | 1 | | | |
| スポーツ理学療法学 | | 1 | | | |
| 日常生活活動学 | | 1 | | | |
| 高齢者理学療法学演習 | | 1 | | | |
| リハビリテーション栄養学 | 1 | | | | |
| 福祉機器論 | | 1 | | | |
| 作業療法理論 | | 1 | | | |
| 災害保健学 | | 1 | | | |
| 地域理学療法学 | 地域理学療法学 | 1 | | 4 単位以上 | |
| | 地域リハビリテーション学 | 1 | | | |
| | 生活環境学 | 1 | | | |
| | 緩和医療学 | 1 | | | |
| | 国際保健学 | | 1 | | |
| 臨床実習 | 見学実習 | 1 | | 20 単位 | |
| | 評価学実習 | 4 | | | |
| | 地域理学療法実習 | 1 | | | |
| | 総合臨床実習 I | 7 | | | |
| | 総合臨床実習 II | 7 | | | |

リハビリテーション学部 作業療法学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|----------|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 29 単位以上 |
| | | 教育学 | 2 | | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | 1 | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | 2 | | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | 2 | | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | 2 | | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | | 1 | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | | 1 | |
| | | 基礎栄養学 | 1 | | |
| | 基礎統計学 | 1 | | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | 1 | |
| 医療英語リーディング | | | 1 | | |
| 英語会話 | | | | 1 | |
| 医療英語会話 | | | 1 | | |
| 英語アカデミックリーディング・ライティング | | | | 1 | |
| 国際コミュニケーション英語 | | | 1 | | |
| 初修外国語 | | 中国語 | | 1 | |
| | | コリア語 | | 1 | |
| | | ドイツ語 | | 1 | |
| | | ポルトガル語 | | 1 | |
| データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | | 1 | | |
| | AI・ロボットと社会 | 1 | | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤 科目群 | 大学の 学びの 基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | |
| | | アカデミック・スキルズ | 1 | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|---|---------------------|--------------|---------|-----------|---|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び心身の発達 | 運動器解剖学 | 2 | 16 単位以上 | |
| | | 臓器解剖学 | 1 | | |
| | | 解剖学演習 | 1 | | |
| | | 生理学Ⅰ | 2 | | |
| | | 生理学Ⅱ | 1 | | |
| | | 生理学演習 | 1 | | |
| | | 運動学 | 2 | | |
| | | 運動学演習 | 1 | | |
| | | 生化学 | 1 | | |
| | | 人間発達学 | 1 | | |
| | | 生涯発達心理学 | | | 2 |
| | | 学習・認知心理学 | | | 2 |
| | | 心理測定法 | | | 2 |
| | 行動科学とリハビリテーション | | 1 | | |
| | 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 | 病理学 | 2 | 1 | |
| | | 薬理学 | 1 | | |
| | | 臨床薬学 | | | |
| | | 公衆衛生学 | 2 | | |
| | | 臨床検査・画像診断学演習 | 1 | | |
| | | 臨床医学関連領域論 | 1 | | |
| 内科学 | | 1 | | | |
| リハビリテーションの理念 <small>保健医療福祉と リハビリテーションの理念</small> | 整形外科学 | 1 | 18 単位以上 | | |
| | 神経内科学 | 1 | | | |
| | 小児科学 | 1 | | | |
| | 精神医学Ⅰ | 1 | | | |
| | 精神医学Ⅱ | 1 | | | |
| | リハビリテーション医学 | 2 | | | |
| | 救急・免疫・感染症学 | 2 | | | |
| | 緩和医療学 | 1 | | | |
| | リハビリテーション概論 | 1 | | 6 単位 | |
| | チーム医療とリハビリテーション | 1 | | | |
| 臨床心理学 | 1 | | | | |
| 社会福祉・地域サービス論 | 2 | | | | |
| 医療統計学 | 1 | | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------------|--------------|--------------|----|-----------|-------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 基礎作業療法学 | 作業療法学概論 | 1 | | 6単位以上 |
| | | 基礎作業学 | 1 | | |
| | | 基礎作業学実習 | 1 | | |
| | | 生体計測工学 | | 1 | |
| | | 作業療法学研究法演習 | 1 | | |
| | | 事例研究法 | | 1 | |
| | | 卒業研究 | | 2 | |
| | 作業療法管理学 | 作業療法管理学Ⅰ | 1 | | 2単位 |
| | | 作業療法管理学Ⅱ | 1 | | |
| | 作業療法評価学 | 作業療法評価学 | 2 | | 5単位 |
| | | 作業療法評価学演習 | 1 | | |
| | | 作業療法評価学実習 | 1 | | |
| | | 作業療法総合評価演習 | 1 | | |
| | 作業療法治療学 | 身体領域の作業療法学 | 2 | | 19単位 |
| | | 身体領域の作業療法学実習 | 1 | | |
| | | 認知機能作業療法学 | 1 | | |
| | | 精神領域の作業療法学 | 2 | | |
| | | 精神領域の作業療法学実習 | 1 | | |
| | | 発達領域の作業療法学 | 1 | | |
| | | 発達領域の作業療法学演習 | 1 | | |
| | | 老年期の作業療法学 | 1 | | |
| | | 内部障害作業療法学 | 1 | | |
| | | 作業療法理論 | 1 | | |
| | | 作業療法リーズニング | 1 | | |
| | | 日常生活活動学 | 1 | | |
| | | 日常生活活動学実習 | 1 | | |
| | | 作業療法総合演習 | 1 | | |
| 就労支援技術論 | | 1 | | | |
| 生活環境学 | | 1 | | | |
| リハビリテーション栄養学 | 1 | | | | |
| 地域作業療法学 | 地域作業療法学 | 1 | | 5単位以上 | |
| | 福祉機器論 | | 1 | | |
| | 支援工学 | | 1 | | |
| | 国際保健学 | | 1 | | |
| | 災害保健学 | 1 | | | |
| | 地域リハビリテーション学 | 1 | | | |
| 臨床実習 | 見学実習 | 2 | | 25単位 | |
| | 作業療法基礎実習Ⅰ | 3 | | | |
| | 作業療法基礎実習Ⅱ | 3 | | | |
| | 総合臨地実習Ⅰ | 8 | | | |
| | 総合臨地実習Ⅱ | 8 | | | |
| | 地域臨地実習 | 1 | | | |

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|----------|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 30 単位以上 |
| | | 教育学 | | 2 | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | 2 | | |
| | | 健康スポーツ実技 | 1 | | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | | 1 | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | | 1 | |
| | 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | 1 | |
| 医療英語リーディング | | | 1 | | |
| 英語会話 | | | | 1 | |
| 医療英語会話 | | | 1 | | |
| 英語アカデミックリーディング・ライティング | | | | 1 | |
| 国際コミュニケーション英語 | | | 1 | | |
| 初修外国語 | | 中国語 | | 1 | |
| | | コリア語 | | 1 | |
| | | ドイツ語 | | 1 | |
| | | ポルトガル語 | | 1 | |
| データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・ロボットと社会 | | 1 | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤 | 大学の学びの基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | |
| | | アカデミック・スキルズ | 1 | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|-------------------|-----------------|--------------------|-------|-----------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専門基礎科目群 | 人体のしくみ・疾病と治療 | 解剖学総論 | 1 | 18 単位 |
| | | 口腔解剖学 | 1 | |
| | | 基礎生理学 | 1 | |
| | | 基礎病理学 | 1 | |
| | | 医療危機管理(窒息・誤嚥・吸引含む) | 1 | |
| | | 内科学 | 1 | |
| | | 小児科学 | 1 | |
| | | 精神医学 | 1 | |
| | | リハビリテーション医学 | 2 | |
| | | 言語聴覚障害関連領域実技実習 | 1 | |
| | | 耳鼻咽喉科学 | 1 | |
| | | 神経内科学 | 1 | |
| | | 形成外科学 | 1 | |
| | | 歯科・口腔外科学 | 1 | |
| | 口腔運動医学 | 1 | | |
| | 言語医学 | 1 | | |
| | 聴覚医学 | 1 | | |
| | 心の働き | 臨床心理学 | 1 | 7 単位 |
| | | 生涯発達心理学 | 2 | |
| | | 学習・認知心理学 | 2 | |
| 心理測定法 | | 2 | | |
| コミュニケーションと言語 | 言語学 | 2 | 9 単位 | |
| | 音声学 | 2 | | |
| | 音響音声学 | 2 | | |
| | 聴覚心理学 | 1 | | |
| | 言語発達学 | 2 | | |
| リハビリテーションと社会保障・教育 | リハビリテーション概論 | 1 | 11 単位 | |
| | AACと教材学 | 1 | | |
| | 臨床スキル論 | 1 | | |
| | チーム医療とリハビリテーション | 1 | | |
| | 社会福祉制度・関連法規 | 2 | | |
| | 地域リハビリテーション学 | 1 | | |
| 地域参加支援Ⅰ | 2 | | | |
| 地域参加支援Ⅱ | 2 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な 単位数 | |
|----------------|------------------|----------------|----|---------------|------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 障害学総論 言語聴覚 | 言語聴覚障害学概論 | 1 | | 3 単位 |
| | | 言語聴覚障害学診断学 | 1 | | |
| | | 地域参加支援総論 | 1 | | |
| | 地域言語聴覚療法 | 地域言語聴覚療法 | 2 | | 2 単位 |
| | 言語聴覚療法管理学 | 言語聴覚療法管理学Ⅰ | 1 | | 2 単位 |
| | | 言語聴覚療法管理学Ⅱ | 1 | | |
| | 機能障害学 失語・高次脳 | 失語症学 | 2 | | 7 単位 |
| | | 高次脳機能障害学 | 2 | | |
| | | 失語・高次脳機能障害評価法 | 2 | | |
| | | 失語・高次脳機能障害支援論 | 1 | | |
| | 障害学 言語発達 | 言語発達障害学 | 2 | | 5 単位 |
| | | 言語発達障害評価法 | 2 | | |
| | | 言語発達障害支援論 | 1 | | |
| | 摂食嚥下障害学 発声発語・ | 病理音声学 | 2 | | 9 単位 |
| | | 発声発語・摂食嚥下障害評価法 | 2 | | |
| | | 器質性・機能的発話障害支援論 | 1 | | |
| | | 運動性発話障害支援論 | 1 | | |
| 非流暢性発話・音声障害支援論 | | 1 | | | |
| 摂食嚥下障害支援論 | | 1 | | | |
| リハビリテーション栄養学 | | 1 | | | |
| 聴覚障害学 | 聴覚検査法 | 2 | | 6 単位 | |
| | 聴覚補償 | 2 | | | |
| | 先天性聴覚障害支援論 | 1 | | | |
| | 後天性聴覚障害支援論 | 1 | | | |
| 演習 | 聴覚障害演習 | 2 | | 10 単位 以上 | |
| | 運動系障害演習 | 2 | | | |
| | 言語系障害演習 | 2 | | | |
| | 小児系障害演習 | 2 | | | |
| | 言語聴覚総合演習 | | 2 | | |
| | 卒業研究 | | 2 | | |
| 臨床実習 | 見学実習 | 3 | | 15 単位 | |
| | 評価実習 | 5 | | | |
| | 総合臨床実習 | 7 | | | |

医療技術学部 検査技術学科

| 領域 | | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|-------------------|-------------------|-----------------------|-----|----|-----------|
| | | | 必修 | 選択 | |
| 教養科目目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 21 単位以上 |
| | | 教育学 | | 2 | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | | 1 | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | | 1 | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | | 1 | |
| | | 基礎栄養学 | | 1 | |
| | 基礎統計学 | | 1 | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語リーディング | 1 | | |
| | | 医療英語リーディング | 1 | | |
| | | 英語会話 | | 1 | |
| | | 医療英語会話 | 1 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | | 1 | |
| | | 国際コミュニケーション英語 | | 1 | |
| | | 中国語 | | 1 | |
| | | コリア語 | | 1 | |
| | | ドイツ語 | | 1 | |
| | | ポルトガル語 | | 1 | |
| | データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | |
| | | AI・データサイエンス・リテラシー | | 1 | |
| | | AI・ロボットと社会 | | 1 | |
| | | AI・プログラミング入門 | | 1 | |
| 共通基盤 学部の 基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | | |
| | アカデミック・スキルズ | 1 | | | |
| | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | | |

| 領域 | | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|----------|------------------|-------------|-----|----|-----------|
| | | | 必修 | 選択 | |
| 専門基礎科目目群 | 人体の構造と機能 | 解剖学 | 2 | | 22 単位 |
| | | 生理学 | 2 | | |
| | | 生化学 | 2 | | |
| | | 臨床栄養学 | 2 | | |
| | | 病理学 | 2 | | |
| | 臨床検査の基礎とその疾病との関連 | 病態薬理学 | 2 | | |
| | | 基礎臨床検査学 | 2 | | |
| | | 保健医療福祉と臨床検査 | 2 | | |
| | 医療工学及び医療情報 | 医学概論 | 2 | | |
| | | 公衆衛生学 | 2 | | |
| | 医療工学及び医療情報 | 医用電子工学 | 2 | | |
| | | 情報科学概論 | 1 | | |
| 検査機器総論 | | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------|------------------|------------------------|----|-----------|-------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 病態学 | 臨床検査医学Ⅰ | 2 | | 68 単位 |
| | | 臨床検査医学Ⅱ | 2 | | |
| | | 臨床検査解析学 (Reversed CPC) | 2 | | |
| | 血液学的検査 | 血液検査学 | 2 | | |
| | | 血液検査学演習 | 1 | | |
| | | 血液検査学実習 | 1 | | |
| | 病理学的検査 | 病理検査学 | 2 | | |
| | | 病理学演習 | 1 | | |
| | | 病理検査学実習 | 1 | | |
| | | 細胞診断学 | 1 | | |
| | 尿・糞便等一般検査 | 臨床検査学総論 | 1 | | |
| | | 臨床検査学総論実習 | 1 | | |
| | | 医動物学実習 | 1 | | |
| | 免疫学的検査 | 免疫検査学 | 2 | | |
| | | 免疫検査技術学演習 | 1 | | |
| | | 免疫検査技術学実習 | 1 | | |
| | | 臨床化学検査学 | 2 | | |
| | | 臨床化学検査学演習 | 1 | | |
| | | 臨床化学検査学実習 | 1 | | |
| | 遺伝子関連・染色体検査 | 遺伝子検査学 | 1 | | |
| | | 遺伝子検査学実習 | 1 | | |
| | 移植検査 | 基礎免疫学 | 2 | | |
| | | 輸血検査学 | 1 | | |
| | | 輸血検査学実習 | 1 | | |
| | 微生物学的検査 | 微生物検査学 | 2 | | |
| | | 微生物検査学演習 | 1 | | |
| | | 微生物検査学実習 | 2 | | |
| | | ウイルス検査学 | 1 | | |
| | 生理学的検査 | 生理機能検査学Ⅰ | 2 | | |
| | | 生理機能検査学Ⅱ | 2 | | |
| | | 生理機能検査学Ⅲ | 2 | | |
| | | 生理機能検査学Ⅳ | 2 | | |
| | | 生理機能検査学実習 | 2 | | |
| 総合臨床管理 | 関係法規 | 1 | | | |
| | 検査管理総論 | 2 | | | |
| | 検査管理演習 | 1 | | | |
| | 医療統計学 | 2 | | | |
| 医療安全管理 | 医療安全管理学演習 | 2 | | | |
| | 総合実習 (臨地実習前技能評価) | 1 | | | |
| 臨地実習 | 臨地実習 | 11 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-------|-----------|---------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 検査技術科学の探究 | 基礎発生工学 | 1 | | 19 単位以上 |
| | | 生殖医療技術学 | 1 | | |
| | | 臨床検査学総合演習Ⅰ | 2 | | |
| | | 臨床検査学総合演習Ⅱ | 2 | | |
| | | ピットフォール解析学 | 1 | | |
| | | 電気泳動分析病態解析学 | 1 | | |
| | | 大学の学び－専門への誘い－ | 1 | | |
| | | 健康食品学 | | 2 | |
| | | 遺伝子分析学 | | 2 | |
| | | フローサイトメトリー演習 | | 1 | |
| | | 質量分析法演習 | | 1 | |
| | | 自動分析法演習 | | 1 | |
| | | 基礎医学研究法 | | 1 | |
| | | 臨床検査学研究法 | | 1 | |
| | | 生殖補助医療学研究法 | | 1 | |
| | 学部共通 | 医療技術学演習 | 2 | | |
| | 卒業研究 | 卒業研究 | 4 | | |

医療技術学部 放射線学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|---------------|-------------------|-----------------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 20 単位以上 |
| | | 教育学 | | 2 | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | | 1 | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | | 1 | |
| | | 数学 | 1 | | |
| | | 基礎化学 | | 1 | |
| | | 化学 | | 1 | |
| | | 基礎物理学 | | 1 | |
| | | 物理学 | 1 | | |
| | | 基礎栄養学 | | 1 | |
| | 基礎統計学 | | 1 | | |
| | 情報と言語の理解 | 英語リーディング | 1 | | |
| | | 医療英語リーディング | | 1 | |
| | | 英語会話 | | 1 | |
| | | 医療英語会話 | 1 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | | 1 | |
| 国際コミュニケーション英語 | | | 1 | | |
| 中国語 | | | 1 | | |
| 初修外国語 | | 1 | | | |
| 韓国語 | | 1 | | | |
| ドイツ語 | | 1 | | | |
| ポルトガル語 | | 1 | | | |
| データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | | 1 | | |
| | AI・ロボットと社会 | | 1 | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤科目群 | 大学の学びの | | | | |
| | スタディ・スキルズ | 1 | | | |
| | アカデミック・スキルズ | 1 | | | |
| | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-------------|------------------------------|------------|----|-----------|-------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち | 解剖学 | | 2 | 32 単位 |
| | | 生理学 | | 2 | |
| | | 病理学 | | 1 | |
| | | 薬理学 | | 2 | |
| | | 生化学 | | 2 | |
| | | 公衆衛生学概論 | | 1 | |
| | | 内科学 | | 1 | |
| | | 看護学概論 | | 1 | |
| | | 臨床心理学 | | 1 | |
| | | 放射線医療学概論 | 2 | | |
| | 保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術 | 医用工学 I | | 2 | |
| | | 医用工学 II | | 1 | |
| | | 放射線物理学 I | | 2 | |
| | | 放射線物理学 II | | 2 | |
| | | 放射線物理学 III | | 1 | |
| | | 放射線生物学 I | | 2 | |
| | | 放射線生物学 II | | 1 | |
| | | 放射線計測学 I | | 2 | |
| | | 放射線計測学 II | | 1 | |
| | | 放射化学 | | 2 | |
| 理工学・放射線科学実験 | | 1 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------------|---------------|------------------------|----|-----------|------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 診療画像技術学・臨床画像学 | 診療画像解剖学Ⅰ(単純・造影) | 1 | | 64単位 |
| | | 診療画像解剖学Ⅱ(造影・CT・MRI・US) | 1 | | |
| | | X線撮影機器学Ⅰ(X線装置) | 2 | | |
| | | X線撮影機器学Ⅱ(他画像診断装置) | 1 | | |
| | | X線撮影技術学Ⅰ(単純) | 2 | | |
| | | X線撮影技術学Ⅱ(造影・特殊) | 2 | | |
| | | 医療X線CT工学 | 1 | | |
| | | 医療磁気共鳴論 | 2 | | |
| | | CT・MRI検査学 | 2 | | |
| | | 超音波機器学 | 1 | | |
| | | 超音波検査学 | 2 | | |
| | | 診療画像検査学特論 | 1 | | |
| | | 診療画像検査学実習 | 1 | | |
| | | 診療画像機器学実習 | 1 | | |
| | 核医学検査技術学 | 核医学検査技術学Ⅰ | 2 | | |
| | | 核医学検査技術学Ⅱ | 2 | | |
| | | 核医学機器工学 | 2 | | |
| | | 核医学・放射線治療技術学実習 | 1 | | |
| | 放射線治療技術学 | 放射線治療技術学Ⅰ | 2 | | |
| | | 放射線治療技術学Ⅱ | 2 | | |
| | | 放射線治療機器工学 | 2 | | |
| | | 放射線腫瘍学 | 2 | | |
| | 医療画像情報学 | 医療画像情報学Ⅰ | 2 | | |
| | | 医療画像情報学Ⅱ | 2 | | |
| | | 放射線情報・画像工学 | 2 | | |
| | | 医療画像情報学実習 | 1 | | |
| | 放射線安全管理学 | 放射線安全管理学 | 2 | | |
| | | 放射線関係法規 | 2 | | |
| | 医療安全管理学 | 医療安全管理学Ⅰ | 1 | | |
| | | 医療安全管理学Ⅱ | 1 | | |
| | 実践臨床画像学 | 画像診断学Ⅰ | 2 | | |
| | | 画像診断学Ⅱ(救急医療) | 1 | | |
| | 臨床実習 | 診療放射線学直前実習 | 1 | | |
| 診療画像検査学臨床実習 | | 8 | | | |
| 放射線治療技術学臨床実習 | | 2 | | | |
| 核医学診療技術学臨床実習 | | 2 | | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-----------|-----------|--------------|------------|-----------|--------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門科目群 | 診療放射線学の探究 | 診療放射線学基礎演習 | 1 | | 14単位以上 |
| | | 診療放射線学総合演習Ⅰ | 1 | | |
| | | 診療放射線学総合演習Ⅱ | 4 | | |
| | | 放射線防護学 | | 1 | |
| | | 放射線取扱主任者準備講座 | | 1 | |
| | | 医療情報技師準備講座 | | 1 | |
| | | 放射線研究方法論 | | 2 | |
| | | 放射線医療統計学 | | 2 | |
| | 学部共通 | 医療技術学演習 | 2 | | |
| | | 総合領域 | 診療放射線技術と研究 | 1 | |
| | 診療放射線学研究Ⅰ | | 1 | | |
| 診療放射線学研究Ⅱ | 2 | | | | |

医療技術学部 臨床工学科

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|-------------|-------------------|-----------------------|----|-----------|---------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 教養科目群 | 心身の発達 | 心理学入門 | | 2 | 22 単位以上 |
| | | 教育学 | | 2 | |
| | | コミュニケーション学入門 | | 1 | |
| | | 健康スポーツ理論 | | 2 | |
| | | 健康スポーツ実技 | | 1 | |
| | 思想及び表現 | 文学 | | 2 | |
| | | 人間と宗教 | | 2 | |
| | | 芸術 | | 2 | |
| | | 哲学 | | 2 | |
| | | 生命倫理 | 2 | | |
| | 人と社会及び自然の理解 | 法学(日本国憲法含む) | | 2 | |
| | | 社会学 | | 2 | |
| | | 生活文化と医療 | | 2 | |
| | | 多文化理解 | | 2 | |
| | | 経済学 | | 2 | |
| | | 地域ボランティア活動論 | | 1 | |
| | | 群馬の探求 | | 1 | |
| | 自然の原理及び環境 | 環境学 | | 2 | |
| | | 基礎生物学 | | 1 | |
| | | 生物学 | | 1 | |
| | | 基礎数学 | 1 | | |
| | | 数学 | | 1 | |
| | | 基礎化学 | 1 | | |
| 化学 | | | 1 | | |
| 基礎物理学 | | 1 | | | |
| 物理学 | | | 1 | | |
| 基礎栄養学 | | | 1 | | |
| 基礎統計学 | | 1 | | | |
| 情報と言語の理解 | 英語 | 英語リーディング | 1 | | |
| | | 医療英語リーディング | 1 | | |
| | | 英語会話 | | 1 | |
| | | 医療英語会話 | 1 | | |
| | | 英語アカデミックリーディング・ライティング | | 1 | |
| | 国際コミュニケーション英語 | | 1 | | |
| | 初修外国語 | 中国語 | | 1 | |
| | | ロシア語 | | 1 | |
| | | ドイツ語 | | 1 | |
| | | ポルトガル語 | | 1 | |
| データサイエンス | メディア・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・データサイエンス・リテラシー | 1 | | | |
| | AI・ロボットと社会 | | 1 | | |
| | AI・プログラミング入門 | | 1 | | |
| 共通基盤 科目群 | 大学の学びの 基盤 | スタディ・スキルズ | 1 | | |
| | | アカデミック・スキルズ | 1 | | |
| | | 多職種理解と医療コミュニケーション | 1 | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 | |
|--------------------------|----------------|----------|----|-----------|-------|
| | | 必修 | 選択 | | |
| 専門基礎科目群 | 人体の構造と機能 | 解剖学 | 2 | | 42 単位 |
| | | 生理学 | 2 | | |
| | | 生理学演習 | 1 | | |
| | | 生化学 | 2 | | |
| | | 基礎医学実習 | 1 | | |
| | | 医学概論 | 1 | | |
| | 臨床工学に必要な医学的基礎 | 公衆衛生学概論 | 1 | | |
| | | 病理学 | 1 | | |
| | | 病理学演習 | 1 | | |
| | | 臨床生化学 | 1 | | |
| | | 臨床免疫学 | 1 | | |
| | | 薬理学 | 1 | | |
| | | 薬理学演習 | 1 | | |
| | | チーム医療概論 | 1 | | |
| | 医療関係法規 | 1 | | | |
| | 臨床工学に必要な理工学的基礎 | 応用数学 | 2 | | |
| | | 医用電気工学Ⅰ | 2 | | |
| | | 医用電気工学Ⅱ | 2 | | |
| | | 医用電気工学実習 | 1 | | |
| | | 医用電子工学 | 2 | | |
| | | 医用電子工学実習 | 1 | | |
| | | 計測工学 | 2 | | |
| | | 医用超音波工学 | 1 | | |
| 放射線工学概論 | | 1 | | | |
| 医用機械工学 | | 2 | | | |
| 基礎工学実験 | 1 | | | | |
| 臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎 | 医療情報処理工学 | 2 | | | |
| | 医療情報処理工学実習 | 1 | | | |
| | システム工学 | 2 | | | |
| | システム工学演習 | 1 | | | |
| | | 医用情報通信工学 | 1 | | |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|-------|----------------|-------------|---------------|-----------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専門科目群 | 医用生体工学 | 医用工学概論 | 2 | |
| | | 人間工学 | 1 | |
| | | 生体物性工学 | 2 | |
| | | 医用材料工学 | 2 | |
| | 臨床機器学及び臨床支援技術学 | 医用機器学概論 | 1 | |
| | | 医用治療機器学 | 2 | |
| | | 医用治療機器学演習 | 1 | |
| | | 生体計測装置学 | 2 | |
| | | 生体計測装置学演習 | 1 | |
| | | 臨床支援技術学 | 2 | |
| | | 臨床支援技術学実習 | 1 | |
| | | 生体機能代行技術学 | 生体機能代行技術学(呼吸) | 1 |
| | 生体機能代行技術学(循環) | | 1 | |
| | 生体機能代行技術学(代謝) | | 1 | |
| | 呼吸療法技術学 | | 2 | |
| | 呼吸療法技術学実習 | | 1 | |
| | 体外循環技術学 | | 2 | |
| | 体外循環技術学実習 | | 1 | |
| | 血液浄化療法技術学 | | 2 | |
| | 血液浄化療法技術学実習 | 1 | | |
| | 医療安全管理学 | 医用機器安全管理学Ⅰ | 2 | |
| | | 医用機器安全管理学Ⅱ | 2 | |
| | | 医用機器安全管理学実習 | 1 | |
| | | 生体計測装置学実習 | 1 | |
| | | 医用治療機器学実習 | 1 | |
| | 臨床工学関係法規 | 1 | | |
| | 関連臨床医学 | 臨床医学総論Ⅰ | 2 | |
| | | 臨床医学総論Ⅱ | 2 | |
| | | 臨床医学総論Ⅲ | 2 | |
| | | 臨床医学総論Ⅳ | 1 | |
| | 臨床実習 | 総合実習 | 1 | |
| 臨床実習 | | 6 | | |
| | | | | 51 単位 |

| 領域 | 授業科目 | 単位数 | | 卒業に必要な単位数 |
|-------|---------|-----------|----|-----------|
| | | 必修 | 選択 | |
| 専門科目群 | 臨床工学の探究 | 臨床工学への誘い | 1 | |
| | | 臨床神経生理学 | | 1 |
| | | 臨床検査学総論 | | 1 |
| | | 救急救命医学 | | 1 |
| | | 臨床工学英文講読 | | 1 |
| | | 医用レーザー工学 | | 1 |
| | | 臨床心理学 | | 1 |
| | | 医用画像処理工学 | | 1 |
| | | 医療安全工学 | | 1 |
| | | 医工学研究セミナー | 1 | |
| | | 臨床工学総合演習Ⅰ | 2 | |
| | | 臨床工学総合演習Ⅱ | 2 | |
| | 学部共通 | 医療技術学演習 | 2 | |
| | 卒業研究 | 卒業研究 | 4 | |
| | | | | 15 単位以上 |

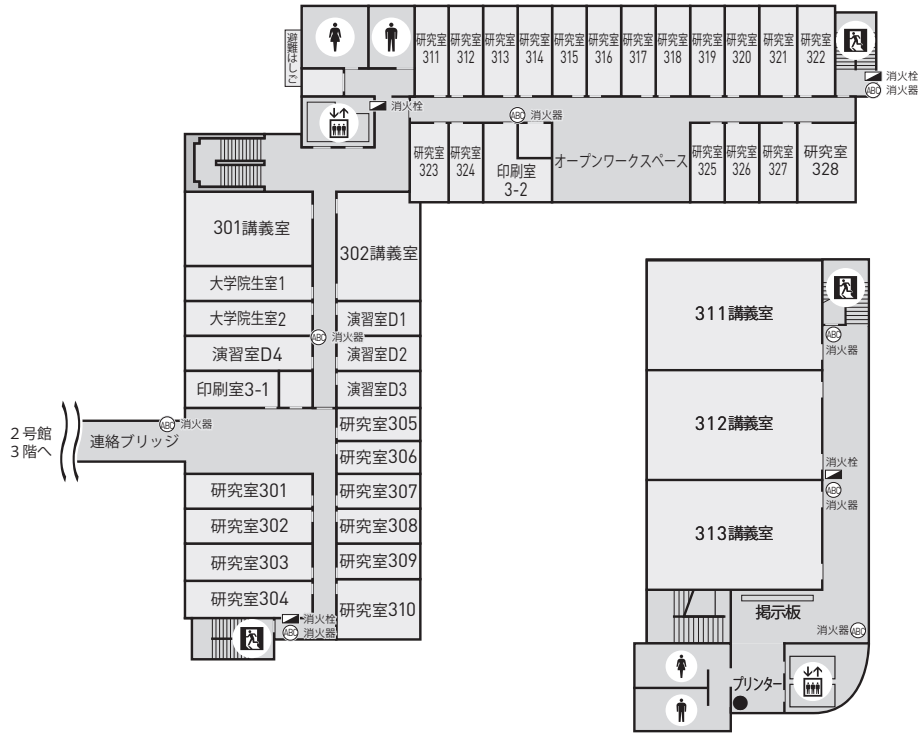
校舎案内

V

- 1号館 【看護学科・理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚学科・
図書館棟】
- 2号館 【検査技術学科棟】
- 3号館 【体育棟】
- 4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】
- 5号館 【学生支援センター・健康管理センター・国際交流センター・
地域連携センター・看護実践教育センター・学生専用マンション】

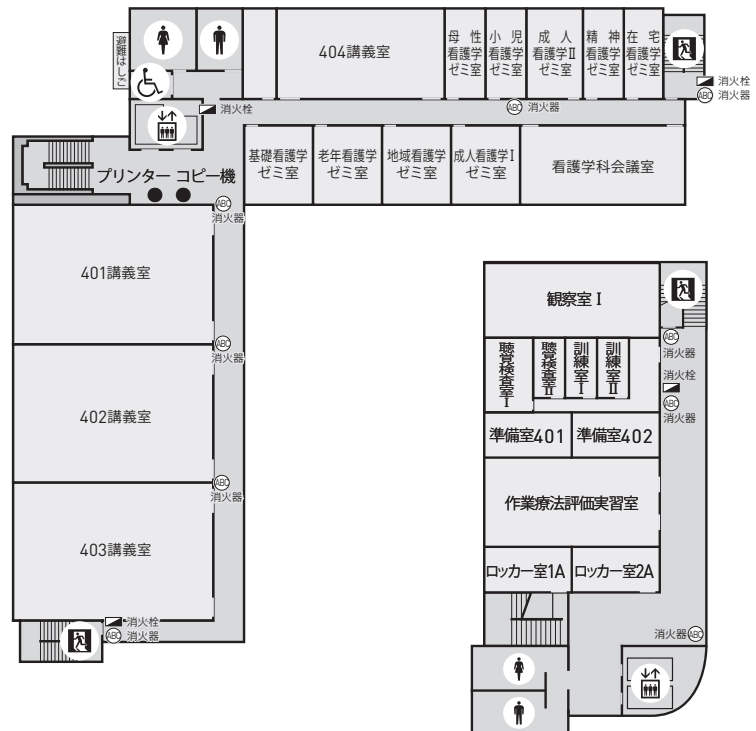
1号館

3F



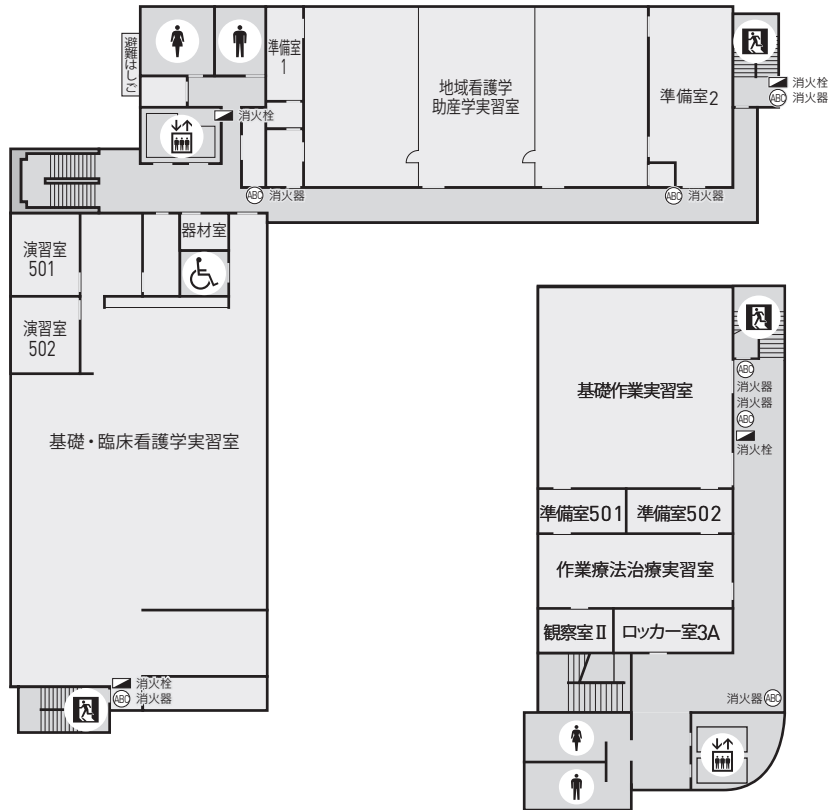
1号館

4F



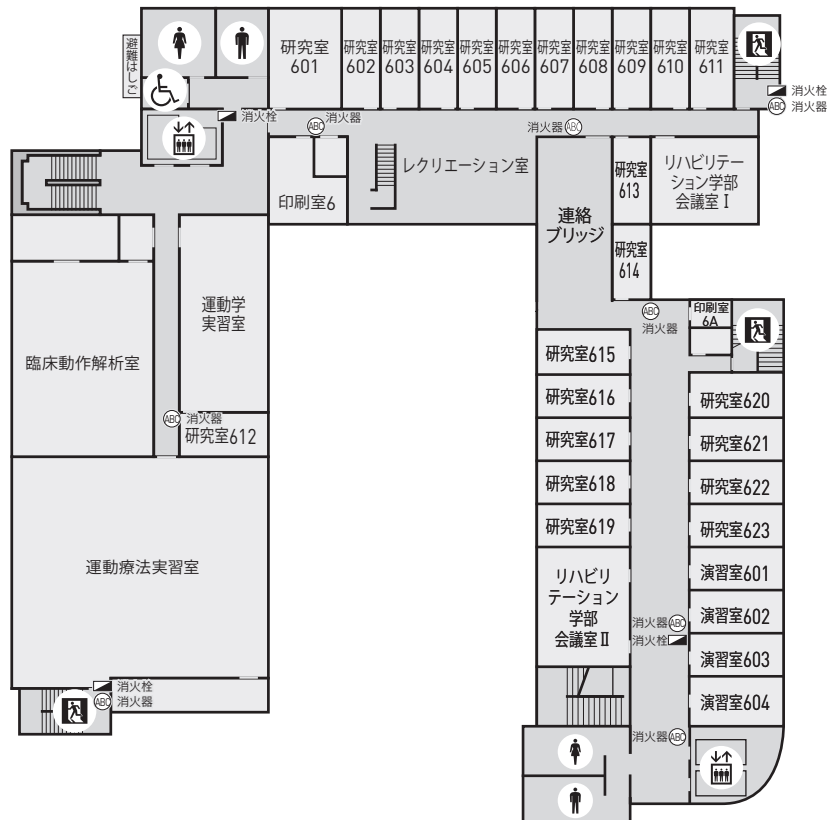
1号館

5F

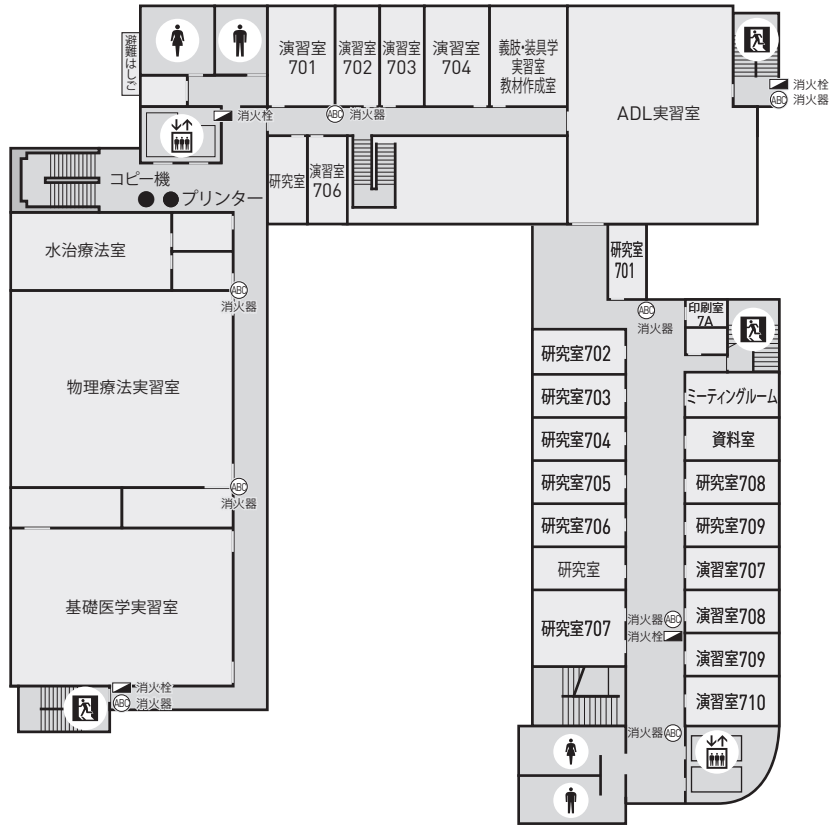


1号館

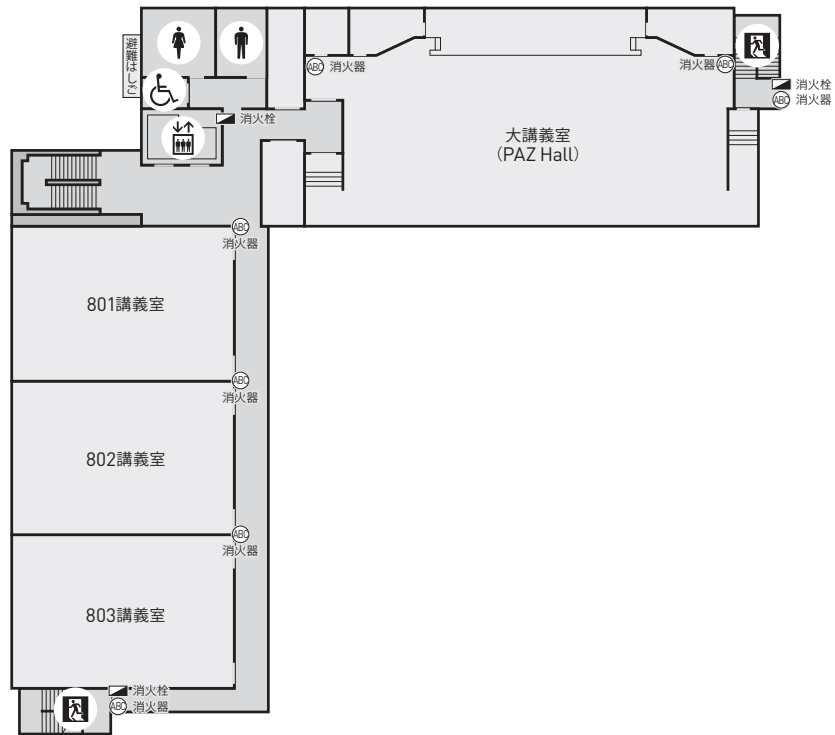
6F



1号館
7F



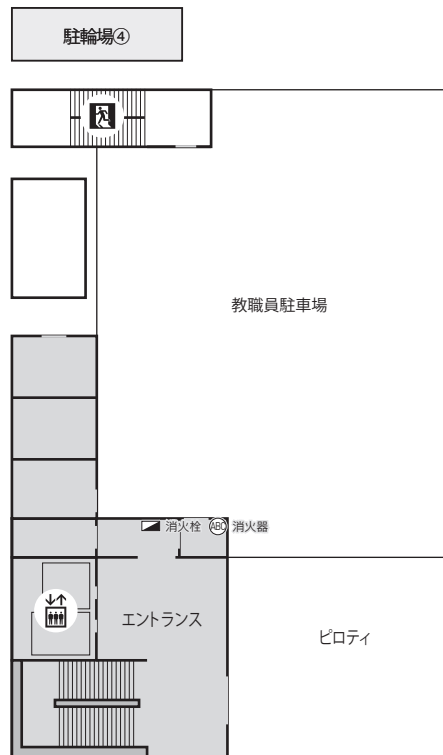
1号館
8F



2号館 【検査技術学科棟】

2号館

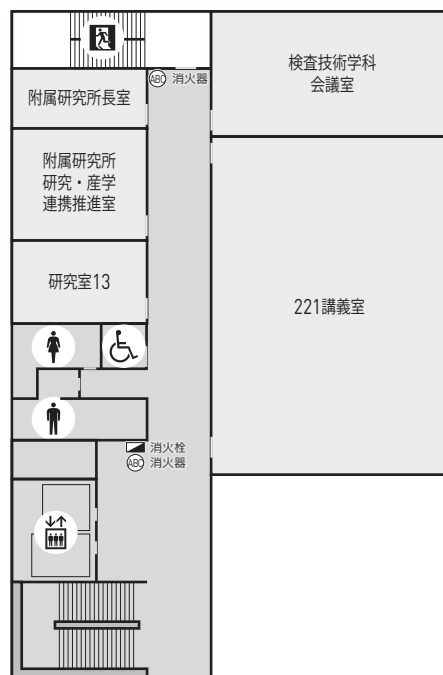
1F



駐輪場④ 検査技術学科 1年

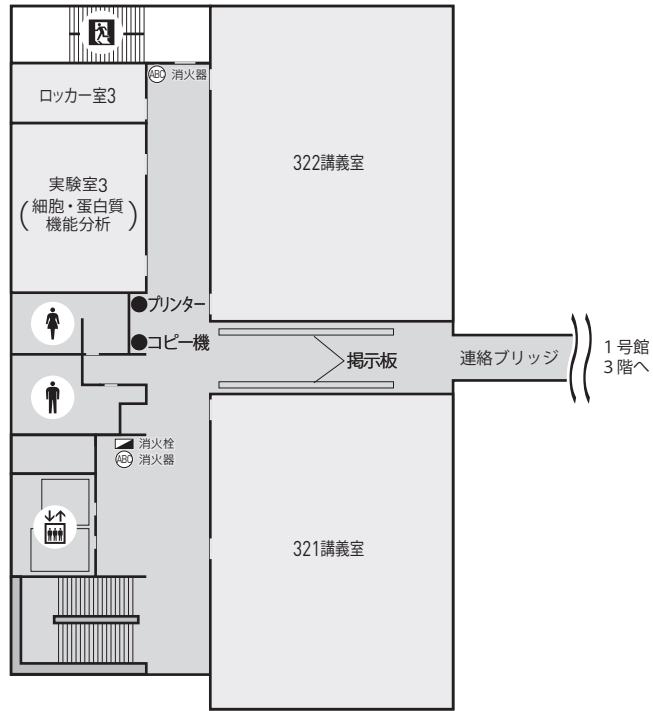
2号館

2F



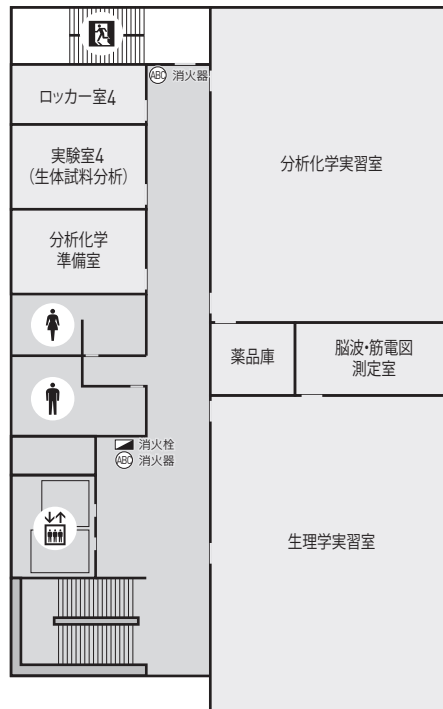
2号館

3F



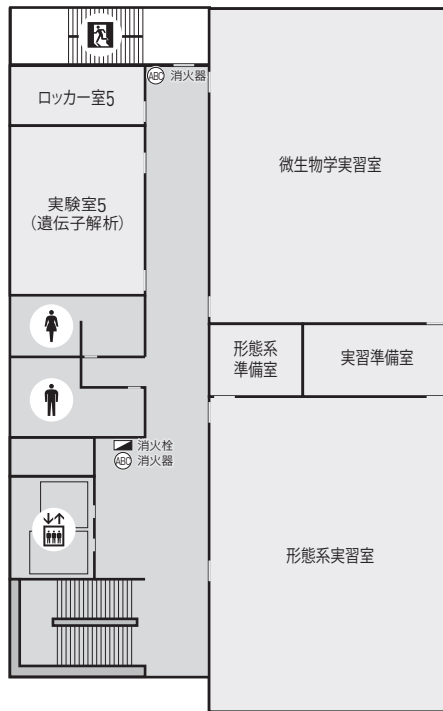
2号館

4F



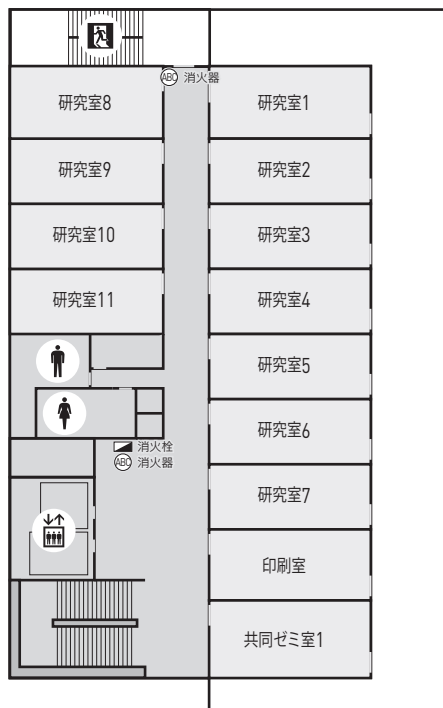
2号館

5F



2号館

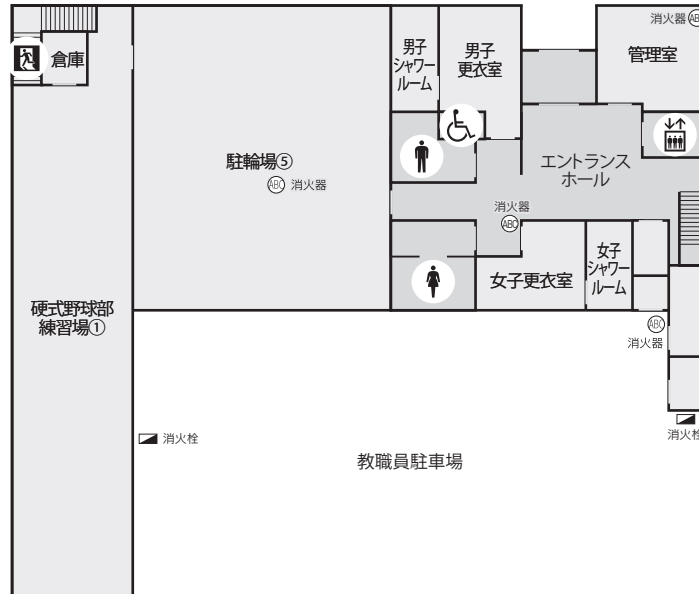
6F



3号館 【体育棟】

3号館
【体育棟】

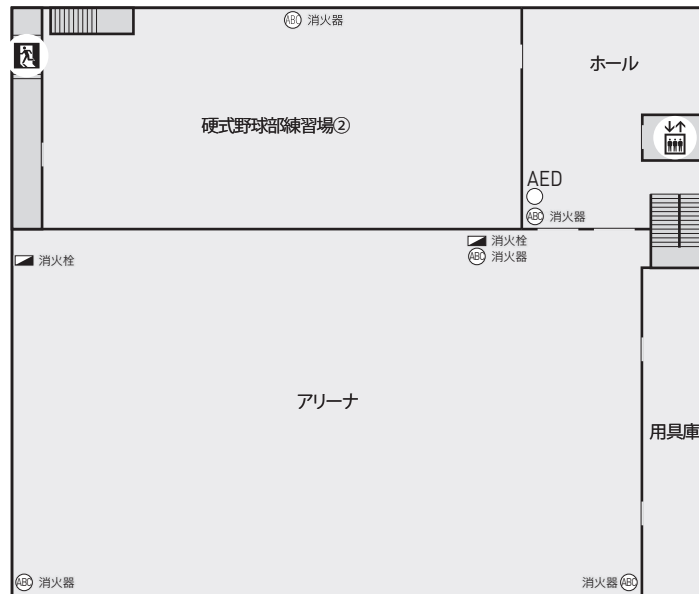
1F



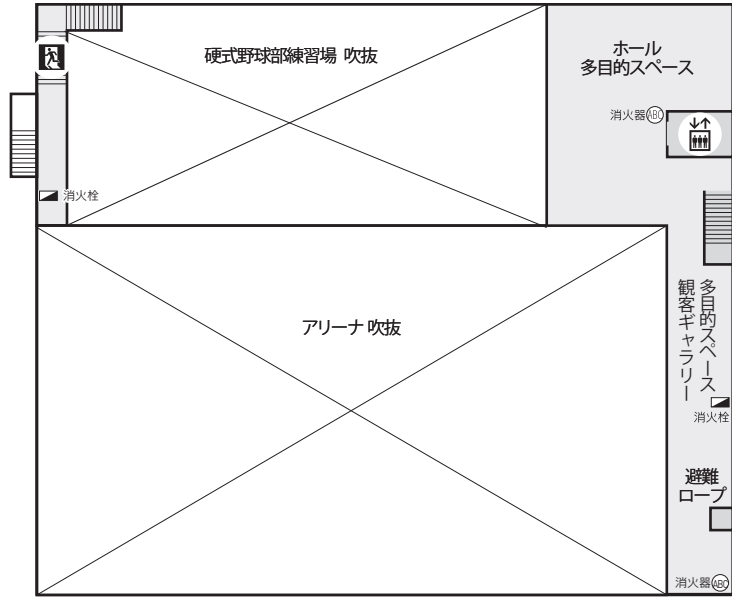
駐輪場⑤ 看護学科・理学療法学科 1～2年
検査技術学科 2～4年

3号館
【体育棟】

2F



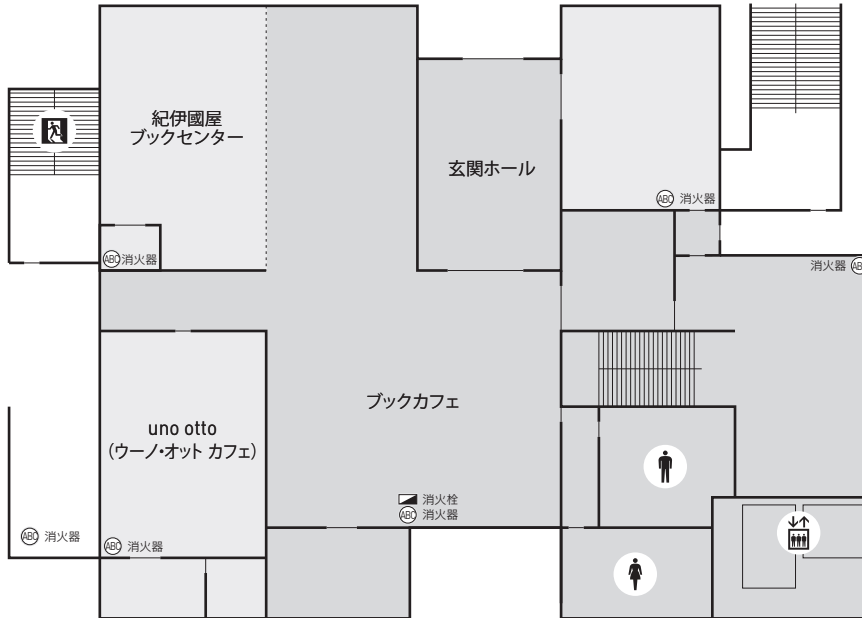
3号館
〔体育棟〕
3F



4号館 【放射線学科・臨床工学科棟】

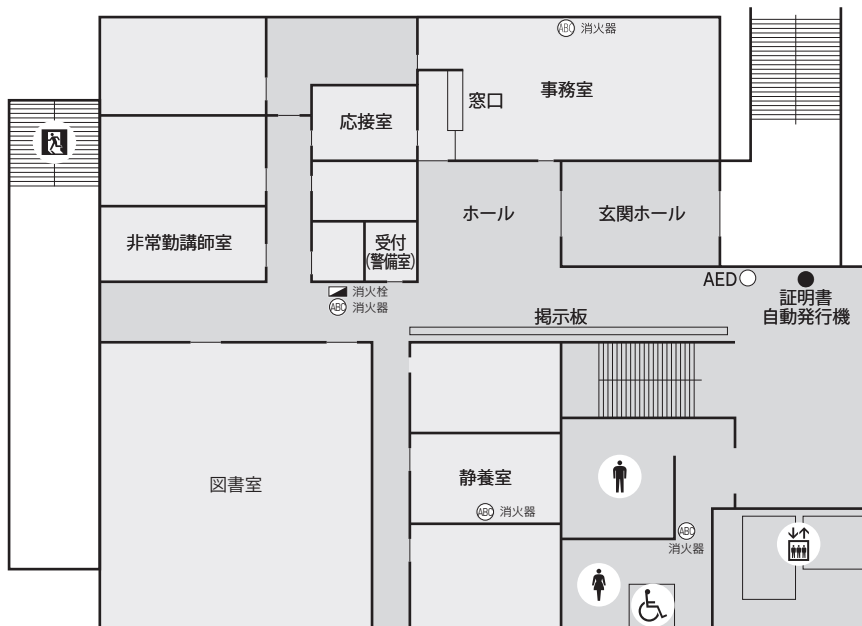
4号館

1F



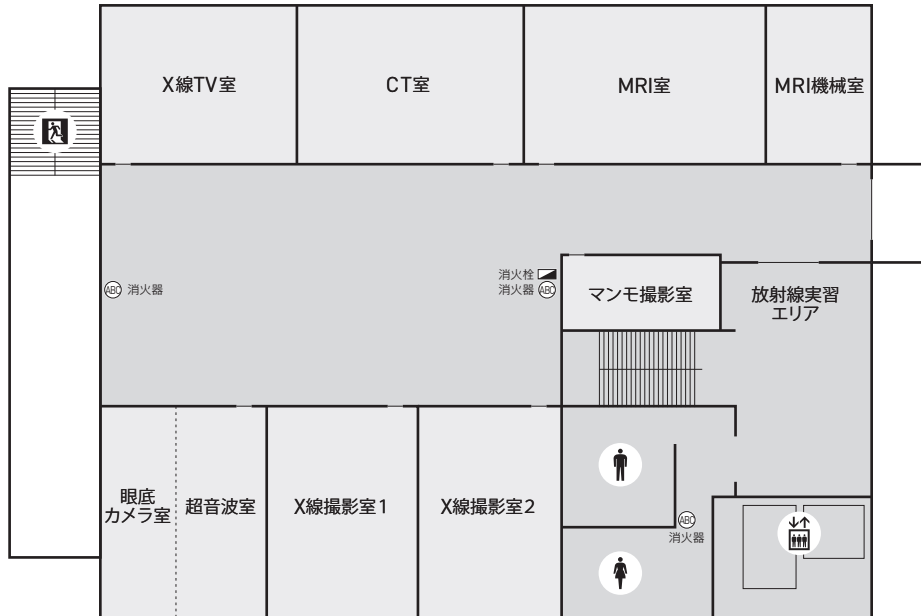
4号館

2F



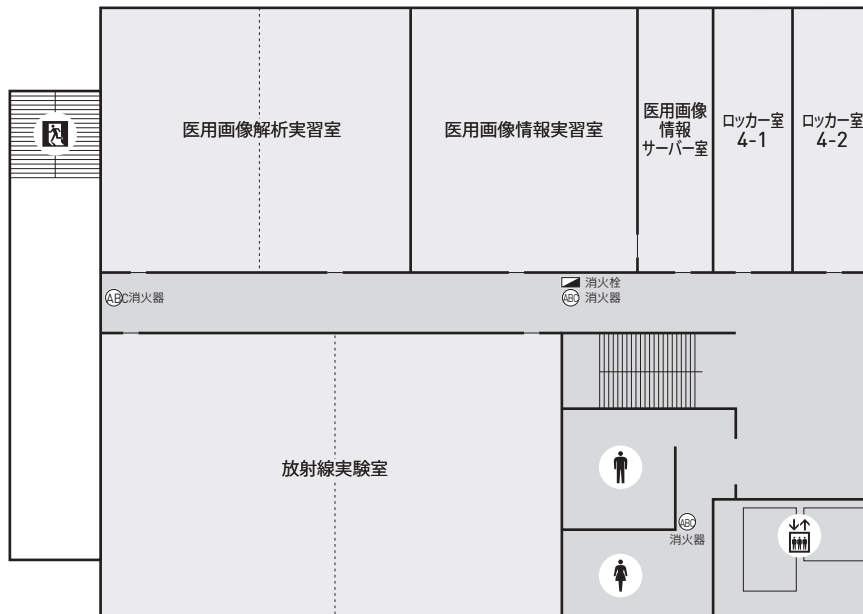
4号館

3F



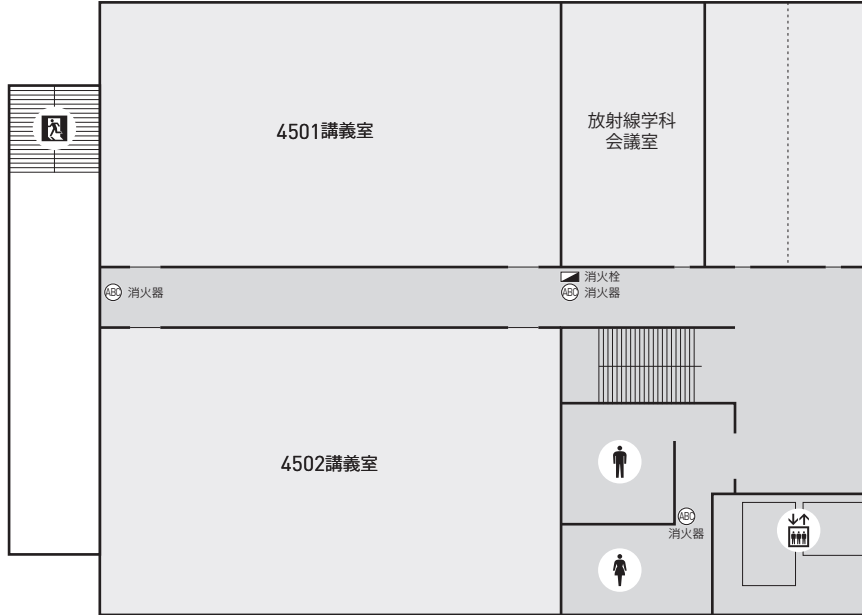
4号館

4F



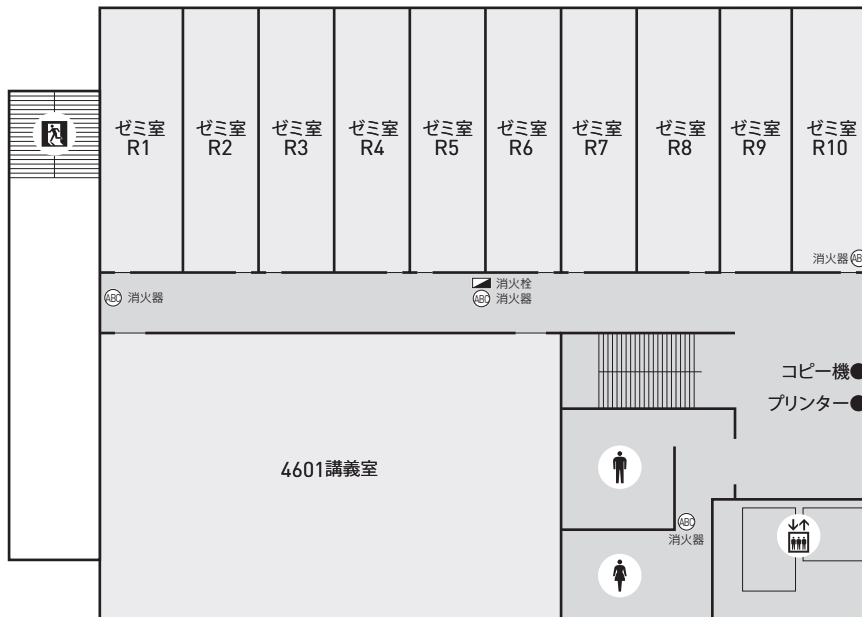
4号館

5F



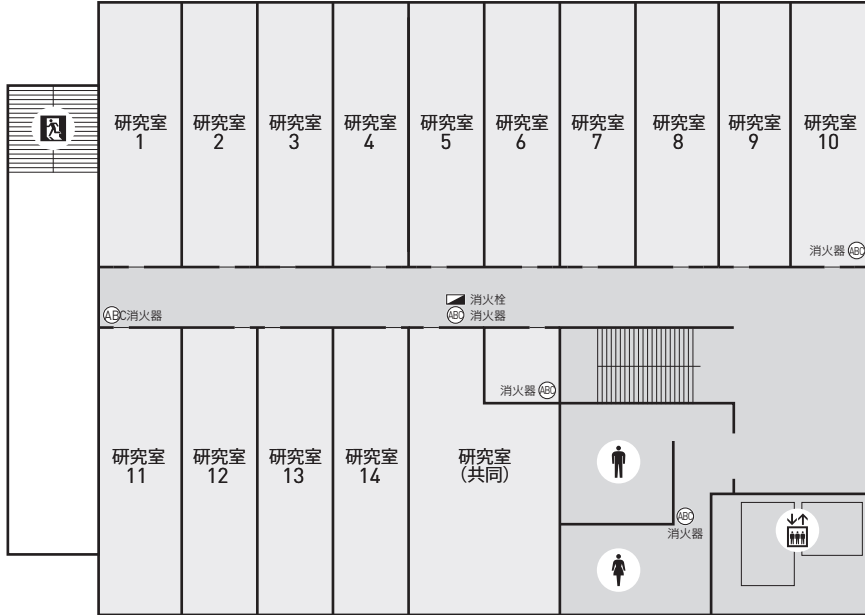
4号館

6F



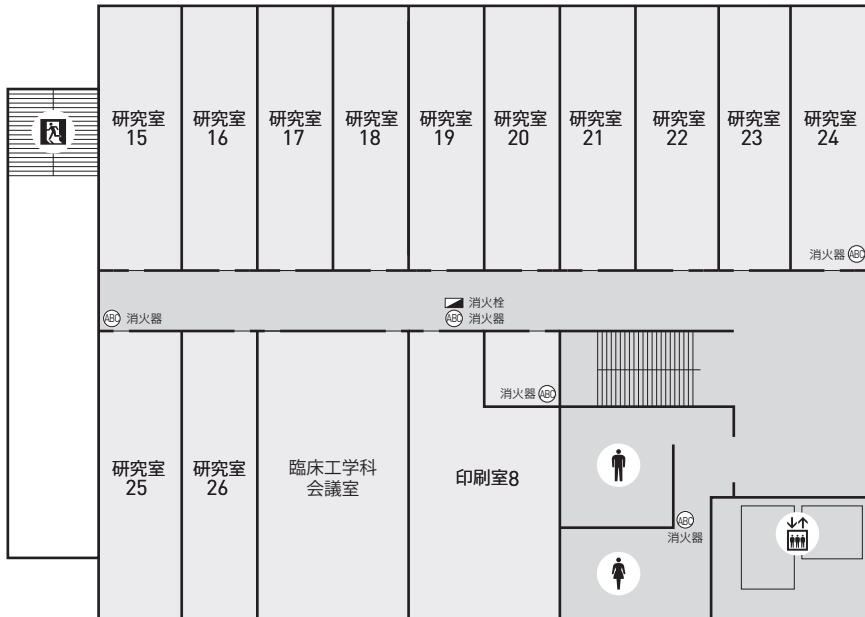
4号館

7F

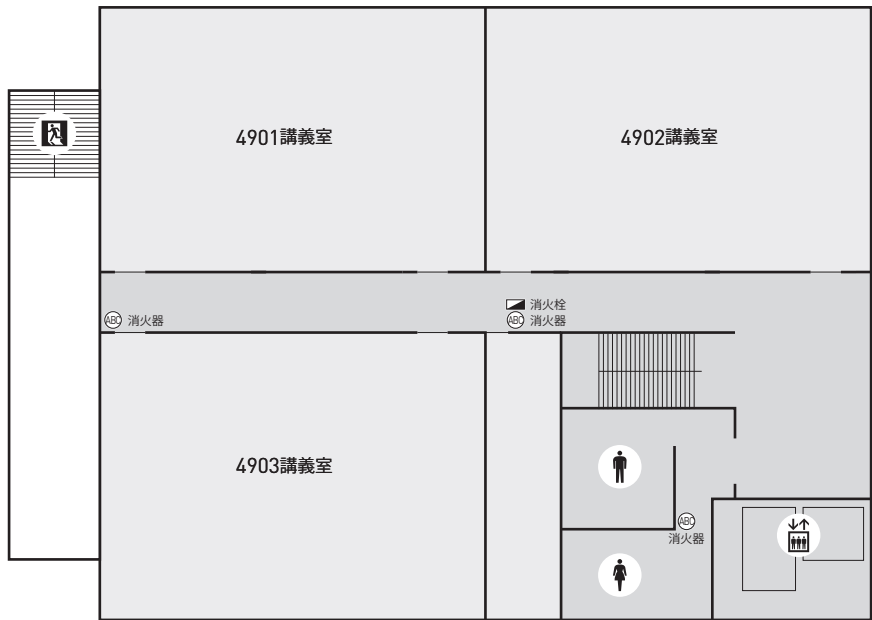


4号館

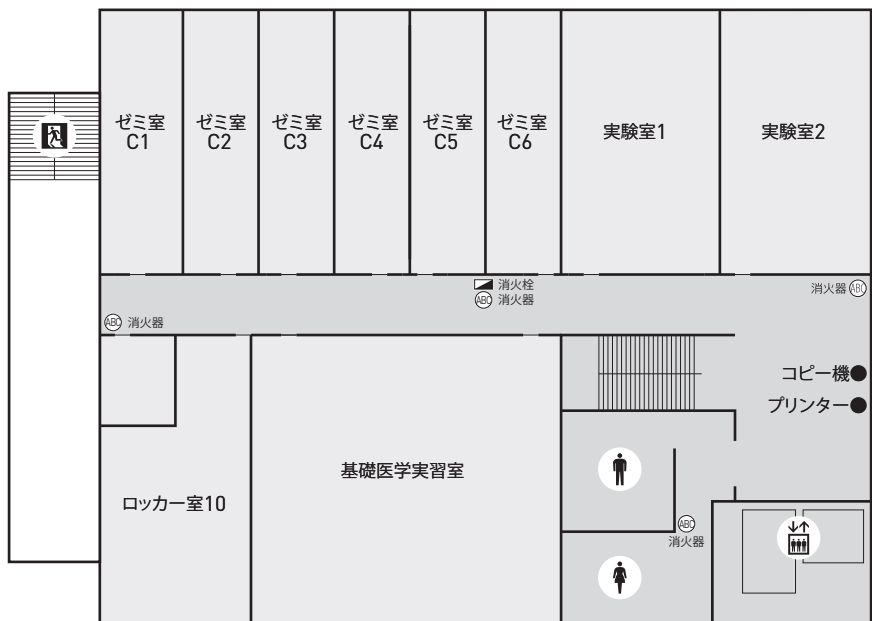
8F



4号館
9F

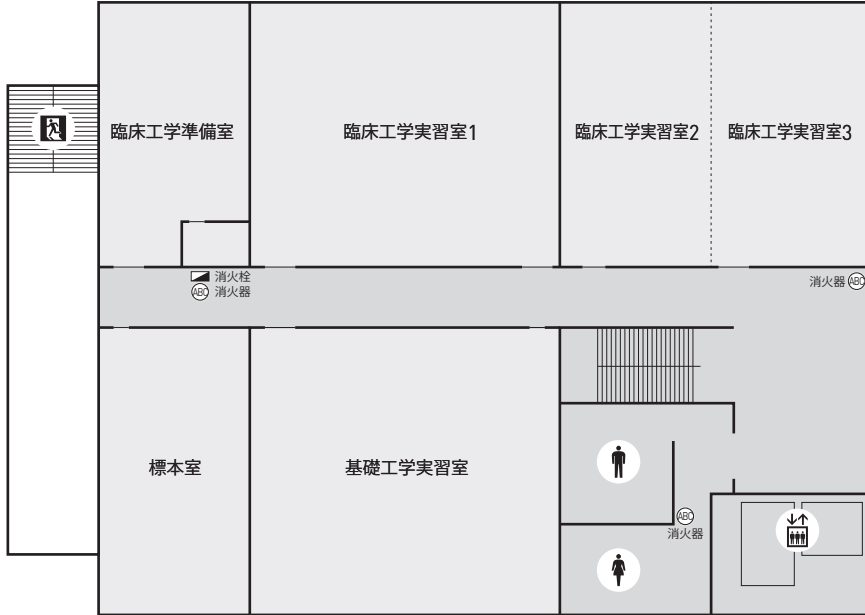


4号館
10F



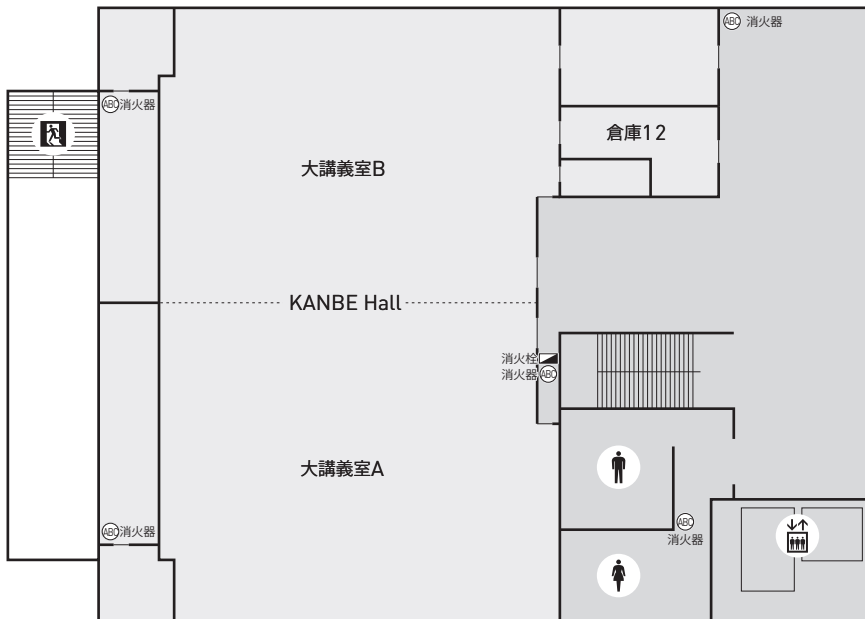
4号館

11F



4号館

12F



5号館 【学生支援センター・健康管理センター・国際交流センター・地域連携センター・看護実践教育センター・学生専用マンション】

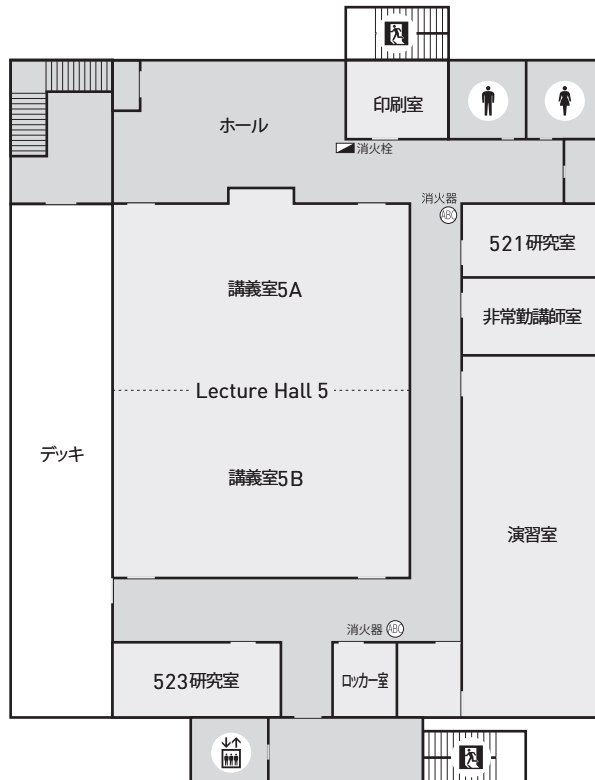
5号館
1F



駐輪場⑦
5号館利用者（一時的な駐輪のみ可とします）

駐輪場⑧
学生専用マンション入居者

5号館
2F



5号館
3~5F

学生専用マンション

群馬パース大学校歌

わ か た け は こ こ に つ ど え り め—
 ぶ き さ え あ か る き お か よ き
 く ら さ く こ か げ に い こ い さ—
 み ど り の く さ に か た れ ば パ
 — — — ス の パ — — — ス の あ い
 と き ぼ う

校歌

作詞 神戸照子
 作曲 入野義朗
 編曲 峰岸小織

- 一、若竹はここにつどえり
 芽吹きさえ明るき丘よ
 桜咲くこかげにいこい
 さみどりの草に語れば
 パースのパースの
 愛と希望
- 二、若竹はここにつどえり
 清らなる平和の空に
 みなぎれる ひるの光よ
 わきいづる汗のよろこび
 パースのパースの
 愛と信頼
- 三、若竹はここにつどえり
 照る月のさやかにすめば
 友としてかたくちかぬ
 いつの日かの心のみり
 パースのパースの
 愛とまこと
- 四、若竹はここにつどえり
 雪のごと生命白かれ
 ひとすじのみちにめざめぬ
 とこしえの美しきあゆみ
 パースのパースの
 愛と祈り

讃歌

作詞 大橋住江
 作曲 杉本龍之

- 一、もえる緑の草原に
 わたりくるひかりの風よ
 天使のつばさのように
 至福の時をさそう
 響き合う 響き合う
 いのちの滴 いのちの滴
 愛と叡智と
 ささげるこころを湛え
- 二、星降る夜
 世界に聴きいる
 はるかな星座との対話のように
 わが学舎の
 やさしい窓辺に
 福祉の福祉の
 未来を担う 未来を担う
 愛と叡智と
 ささげるこころを湛え
- 三、しずかに夜が明ける
 山々は悠々と姿をあらわし
 讃歌を いのちの讃歌を
 ひびかせる ひびかせる
 わが青春の わが青春の
 ひかりの泉 ひかりの泉
 愛と叡智と
 ささげるこころを湛え
- 夢みる 愛のために
 夢みる 世界のために
 夢みる 愛の世界のために

パースの夢

作詞 群馬パース大学創設者 樋口 建介

- 一、 出会いは 人生 出会いは 眼醒
仲間とともに 心はひとつ
すべてを乗り越え パースは進む
胸に灯した 熱きロマン
真っ赤な夢は 夢は ZERO
美しく輝き 未来を照らす
- 二、 出会いは 喜び 出会いは 感謝
やさしいおもい つつましく
羽ばたく蝶々 パースは平和
楽しさあふれる 癒しを与え
真っ赤な夢は 夢は SPIRO
人に向き合い 人を育てる
- 三、 出会いは 情熱 出会いは 感動
豊かな学びは わざを磨き
みんなの力 パースはゆるぎなく
元気を生み出す みんなの笑顔
真っ赤な夢は 夢は SPERO
すなおとまことの 愛あふれ
- 四、 出会いは 愛 出会いは 勇気
生命の限り 希望あり
美しい心 パースは永久に
夢と愛とは 明日への希望
真っ赤な夢は 夢は PAZ
命の限り 走り続けよう

2026年度 学生便覧
2026年4月1日 発行

群馬パース大学

〒370-0006
群馬県高崎市問屋町1-7-1

